

教職員研修計画 2026

3月確定版



岐阜県総合教育センター

GifuPrefecturalGeneralEducationCenter

	ページ
1 教職員を取り巻く学びの体制図	1
2 研修コンセプト	2
3 教職員研修計画2026の主な構成	2
4 校長及び教員としての資質の向上に関する指標	3
5 研修体系図	11
6 キャリアステージを踏まえた研修の概要	12
7 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と振り返りの流れ (教職員の1年間の見通し例)	14
8 研修講座受講に当たって	17
9 幼稚園、こども園、私立学校等の研修申込から研修修了について	19
10 おすすめ講座	20
11 研修講座一覧	33
12 校内研修の活性化	72
13 「新たな教師の学びの姿」の実現	75
14 総合教育センターからのお知らせ	78
■ 図書・教育資料室の利用について ■ 教職員のための教育支援相談 ■ 岐阜県総合教育センター 見取図 ■ 岐阜県総合教育センター 駐車場 ■ 参考資料の関係リンク先 	
15 わたしの教員研修計画2026	83



1 教職員を取り巻く学びの体制図

新たな研修プログラムによる
自己課題の明確化と主体性の向上

今日的な教育課題に関する講座の充実
による対応力の向上

個別最適な学びと協働的な学びによる
実践的指導力の向上

研修主事研修

校内研修の活性化に向けた研修
校内のニーズ把握、研修構築、
運営方法、評価方法を学ぶ。
研修主事同士の交流やフィード
バックを行う。

**研修主事サポート
出前講座**（小中義）
指導主事が校内研修
を訪問サポート



校内研修推進委員会
研修計画の策定
日常的な校内研修の充実



受講奨励

教員育成指標を活用し
自らの強みや課題を明確化

自らの学びの計画を立てる
「何を」「どのような場で」

校内研修（現職研修）

授業研究

初任者等研修

基本研修

初任者研修
6年目研修
中堅教諭等資質向上研修 等

新任校長研修 新任教頭研修
新任部主事研修等の職務研修

スクールリーダーアラカルト研修

各キャリアステージに求められる
資質・能力を育成する研修

協議・演習・リフレクション（省察）
を取り入れた研修
日常の指導改善に生きる研修

個別最適な教師の学び
協働的な教師の学び
「現場の経験」を重視した学び

研修観の転換

協働的な
職場環境づくり

教職員

研修主事

学び合い
文化の醸成

教職員

教職員

自ら学び続ける教職員研修支援事業
教員グループで行う公務内／公務外
の研修をサポート

実践を通した研修

校内外の学びを生かして指導改善
実践を通して専門性や指導力を向上
同僚との相互参観、協働

自らの学びを振り返る

学びの成果を子供に還元する

子供の変容、自身の成長を実感する

● 県有施設等との連携講座
授業に生かす考古学講座
博物館活用講座
先進科学技術体験講座
美術館活用講座
野外で学ぶ体験講座 等

● 派遣研修
NITS派遣
大学院派遣
民間派遣
国外大学 等

● 大学等との連携講座
スクールリーダー養成研修

● 教育事務所・市町村教育委員会が
実施する研修

● 育児休業からの復帰支援のための研修

● Plantを利用した研修受講

● 教育研究会等が実施する研修



2 研修コンセプト



岐阜県教育を通して「目指す人間像」

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

岐阜県が求める教師像

- 児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師 **【高い倫理観・使命感】**
 - ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師 **【確かな専門性】**
 - ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師 **【学び続ける向上心】**

目指す姿

自ら学び続ける教職員

研修の基本方針

指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実
 — 岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する**指標と研修履歴の活用** —

研修に関する重点

- ①新たな研修プログラムによる**自己課題の明確化**と**主体性の向上**
- ②今日的な教育課題に関する講座の充実による**対応力の向上**
- ③個別最適な学びと協働的な学びによる**実践的指導力の向上**



3 教職員研修計画2026の主な構成

- 「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」及び「第4次岐阜県教育振興基本計画」に基づいた研修体系となっています。
- 「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律(令和4年法律第40号)」を受けて、指標に加え、「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について【岐阜県教育委員会版】」を踏まえた内容となっています。
- PDCAサイクルで各種研修の改善を図り、新たな研修観に基づいた研修の充実を図っています。
- 今日的な教育課題への対応力を高めるため、喫緊の課題や、「令和の日本型学校教育」の構築を目指した教育に関する講座の充実を図っています。
- 日々の実践につながる指導力の向上を図るため、ねらいや内容に適した個別最適な学びと協働的な学びによる研修を実施するとともに、校内外における日常的な自らの学びを支援します。



4 校長及び教員としての資質の向上に関する指標

校長(管理職)の指標

R7改訂版

項 目	指 標	求められる資質や能力等の具体例	関係法令等
経営ビジョン	○確かな教育理念と経営ビジョンをもち、保護者・地域に信頼される学校経営ができる。	☐ 憲法及び教育基本法の理念に基づき、教育の目的の実現のために、組織の経営責任者として、使命感と責任感、子どもへの深い愛情や教職員への敬意をもって学校経営にあたることができる。 ☐ 国及び県(及び市町村)の教育振興基本計画や教育方針等を踏まえ、社会に求められる教育の変化を見据え、学校の教育目標の設定とその具現のための学校経営ビジョンを教職員や児童生徒に具体的に示すことができる。 ☐ 学校運営協議会制度や学校評議員制度を活用し、学校運営に保護者や地域の声を反映させるとともに、学校経営計画や自校評価、学校関係者評価等の公表により学校の説明責任を果たし、保護者や地域と信頼関係を築くことができる。 ☐ 常に自ら研究と修養に励み、管理職としての資質・能力を磨くとともに、社会の変化や国・県(及び市町村)の動向に注視しながら学校経営に必要な知識と見識を高め、組織の長としての自覚を持ち、責任をもって学校経営に取り組むことができる。	☐ 教育基本法 ☐ 学校教育法 ☐ 学習指導要領 ☐ 教育振興基本計画 ☐ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律
1 労務管理	○「子どものために」という教職員の熱意と労務管理を両立し、働きがいのある職場をつくり出すことができる。	☐ 労働安全衛生法(労働基準法)に基づき、産業医との連携のもと、常に教職員の正確な勤務時間の管理と心身の健康に配慮しながら、過重な業務や心理的な負担のないよう、適切な労務管理を行うことができる。 ☐ 「チーム学校」として効果的・効率的な業務遂行のための基本方針を明示し、業務の仕分けや標準化、行事の精選やスリム化、組織の見直しや再編等、教職員の働き方改革のためのマネジメントができる。 ☐ 職場環境を悪化させるハラスメントについて、法令に従い、雇用管理上の措置義務を果たし、ハラスメントを許さない姿勢を明確に示すとともに、職員間のコミュニケーションを大切にして、風通しの良い職場環境をつくることできる。	☐ 労働基準法 ☐ 労働安全衛生法 ☐ 労働施策総合推進法 ☐ 男女雇用機会均等法
2 人材育成 (組織マネジメント)	○職員に対する温かさを持ち、キャリアデザインを共有して適切に指導するなど、人材を育成することができる。	☐ 組織の長として人材育成の責務を自覚し、定期的な面談等を通して、教職員一人一人の強みやキャリアステージに応じた課題を明確にしなが、公正かつ厳正な人事評価とキャリアアップに資する適切な指導・助言を行うことができる。 ☐ 職員集団の年齢構成も踏まえ、「仕事人が人を育てる」ことを意識しながら、個々の職員の能力や適性を十分に発揮させ、組織の対応力を向上させる校務分掌の編制や主任等の任命、研修派遣や人事異動等、組織マネジメントの長としての責任を果たすことができる。 ☐ 主任や中堅教諭等の適切な人材をメンターとしたOJT(現場内訓練)や校内研修を実施し、人材育成のための精神的なサポートができる組織を構築することができる。	☐ 地方公務員法 ☐ 教育公務員特例法
3 教育課程・学力向上 (カリキュラム・マネジメント)	○学力向上に関する具体策の成果を常に検証し、教育課程の改善と授業についての確かな指導ができる。	☐ 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」の実現をめざし、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力(「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力、人間性」)を明確にした上で、教科横断的な視点に立って、児童生徒の心身の発達段階や特性及び学校や地域の実態を考慮しながら、適切な教育課程を編成することができる。 ☐ 教育課程の実施においては、教職員が相互に連携しながら、学校の特色を生かしたより質の高い教育を実践できるよう指導・助言するとともに、PDCAサイクルを機能させ、組織的かつ計画的に学校のエデュケーションの質の向上を図ることができる。 ☐ Society 5.0の時代を見据え、ICTの積極的な活用により学習効果を高めるとともに、児童生徒1人1人端末の学習環境において、新しい技術や発想を取り入れた授業改善に取り組み、学びの個別最適化を進めることができる。	☐ 学校教育法 ☐ 学校教育法施行規則 ☐ 学習指導要領 ☐ 学校教育の情報化の推進に関する法律
4 生徒指導	○いじめや不登校等、生徒指導上の諸問題に対し、関係機関と連携し、リーダーシップを発揮して組織的に解決を図ることができる。	☐ 生徒指導上の諸問題に対して、自らリーダーシップを発揮して、保護者及び関係諸機関と連携を図りながら、未然防止・早期発見・早期対応に努めて問題の解決を図るとともに、指導の過程を通して生徒の成長と教職員の指導力の向上を図ることができる。 ☐ 特にいじめの対応については、いじめ防止対策推進法、学校いじめ防止基本方針の趣旨を十分に踏まえ、法令等に則り、正確な事実の把握と情報の共有、保護者との連携、的確な判断と迅速で組織的な対応を自ら陣頭指揮し、解決後も継続的な見守りや支援を行うことができる。また、「特別の教科道徳」の導入の趣旨を踏まえ、考え議論する「道徳」への質的転換を図り、いじめの防止に積極的に関わろうとする児童生徒や教職員を育てることができる。 ☐ 教職員と児童生徒の間で日常的な信頼関係が構築できるよう、生徒指導の状況や児童生徒の実態について十分に把握するとともに、児童生徒に関する情報共有が管理職まで確実になされ、校内組織が十分に機能できるよう、校内体制を整備することができる。 ☐ 人権感覚を磨き、各種法令及び指針等に則り、少数者や特別な配慮を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育相談や支援を推進するための校内体制を整備することができる。	☐ いじめ防止対策推進法 ☐ 障害者差別解消法 ☐ 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律
5 服務規律・危機管理 (リスクマネジメント)	○服務規律やコンプライアンスをはじめ、危機管理に対する高い見識と行動力がある。	☐ 服務の管理監督責任者として、常に教育公務員としての使命感や倫理観に関する自覚を促し、法令遵守と不祥事(体罰や児童生徒との不適切な関係等、信用失墜行為)の未然防止に努めるとともに、事案発生時には、法令に従い、関係諸機関と連携を図り、児童生徒の安心安全を最優先に迅速に対応することができる。 ☐ 個人情報保護、公文書管理、公金管理等の最高責任者として、職員の危機管理意識を高め、関係法令を踏まえた適切な執行管理及び諸帳簿管理を徹底するとともに、問題発生時に法令に従い、速やかな報告及び事後対応等の適切な対処ができる。 ☐ 学校保健安全法の趣旨を踏まえ、児童生徒の命を守り切ることを第一に、校舎内外の学校施設の修繕や安全管理を徹底するとともに、学校の立地する地域の実情や児童生徒の実態を踏まえ、実効性のある防災計画・避難計画及び危機管理マニュアルを策定することができる。 ☐ 学校事故や感染症等の発生に対し、常に最悪の事態を想定しながら、保護者や関係諸機関(警察、消防、病院、教育委員会、司法、児童相談所、保健所等)とも連携し、応急処置や避難行動等、対応しうる最善策を判断し、迅速な指示を行うことができる。	☐ 学校教育法 ☐ 地方公務員法 ☐ 教育公務員特例法 ☐ 教育職員免許法 ☐ 学校保健安全法
6 家庭・地域との連携	○家庭や地域と積極的に連携し、人的資源の活用等により、ふるさとへの誇りと愛着を培う魅力ある学校経営ができる。	☐ 児童生徒の健全な育成を願う保護者や地域社会と、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を共有しながら、学校の教育活動について情報の共有と連携を図り、地域活性化の核としての学校の役割を果たすことができる。 ☐ 地域の産業・経済界、行政、その他関係諸機関と連携し、地域の魅力ある人材や教育資源を活用し、地域の課題解決に協働して取り組むなど、「社会に開かれた教育課程」の実現と「ふるさと教育」の推進に取り組み、魅力ある学校づくりを行うことができる。	☐ 教育基本法 ☐ 社会教育法 ☐ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律



～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と
誇りを胸に、よりよい未来の実現に
挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

- ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）
- ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
- ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に保育実践や集団づくりに取り組み、教職の基礎を固める。	園の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある園運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	園の管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
保育	保育構想	幼稚園教育要領における、健康、人間関係、環境、言葉、表現の各領域に関するねらい、内容、内容の取扱い等について、総合的・一体的に扱うものであることを理解している。	幼稚園教育要領のねらいや内容、内容の取扱い等を踏まえ、幼児一人一人への願いを明確にした指導計画を作成することができる。	小学校への円滑な接続を見通して、発達課題を踏まえて指導計画を作成することができる。	自園の課題、幼稚園教育要領の趣旨を踏まえた指導計画を作成し、他の教員に広めていくことができる。	幼稚園教育要領の趣旨を踏まえ自園の課題の解決に努め、日常的な保育の改善に向けて研究体制を整えることができる。
	保育実践		各領域のねらい・内容を含めた総合的・一体的な保育となるよう環境の構成を適切に行うことができる。	各領域のねらいとその特性を理解し、幼児一人一人が健やかに成長するよう指導・援助を行うことができる。	各領域等を総合的・一体的に扱う保育のモデルを示すなど、保育実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員に広めていくことができる。	自園の課題を踏まえ人格形成の基礎を培う実践について、他の教員に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		指導計画に基づいて幼児一人一人の活動の様子を見届け、長期及び短期の指導に生かすことができる。	保育の評価を適切に行い、継続的な保育の改善を行うとともに、各領域の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	自園の保育力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員に対して、保育実践の評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
教育環境の創造	幼児理解	幼児と共に活動する楽しさや喜びを経験し、幼児理解の重要性について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、幼児一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	幼児の言動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて幼児一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に幼児の言動を見届け、価値付ける指導を行ったり、幼児の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生活の展開	環境構成の意味、保育の展開等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	問題等を早期に発見し、関係職員に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に幼児の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、幼児の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	幼児に対する指導を組織的・計画的に実践できるように、体制を整えるとともに問題の未然防止の取組を実践することができる。
	発達の課題	クラス・園・家庭・地域が一体となって、幼児を育むことを理解している。	幼児一人一人の発達の課題に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	その年齢の発達の課題に応じた生活が展開できるなど、自己有用感が育まれるような指導を行うことができる。	幼児の多様な発達の課題を明確にし、それに対応する方策を提案し、園の実践の基盤となって実践することができる。	幼児の多様な発達の課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分掌	学級・学年・園経営	教員の職務内容や園組織等について理解している。	担当する分掌の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	担当する分掌に軸足を置きながら、園全体も意識して、課題を改善しながら分掌を果たすことができる。	自園の分掌全般に関して理解を深め、組織を生かしながら各分掌を推進することができる。	自園の教育目標具現に向けて、園の組織間の連絡・調整を行うとともに若手教員の育成をすることができる。
	連携・協働	危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と協働したり分担したりしながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をし、それぞれの専門性を生かしながら組織的に諸課題に対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、園における働き方改革に資するよう効果的に諸課題に対応することができる。
	危機管理		幼児の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面にに応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	自園を取り巻く環境について、家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする幼児への対応		特別な配慮や支援を必要とする幼児について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を基に、一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの保育に生かすことができる。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を定期的に見直ししながら、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全園的な支援の充実に向け、個別的教育支援計画や個別の指導計画等の活用を推進し、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、特別支援教育コーディネーターと共に保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した保育や校務の推進及び幼児に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	保育や校務等にICTを活用でき、幼児の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための保育実践を行うことができる。	ICTを効果的に活用した保育実践を行い、校務の効率化及び幼児の学びや生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	自園のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
自分の得意な内容、領域を見付けられる。	- 自分が得意な内容、領域を磨いている。 - 他の人がもっているもののよさに気づき、取り入れてみる。	- 自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 - 異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	- 若手や同僚に共感する。 - 自分の知恵や経験を生かす場がある。 教員が成長し続けるために大切な姿



～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
 ◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
 ◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
 ◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	小学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校9年間の系統性、児童の発達段階を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践		免許教科を主軸とした得意分野をもち、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	児童理解	児童と共に活動する楽しさや喜びを経験し、児童理解の重要性について理解している。 教育相談、生徒指導、キャリア教育等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、児童一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	児童の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて児童一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に児童の行動を見届け、価値付ける指導を行ったり、児童の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生徒指導		問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に児童の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、児童の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	児童に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整えたとともに、問題の未然防止の取組を実践することができる。
	キャリア教育		発達の段階に応じた基本的な生活習慣の指導を行うことができる。	学年の発達段階に応じた役割をもたせる等、自己有用感をもたせる指導を行うことができる。	学校のキャリア発達課題を明確にし、その方策を提案し、学校の基点となって実践することができる。	学校のキャリア発達課題に対する方策を明確にもち、モデルとなる実践を行うとともに、指導内容の改善に向けて助言を行うことができる。
経営・分掌	学年・学校経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標具現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
	連携・協働		他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と協働したり分担したりしながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をし、それぞれの専門性を生かしながら組織的に諸課題に対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、学校における働き方改革に資するよう効果的に諸課題に対応することができる。
	危機管理		児童の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整えたとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童への対応		特別な配慮や支援を必要とする児童について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を基に、一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を定期的に見直ししながら、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、個別的教育支援計画や個別の指導計画等の活用を推進し、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、特別支援教育コーディネーターと共に保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び児童に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、児童の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び児童の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

多様な経験が教員生活を豊かにするという視点から、例えば特別支援学級や日本語指導教室等での指導を経験することが考えられる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
自分の得意な内容、領域を見付けられる。	- 自分が得意な内容、領域を磨いている。 - 他の人が持っているもののよさに気付き、取り入れてみる。	- 自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 - 異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	- 若手や同僚に共感する。 - 自分の知恵や経験を生かす場がある。
教員が成長し続けるために大切な姿			



～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	中学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校9年間の系統性、生徒の実態を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践		教科の指導内容を適切に理解し、ねらいを明確にした授業となるよう指導・援助を行うことができる。	教科の専門性を踏まえて、生徒一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善		評価計画に沿って生徒一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、自己の専門性向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。
生徒指導	生徒理解	生徒と共に活動する楽しさや喜びを経験し、生徒理解の重要性について理解している。 教育相談、生徒指導、キャリア教育等に関する基本的な事項や指導方法等について理解している。	進んで声をかけ、共に活動をする中で、生徒一人一人のよさや課題を客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の行動とその背景にある思いを把握し、共感的に理解した上で、個に応じた指導を行うことができる。	様々な情報に基づいて生徒一人一人を多面的・多角的に捉え、個性を生かす指導を行うことができる。	継続的に生徒の行動を見届け、価値付ける指導を行ったり、生徒の捉え方について助言を行ったりすることができる。
	生徒指導		問題行動等を早期に発見し、学年職員等に相談して迅速に対応することができる。	関係職員と共に生徒の状況を共有し、適切な指導方法を判断して対応することができる。	関係職員や保護者等と協力して、生徒の状況を共有し、組織を生かして指導方法を判断し迅速に対応することができる。	生徒に対する指導を組織的・計画的に実践できるように体制を整えるとともに、問題の未然防止の取組を実践することができる。
	キャリア教育		生徒一人一人が目標をもち、計画的に取り組むことができるよう指導を行うことができる。	生徒が見通しをもったり振り返りして学ぶよう指導を行うなど、教育課程全体を通じてキャリア教育を推進することができる。	社会や職業との関連をより意識して生き方を考えられるように、地域との連携を図りながら指導することができる。	キャリア教育の視点を踏まえた生き方指導のモデルを実践したり、他の教員等が適切に指導できるよう、助言を行ったりすることができる。
経営・分享	学年・学校経営	教員の職務内容や学校組織等について理解している。 危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項等について理解している。	担当する校務の役割を理解し、責任をもって行うことができる。	学校全体を見渡し、課題を改善しながら校務を行うことができる。	校務全般に関して理解を深め、組織を生かしながら校務を推進することができる。	学校の教育目標具現に向けて、校内組織間の連絡・調整を行うことができる。
	連携・協働		他の教員等のよさに学び、相談・協力することができるとともに、保護者との連絡を密にし、望ましい関係を築くことができる。	組織の一員として、他の教員等と協働したり分担したりしながら、協力して取り組むことができる。	他の教員等の取組状況を把握し、連絡・調整をし、それぞれの専門性を生かしながら組織的に諸課題に対応することができる。	広い視野をもち、関係機関や保護者・地域等と連携し、学校における働き方改革に資するよう効果的に諸課題に対応をすることができる。
	危機管理		生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	関係機関や保護者・地域等と連携し、事故等の未然防止や発生時における迅速な対応を行うことができる。	学校を取り巻く環境について家庭・地域・関係機関との協力体制を整えるとともに、適切に対応することができる。
特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を基に、一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を定期的に見直しながら、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、個別的教育支援計画や個別の指導計画等の活用を推進し、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、特別支援教育コーディネーターと共に保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

多様な経験が教員生活を豊かにするという視点から、例えば特別支援学級や日本語指導教室等での指導を経験することが考えられる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
自分の得意な内容、領域を見付けられる。	- 自分が得意な内容、領域を磨いている。 - 他の人がもっているもののよさに気づき、取り入れてみる。	- 自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 - 異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	- 若手や同僚に共感する。 - 自分の知恵や経験を生かす場がある。
教員が成長し続けるために大切な姿			



～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践やHR経営に取り組み、教職の基礎を固める。	専門性と指導力を高め、実践力を磨く。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想	教科の専門性を身に付け、高等学校に関する学習指導要領の内容・評価の観点・評価方法を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	学習指導要領の目標と内容、評価の観点等を踏まえ、生徒の実態に応じた指導と評価の計画を作成することができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえた指導と評価の計画を作成することができる。	中長期的な視点で、指導と評価の計画を作成することができるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標や学習指導要領の改訂等を踏まえ、教科横断的な視点で指導と評価の計画を立案し、推進することができる。
	授業実践		生徒の実態と指導と評価の計画を踏まえ、身に付けさせたい力を明確にした授業を行うことができる。	生徒の実態やニーズに応じ、教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業を行うことができる。	各教科における見方・考え方を踏まえ、生徒が確かな学力を身に付ける授業の実践について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自ら学ぶ姿勢を育成する授業を行うための研修計画を立案し、推進することができる。
	評価改善		観点に基づいた評価規準を設けるとともに、自らの授業の方法や内容を客観的に評価し、改善することができる。	生徒の実態やニーズに応じた授業評価の方法や観点を工夫し、継続的な授業改善ができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	観点に基づいた評価規準を踏まえた継続的な授業改善を行う体制を整え、推進することができる。
生徒指導	生徒理解	生徒理解の重要性について理解している。	生徒個々の資質能力や背景にある状況を、観察や資料等から客観的かつ共感的に把握することができる。	生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。	生徒の実態の多面的な把握と分析の方法について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	個々の生徒に対応する人的・物的環境を整え、学校全体で生徒理解ができる組織づくりを推進することができる。
	生徒指導	教育相談・生徒指導・キャリア教育の理論及び方法について理解している。	生徒の声を共感的に聴くとともに、時と場を捉えて適切な指導を行うことができる。	個や集団の実態や状況に応じて、生徒の自己指導能力の育成を促すための継続的な働きかけを行うことができる。	生徒の自己指導能力の育成を促す指導や今日的な課題への対応について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	生徒の自己指導能力を高めるような教育相談・生徒指導を学校全体で行うための計画・組織を立案し、推進することができる。
	キャリア教育		生徒自身が望ましい職業観や自立について考え、自らの生き方を選択しようとする態度を育成する指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な可能性を基に考える指導を行うとともに、生徒の実態やニーズに応じた進路指導を行うことができる。	生徒自身が自らの生き方を多様な価値観を基に考える学習活動となるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を実現するための系統的なキャリア計画を立案し、それを実施する組織づくりを推進することができる。
経営・分享	HR・学校等経営	教員の職務内容と学校組織等について理解している。	担当した校務を責任をもって行うことができる。	校務の課題についての建設的な改善策を他の教員等に提案し、組織的に働きかけながら実践することができる。	中長期的な視点で校務の改善について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校の教育目標を具現するために、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	連携・協働	危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的な事項について理解している。	迅速な報告・連絡を心がけ、生徒の成長のために保護者や他の教員等と力を合わせて対応することができる。	周囲の人材と専門性を活用し合うなど、生徒の成長のための効果的な指導をチームとして行うことができる。	チームとしての指導と対応の視点や対策について、専門性を発揮しながら他の教員等に指導・助言を行うことができる。	家庭や地域、外部機関等との連携について、学校における働き方改革の視点を踏まえながら、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
	危機管理		生徒の安全や個人情報の重要性を理解し、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	事故等の未然防止と選択すべき行動について、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、場面に応じて迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
特別な配慮や支援を必要とする生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を基に、一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を定期的に見直しながら、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、個別的教育支援計画や個別の指導計画等の活用を推進し、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、特別支援教育コーディネーターと共に保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

- 高い倫理観と使命感のもと、探究心をもって謙虚に学ぶ。



- 自ら課題をもって、自律的に学び、実践につなげる。

- 自己研鑽に励み、周囲の学び意欲を高める。

- 学び続ける姿を示し、学校の組織力の向上に寄与する。

教員が成長し続けるために大切な姿



～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
			意欲的に授業実践や学級・HR経営に取り組み、教職の基礎を固める。	実践を積み上げ、専門性を高め、学校の推進力となる。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導	授業構想		幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点を踏まえて個別の指導計画等を作成し、他の教員等から指導・助言を受けながら授業を計画することができる。	幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点から、実態を的確に把握して個別の指導計画等を作成し、それに沿った授業を計画することができる。	個別の指導計画等を作成する際に、関係機関の情報等の客観的観点を取り入れるとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領の改定等を踏まえた個別の指導計画等の作成が成されるように研修を行う等、校内体制を整備し、推進することができる。
	授業実践	特別支援教育及び教科に関する学習指導要領の内容、評価の観点・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	個別の指導計画等に基づいて、適切な教材・教具を活用する等、幼児児童生徒へ効果的な指導・援助を行うことができる。	個別の指導計画等に基づくとともに、活動時の状況に応じて指導方法・体制等を変更する等、他の教員等と協働して、幼児児童生徒への効果的な指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の状態等に配慮して適切な指導・援助を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学習指導要領改訂等を踏まえた適切な指導・援助ができるように、校内の研究体制を整備し、推進することができる。
	評価改善		幼児児童生徒への指導・援助について、健康・障がいの状態、発達段階、興味・関心等の観点に基づいて授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒への指導・援助について、自身の授業実践とともに、チームとしての授業実践について適切な授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。	幼児児童生徒の実態と社会や地域から求められるニーズに対応するという視点に立って授業評価や授業改善を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	授業の評価改善のために必要な観点、評価・指導の方法等について研究し、普段の授業改善を行う校内体制を整備し、推進することができる。
生徒指導	幼児・児童・生徒理解		観察、保護者との情報交換、他の教職員からの情報、過去の資料等から幼児児童生徒の実態を的確に把握することができる。	幼児児童生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を含ませて分析し、多面的に把握することができる。	幼児児童生徒の多面的な把握と分析に必要な情報収集を行うとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	学校全体で幼児児童生徒の理解を深めるために、環境整備と組織づくりを推進することができる。
	生徒指導	幼児児童生徒と共に活動する楽しさや喜びを経験し、児童生徒理解の重要性について理解している。	幼児児童生徒の実態を踏まえて、一人一人のよさが発揮できるように指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の発揮させたいよさと具現したい姿を具体的に想定し、その実現のための中・長期的なプランを想定した指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒一人一人のよさの発揮と具現したい姿の実現のために、適切な指導・援助を行ったり保護者等と連携をはかりたりするとともに、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	幼児児童生徒への適切な指導・援助が行われるように、他の教員等や保護者・関係機関等と連携体制を整備し、推進することができる。
	キャリア教育	教育相談、生徒指導、キャリア教育、人権教育等に関する基本的事項や指導・援助方法等について理解している。	個別的教育支援計画等に基づき、社会自立を目指して、幼児児童生徒への指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の実態やニーズに基づいた社会自立を目指し、個別的教育支援計画等を活用し、保護者、関係機関と連携し、他の教員等と協働して指導・援助を行うことができる。	幼児児童生徒の社会自立を目標とした指導・援助を行う際に、他の教員等に個別的教育支援計画等や、関係機関から収集した情報等の効果的な活用について、指導・助言を行うことができる。	適切な個別的教育支援計画等の作成と改善がなされるように、他の教員等や保護者、関係機関等と連携できる組織づくりを推進することができる。
経営・分掌	学級(HR)・学年・部・学校経営		個別的教育支援計画等を立案し、それに基づき、学級(HR)全体を見渡した年間指導計画等を作成し、計画に沿った学級経営を行うことができる。	学校・部等全体を見通した年間指導計画等を作成し、他の教員等と協働して、学級(HR)・学年経営を行うことができる。	学年・部・学校全体の学級(HR)経営が適切に行われるように、部・学校の特色を踏まえて他の教員等に指導・助言を行うことができる。	特色ある学校経営を推進するために、校内の体制を整備し、「安全に安心して過ごせる環境」「自立に向けて個性を生かす体制」を整備し推進することができる。
	連携・協働	教員の職務内容や学校組織等について理解している。	幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等や保護者等と協力し、迅速な報告連絡を心がけて業務を行うことができる。	幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等と強みを生かし合える関係を結び、保護者等と円滑な関係を保つことを意識しながら、業務を行うことができる。	幼児児童生徒へ、保護者等と協力・連携しつつ、チームとしての指導・援助にあたるとともに、専門性を発揮しながら他の教員等に指導・助言を行うことができる。	自校の使命を達成するために、学校内外の関係機関等との連携体制を構築するとともに、学校における働き方改革の視点を踏まえながら、校内の業務が円滑に遂行される体制を整える。
	危機管理	危機管理の重要性や組織マネジメントに関する基本的事項等について理解している。	幼児児童生徒の安全や個人情報の重要性を理解するとともに常に心がけ、「報告・連絡・相談」を大切にして適切に行動することができる。	事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。	学校の危機管理について、周囲と連携し、迅速に対応するとともに、より適切に対応できるよう、他の教員等に指導・助言を行うことができる。	事故等の未然防止や緊急時に、適切かつ迅速に対応する組織づくりについて、体制の整備と人材の育成を推進することができる。
ICTや情報・教育データの利活用		ICTを活用した学習指導や校務の推進及び幼児児童生徒に情報モラルを含めた情報活用能力を育成することについての意義や効果を理解している。	授業や校務等にICTを活用でき、幼児児童生徒の情報モラルを含めた情報活用能力を育成するための授業実践等を行うことができる。	ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び幼児児童生徒の学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用することができる。	自らのICT活用指導力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法を提案したり、実践したりすることができる。	学校のICTや情報・教育データの活用を俯瞰的に捉え、組織的な課題を明確にし、解決に向けて働きかけることができる。

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

・目の前の幼児児童生徒の適切な実態把握や指導・援助の方法を、謙虚に学ぶ。



・学級(HR)・学年の幼児児童生徒に対する、チームでの適切な実態把握や指導・援助の方法を自ら学び、チームに伝える。

・自分が得意とする分野の知識・技能を深めつつ、校内の教員等への有効な伝え方を工夫する。

・自分が深めてきている知識・技能、学びの手段等を、学校内外の多くの人に対して伝え、役立てる。

教員が成長し続けるために大切な姿



～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

		スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
保健管理	応急処置	保健管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	けがや疾病に応じた応急処置を迅速に行うことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、応急処置を的確に行うことができる。	緊急時に備えた救急体制を整備し、教員等への周知と啓発を行うことができる。	救急体制の整備と教員等への啓発について、指導的立場を果たすことができる。
	心身の健康管理		健康診断や管理指導表等に基づく児童生徒等の健康管理や、感染症の予防対策ができる。	児童生徒等の適切な健康管理や、感染症の効果的な予防対策ができる。	最新の知見を収集し、児童生徒等の健康管理や感染症の予防対策に生かすことができる。	児童生徒等の心身の健康管理や感染症の予防対策について、指導的立場を果たすことができる。
	学校環境の管理		学校環境衛生基準に基づく環境衛生検査が適切に実施でき、改善に努める。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	児童生徒が快適で心豊かな学校生活を送るための環境づくりを推進できる。	学校環境の管理について、指導的立場を果たすことができる。
健康指導	児童生徒理解	児童生徒の体と心の状態を把握しようとして努力している。	児童生徒の健康状況を把握し、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境や背景を理解し、児童生徒の理解を図ることができる。	児童生徒の自己肯定感を高めることを意図した指導を行うことができる。	児童生徒理解について、指導的立場を果たすことができる。
	保健教育		指導計画に基づく保健教育等を行うことができる。	担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育等を行うことができる。	ヘルスプロモーションの理念に基づき、自己の健康をつくろうとする指導を行うことができる。	保健教育について、指導的立場を果たすことができる。
	健康相談活動		健康相談の基本プロセスを理解し、健康相談が実施できる。	日常の児童生徒の健康状態を把握し、個々の健康課題に応じた相談活動が実施できる。	心身の健康課題を総合的にとらえ、保護者や校内組織と連携した健康相談活動が実施できる。	コンプライアンス意識を高くもち、健康相談活動について、指導的立場を果たすことができる。
経営・分掌	保健室管理	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	学校保健活動のセンター的役割を理解して、保健室経営ができる。	学校保健活動のセンター的役割が機能した保健室経営ができる。	学校の教育目標の具現を意図した保健室経営ができる。	保健室経営について、指導的立場を果たすことができる。
	保健組織活動		保健組織活動の意義を理解し、各種会議等に意欲的に参画できる。	保健組織活動の意義を理解し、他の教職員等と連携して保健組織活動を企画・運営することができる。	校区の学校や地域の関係機関、団体と連携した保健組織活動を企画・運営することができる。	学校における働き方改革の視点を踏まえながら、保健組織活動について、指導的立場を果たすことができる。
	危機管理		管理職、保護者、医療機関等への報告・連絡・相談を遅滞なく行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	未然防止や対応のノウハウ等について、事例をもとに指導的立場を果たすことができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の配慮について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を基に、一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を定期的に見直ししながら、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、個別的教育支援計画や個別の指導計画等の活用を推進し、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、特別支援教育コーディネーターと共に保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの活用		学校保健におけるICT活用の意義、教育データの必要性について理解している。	ICT活用のための知識・技能を習得し、保健教育や保健管理等に活用することができる。	ICTを効果的に活用して保健教育や保健管理等ができるとともに業務改善に生かすことができる。教育データを適切に活用し、指導に役立てることができる。	自らのICT活用力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法や教育データの利活用を校内外に提案したり、実践したりすることができる。	ICTを効果的に活用し、教育データから児童生徒を多面的に理解し、他の教職員に健康課題等に関する指導・助言をすることができる。

【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
自分の得意な内容、領域を見付けられる。	- 自分が得意な内容、領域を磨いている。 - 他の人がもっているもののよさに気づき、取り入れてみる。	- 自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。 - 異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。	- 若手や同僚に共感する。 - 自分の知恵や経験を生かす場がある。 教員が成長し続けるために大切な姿



～目指す人間像～

「ふるさと岐阜」で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

～岐阜県が求める教師像～

児童生徒を一人の人間として尊重し、あたたかいまなざしで寄り添う教師
◎ 誰一人悲しい思いをさせない、愛情と使命感あふれる教師（高い倫理観・使命感）
◎ 指導方法を工夫し、児童生徒に確かな学力をつける教師（確かな専門性）
◎ 幅広い教養と高い専門性をもち、常に学び続ける教師（学び続ける向上心）

	スタートライン	【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
		意欲的に給食管理や食に関する指導に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、学校及び研究団体等においてリーダーシップを発揮する。	学校管理や同僚への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行うとともに、後進の育成に尽力する。
給食管理	学校給食に関する計画	献立や教科との関連を図った食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校の食に関する課題を明確にした食に関する全体計画の立案・実践ができる。	学校や地域の実態を把握し、校内外との連携を図った食に関する全体計画の立案・実践・評価ができる。	学校の教育目標の具現を視点に持ち、食に関する全体計画の立案・実践をマネジメントすることができる。
	栄養管理	給食管理における基礎的な知識と対処方法を身に付けている。	食事摂取基準や学校給食摂取基準を理解し、食物アレルギー等、適切に栄養管理を行うことができる。	学校給食摂取基準を、児童生徒や地域の実情等に十分配慮し、弾力的に適用するよう工夫・改善に努める。	実態把握に基づき、食に関する指導と給食管理の一体化を図った献立作成の工夫・改善に努める。
	衛生管理	食品衛生法と学校給食衛生管理基準を理解し、関係諸帳簿の整備など適切に衛生管理ができる。	食中毒や異物混入の未然防止について調理従事員や児童生徒へ適切な指導を行い、徹底を図ることができる。	作業動線図や作業工程表の充実を図るとともに、衛生管理体制の強化を図ることができる。	学校給食衛生管理基準に基づき、評価と改善を行い、調理場において徹底することができる。
食に関する指導	児童生徒理解	児童生徒の食生活の状況を把握するとともに、関係づくりに努めることができる。	児童生徒を取り巻く環境を理解し、児童生徒の理解を的確に行うことができる。	教職員の共通理解を図る方途を工夫し、児童生徒の食習慣の状況を的確に把握することができる。	児童生徒の食習慣の状況に応じ、食に関する自己管理能力を高めるための指導助言ができる。
	教育指導	児童生徒の体と心の状態を把握しようとして努力している。	食に関する年間指導計画をもとに、栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導を行うことができる。	児童生徒の実態を考慮し、生きた教材として学校給食の活用を図った食に関する指導の立案ができる。	児童生徒が食に関する課題に主体的に向き合い、実践に結び付く食に関する指導を行うことができる。
	個別的な相談指導	個別的な相談指導の意義を理解し、重点的に指導すべき児童生徒を把握するとともに、目的と期間、見立てに基づく個人目標を設定し、栄養教育を含めた相談指導を行うことができる。	計画・実施・検証のサイクルで個別的な相談指導を客観的に評価し、対象となる児童生徒への指導を明確化するとともに、取組の見直しや調整を行い、効果的な指導につなげることができる。	個別的な相談指導の体制を整え、保護者や教職員等と連携・協働して指導を行うとともに、個別的な相談指導の評価を学校における食育の推進の評価及び改善に反映させることができる。	指導方針に沿って、教職員や関係機関と連携を密にした個別的な相談指導を校内外の中心となって推進するとともに、専門的な知見を生かして教職員や保護者に指導・助言することができる。
経営・分掌	調理場との連携・調整	設備や食品の管理など、担当する校務の役割と、食に関する指導の両立をすることができる。	受配校や近隣の学校の実態を把握し、調理場を活用した食に関する指導や情報発信等ができる。	地域全体の食育を充実させる観点から、関係機関と連携した委員会の整備と活性化ができる。	給食管理と食に関する指導を一体化した組織的な運営等に参画し、工夫改善に取り組むことができる。
	給食組織活動	分からないことは同僚や近隣の先輩に聞きながら、自分の仕事に取り組んでいこうとしている。	食育推進委員会で資料提供したり、他の教職員等と連携して、児童生徒給食委員会を運営したりできる。	給食管理と食に関する指導が一体化した活動となるよう、給食組織活動を改善することができる。	給食管理と食に関する指導を一層関連づけた活動となるよう、働き方改革の視点を踏まえながら、給食組織活動を改善・強化することができる。
	危機管理	管理職、学級担任、保護者、学校関係機関・団体等への、報告・連絡・相談を確実に行うことができる。	危機を予見し、未然防止に努めるとともに、早期発見、早期対応に努めることができる。	正しい情報収集と組織的な対応に努め、対応後の見届けまで確実に行うことができる。	危機管理や対応のノウハウ、ヒヤリハット事例をもとに、根本的な対応のあり方を広めることができる。
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒について、合理的配慮の提供や組織的な対応の必要性を理解している。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を基に、一人一人の障がいの特性や教育的ニーズ等を把握し、ユニバーサルデザインの授業づくりに生かすことができる。	個別的教育支援計画や個別の指導計画等を定期的に見直しながら、一人一人の個性を生かした学びの実現のために工夫改善を行うことができる。	全校的な支援の充実に向け、個別的教育支援計画や個別の指導計画等の活用を推進し、組織的・継続的な支援のために主体的に働きかけることができる。	幼児児童生徒への一貫した教育支援を目指し、特別支援教育コーディネーターと共に保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を推進することができる。
ICTや情報・教育データの活用	食に関する指導におけるICT活用の意義、教育データの必要性について理解している。	ICT活用のための知識・技能を習得し、食に関する指導や学校給食の管理をすることができる。	ICTを効果的に活用して食に関する指導や学校給食の管理ができるとともに、業務改善に生かすことができる。教育データを適切に活用し、指導に役立てることができる。	自らのICT活用力を高め、これまでの経験を踏まえた活用方法や教育データの利活用を校内外に提案したり、実践したりすることができる。	食に関する指導や学校給食の管理等においてICTを多様な視点で活用し、校内外の中心となって取り組むとともに、効果的な活用について他の教職員に指導・助言することができる。

【基礎形成期】

【資質向上期】

【資質充実期】

【資質貢献期】

- 自分の得意な内容、領域を見付けられる。



- 自分が得意な内容、領域を磨いている。
- 他の人が持っているもののよさに気づき、取り入れてみる。

- 自分の知恵や経験が他の人に有用であることに気付く。
- 異なる見方や価値観を受け入れ、面白いと感じる。

- 若手や同僚に共感する。
- 自分の知恵や経験を活かす場がある。

教員が成長し続けるために大切な姿



5 研修体系図

※ 講座番号は、6桁中の上4桁を表示

方針と重点		【目指す姿】	自ら学び続ける教職員			
		【研修の基本方針】	指標に基づき、教職員が自らキャリアアップを図る研修の充実 ー岐阜県「教員のキャリアステージ」における資質の向上に関する指標と研修履歴の活用ー			
		【研修に関する重点】	① 新たな研修プログラムによる自己課題の明確化と主体性の向上 ② 今日的な教育課題に関する講座の充実による対応力の向上 ③ 個別最適な学びと協働的な学びによる実践的指導力の向上			
岐阜県教員の キャリアステージ		基礎形成期	資質向上期		資質充実期	資質貢献期
		意欲的に実践し、 教職の基礎を固める。	組織の中核として、専門性を高め、推進力を 発揮する。		活力ある学校(園)運営 を企画・調整・実践し、 リーダーシップを発揮する。	学校(園)管理や他の教 員等への指導を行い、 広い視野で組織的な運 営を行う。
基本 研修	【講座番号】 1001-1039 経験年数に応じて、 必要な資質能力の 向上を図る。	経年研修				職務研修
	新規採用研修 初任者研修 新任学校司書研修 事務職員研修 養護助教諭研修 常勤講師研修	基礎形成研修 (2～5年目)	6年目研修	中級教諭等 資質向上研修 (7～12年目)	校長研修、新任校長研修 新任副校長研修、新任教頭研修 新任部主事研修 新任主幹教諭研修 新任指導教諭研修 新任3主任研修、研修主事研修	
	【講座番号】 1101-1130 職務に応じた研修 や学校悉皆で担当者 への研修を行い、各 校の課題への対応 力の向上を図る。	県立学校ICT活用担当者研修 県立学校情報管理担当者研修、県立学校はじめての情報管理担当者研修 特別支援学級・言語通級指導教室・特別支援学校新任担当教員研修 特別支援学校介護員・介護専門職・寄宿舎指導員研修 市町村立小中学校等事務職員主任・主査・課長補佐研修 学校司書工エリアマネージャー研修、事例を通して学びいじめ事案対応				
選択 研修	【講座番号】 2000番台 教科、領域等の指 導に必要な資質能力 の向上を図る。	重点講話 2001-2005 ①非認知能力の育成 ②DX・情報社会 ③総合的な学習(探究)の時間 ④特別支援教育 ⑤人権教育 ※ 経験年数・校種など幅広い教員を対象とし、今日的な教育課題に焦点を当てた研修。校内研修でも活用可！				
		スクールリーダーアラカルト研修 2011-2018 ※ 管理職等のスクールリーダーに必要な資質能力の向上を目指した研修。リスクマネジメント、業務改善、生徒指導、人材育成、教育課程・ICT、危機管理・わいせつ対応、学校マネジメント 他				
		学習指導 2101-2175	※ 授業づくりや評価等、教科の専門性や指導の向上に関する研修。幼児教育、ステージアップ講座、教科指導基礎力向上講座、授業改善講座、道徳教育、総合的な学習(探究)の時間他			
		生徒指導 2201-2216	※ 生徒指導、教育相談、特別活動、キャリア教育等に関する研修。学級・ホームルーム経営、教育相談基礎・実践、外国人児童生徒への指導力向上、国際理解教育 他			
		経営・分掌 2301-2321	※ カリキュラム・マネジメント、人権教育、危機管理等に関する研修。メンタリング、ファシリテーション、コーチング、防災教育スペシャリスト養成、地域学校協働活動 他			
		特別な配慮や支援を必要とする 幼児児童生徒への対応 2401-2423	※ 特別な教育的ニーズのある幼児児童生徒への支援に関する研修。ユニバーサルデザイン、発達障がいのある幼児児童生徒への支援、重複障がい学級の指導、個別的教育支援計画の作成・活用、通級指導 他			
		ICTや情報・教育 データの利活用 2501-2515	※ DXによる教育の情報化の推進やICT活用に関する研修。ICT活用実践、生成AIの教育における活用、著作権、情報モラル、小学校プログラミング、動画編集 他			
	2601 育児休業からの復帰支援のための研修					
連携・各課	【講座番号】 3000番台 4000番台 課題に応じて、資質能力の向上を図る。	3001-3003 スクールリーダー養成研修(岐阜大学教職大学院との連携) 3101-3109 県美術館、県博物館等の文化施設での体験型研修 3201-3202 他自治体との連携研修(福井県) 41** 高校教育課、42** 特別支援教育課、43** 体育健康課、44** 学校安全課				
その他	□【派遣研修】国・県・民間・大学等派遣研修、国外大学等プログラム □OJT ※ 校内研修活性化の支援を行います。 □自ら学び続ける教職員研修支援事業 ※ 校内外で学び続ける自主的な研修や活動に対して助成を行います。					



■基礎形成期から資質充実期における経験年数に応じた経年研修（基本研修）を示しています。

中堅教諭等資質向上研修

学校(園)運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教員として、学習指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。

	幼認		小中義高特		養護・栄養	
	園外研修	園内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
7～11年目	—	—	4日以上	—	3日以上	—
12年目	8日	10日	3日	18日	3日	5日

6年目研修

学校の中核教員としての学習指導等を中心とした実践的指導力の向上を図る。

小中義		高特		養護・栄養	
校外研修	校内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
4日 (うち2日は0.5日)	3日	高:3日 特:2日	3日	3日	1日

基礎形成研修

自己課題を明確にし、教員としての基礎を固める。

小中義		高特	養護・栄養
2、3年目	4、5年目	2、3年目	「養護教諭・栄養教諭の 実践から学ぶ」を希望に より受講
3講座以上	2講座以上	3講座以上	

初任者研修・新規採用研修

教育公務員としての使命感、幅広い知見の獲得、教員としての基礎的素養を学ぶ。

幼認		小中義高特		養護・栄養	
園外研修	園内研修	校外研修	校内研修	校外研修	校内研修
8日	10日	小中義 14日以上 高特 15日	150時間	養護:11日 栄養: 6日	養護:15日 栄養:13日

資質
充
実
期

資質
向
上
期

基
礎
形
成
期

基本研修・選択研修・連携研修を受講





■主に資質充実期から資質貢献期にかけて、管理職や部主事、主任等を対象とした職務研修(基本研修)を示しています。

新任校長研修

講座番号 1101 (小・中・義)	研修日数 3日			
	集合 0.5日	集合 0.5日	集合 1日	オンライン 1日
講座番号 1103 (高・特)	研修日数 4日			
	集合 1日	集合 1日	集合 1日	オンライン 1日

新任副校長研修

講座番号 1104 (高・特)	研修日数 0.5日			
	集合 0.5日			

新任教頭研修

講座番号 1105 (小・中・義)	研修日数 3.5日					
	集合 0.5日	集合 0.5日	集合 0.5日	オンライン 0.5日	オンライン 0.5日	指定研修※から 2又は1講座選択
講座番号 1106 (高・特)	研修日数 4.5日～					
	集合 1日	集合 1日	集合 1日	集合 1日	指定研修※から 1講座選択	

新任部主事研修

講座番号 1107 (特)	研修日数 2日			
	集合 1日		集合 1日	

新任主幹教諭研修

講座番号 1108 (小・中・義)	研修日数 2日		
	集合 0.5日	オンライン 0.5日	スクールリーダー 養成研修A 1日

新任指導教諭研修

講座番号 1109 (小・中・義)	研修日数 2日	
	集合 1日	指定研修※から1講座選択 (多文化共生・特別支援教育)

新任3主任研修

講座番号 1110 (高・特)	研修日数 1.5日	
	オンライン 0.5日	スクールリーダー養成研修A～C から1講座選択 1日

研修主事研修

講座番号 1111・1112 (小中義)	研修日数 0.5日 (新任及び希望者は1日)	
	オンライン 0.5日(新任及び希望者)	集合 0.5日(各事務所にて開催)
講座番号 1113・1114 (高・特)	研修日数 1.5日 (新任及び希望者は2日)	
	オンライン 0.5日+0.5日(新任及び希望者)	集合 1日

※ 指定研修は、開催要項で確認してください。

基本研修・選択研修・連携研修を受講

資質貢献期

資質充実期



7 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と 振り返りの流れ (教職員の1年間の見通し例)

教職員としての専門職性を高めていくために、次に示す流れを参考に1年間の見通しを持ち、児童生徒等の学びのロールモデルとして、「自分自身にとって必要な学び」を主体的に行っていきましょう。



年度当初(期首面談等以前)

①

育成指標を基に、「自分の強みや弱み」を見つめましょう。
「今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割」を踏まえて、今年度の目標を設定しましょう。

■ 育成指標のキャリアステージ(①)を基に、指標の観点(②)から、「自分の強みや弱み」を見つめ、今後どのような学びを深めていくか考えてみましょう。

育成指標

		【基礎形成期】	【資質向上期】	【資質充実期】	【資質貢献期】
スタートライン		意欲的に授業実践や学級経営に取り組み、教職の基礎を固める。	学校の中核として実践を積み上げ、専門性を高め、推進力を発揮する。	活力ある学校運営を企画・調整・実践し、リーダーシップを発揮する。	学校管理や他の教員等への指導を行い、広い視野で組織的な運営を行う。
学習指導要領	授業構想	学習指導要領の目標や内容、評価の観点等を踏まえ、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	小・中学校9年間の系統性、児童の発達の段階を踏まえて指導計画を作成することができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画を作成し、他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題、学習指導要領の改訂等を踏まえた指導計画が作成され、全校体制で取り組めるよう働きかけることができる。
	授業実践	小学校に関する学習指導要領、評価規準・評価方法等を理解し、それらを踏まえた指導計画を作成することができる。	各教科の特性を理解し、児童一人一人に確実に基礎・基本が身に付くよう指導・援助を行うことができる。	授業モデルを示すなど、授業実践のリーダーとして指導方法を積極的に他の教員等に広めていくことができる。	学校の課題を踏まえ、学力向上に向けた実践を他の教員等に伝えたり、適切に助言を行ったりすることができる。
	評価改善	評価計画に沿って児童一人一人の学習状況を把握し、次時や次単元の指導を改善することができる。	適切な授業評価を行い、継続的な授業改善を行うとともに、教科の特性に応じた指導力の向上に努めることができる。	学校の授業力向上に向けた取組の課題を明らかにし、指導計画等の改善を行うことができる。	他の教員等に対して、授業における評価を生かした指導改善について、適切に助言を行うことができる。

②

研修履歴を確認してみましょう。

■ 全国教員研修プラットフォーム(以下、「Plant」)で、過去に受講した研修を確認してみましょう。

※自身のログインIDとパスワードでログインし、メニューバーの「受講履歴」をクリック

・メニューバー下の「受講履歴一覧」⇒令和7年度以降に受講した研修を確認

・メニューバー下の「受講履歴登録」⇒平成21年度から令和6年度に受講した研修を確認

The screenshot shows the Plant system interface. The top navigation bar includes '利用者TOP', '重点目標', '研修検索', '研修申込状況', and '受講履歴' (highlighted with a red box). Below the navigation bar, there are tabs for '受講履歴一覧' and '受講履歴登録'. The '受講履歴一覧' tab is active, showing a search filter for the year '2025' and a list of training records. The first record is '2026/2/28(土) 授業改善講座(国・算)～実践から学ぶ、授業力向上～' with a status of '指導' and a date of '2024/11/14(木)'. The total count is '全1件'.

③

重点目標を設定し、「教職員研修計画2026」にどのような研修があるか見てみましょう。

- Plantのメニューバーから【重点目標】を登録しましょう。



- 「教職員研修計画2026」から自己課題に応じた研修講座や興味・関心に応じた研修講座を探してみましょう。期日や開催方法等を確認しましょう。

- Plant上の開催要項で、日程等の詳細を確認しましょう。<https://plant.nits.go.jp/>
※自身のログインIDとパスワードでログインし、メニューバーの「研修検索」をクリック

【重要】令和8年度の開催要項は、令和8年3月30日(月)から閲覧可能ですが、研修申込は令和8年4月8日(水)から開始します。開始日以前に申込の操作をすると、不具合が生じる可能性があります。



必要に応じて管理職と相談しましょう。

④

どのような機会を活用して学ぶのかを考え、研修計画を立てましょう。

- 「わたしの教員研修計画 2026」(本紙p.83)を活用して、研修履歴や重点目標を踏まえた研修計画を立てましょう。※各所属にPowerPointデータを送付しています。

- 総合教育センター等での校外研修だけでなく、OJTや校内研修をはじめとする、学校における様々な機会や場面を活用して、学びを深めましょう。

「学びのポートフォリオ」
として、1枚のシートで

- ・ 目標設定
 - ・ 課題分析
 - ・ 研修計画
 - ・ 振り返り
- を可視化しましょう。



必要に応じて管理職と相談しましょう。

期首面談等

⑤

「重点目標」や「研修計画」について、管理職との面談を通じて、助言をもらいましょう。

「自分の強みや弱み」、「今後伸ばすべき力」、「学校で果たすべき役割」などを踏まえながら、管理職と面談をしましょう。必要に応じて、「わたしの教員研修計画 2026」を持参しましょう。

⑥

研修講座を申し込みましょう。

※期首面談の日程によっては、研修申込が先になることがあります。

- Plantのログイン画面(センターHPからもログイン可能)

<https://plant.nits.go.jp/>



- ID「210005p職員番号」*英数字は半角

初期パスワード「P*****」

※初期パスワードは、『全国教員研修プラットフォーム』教職員用簡易マニュアル』に記載されています。ご自身で設定したパスワードを忘れた方は、同マニュアル(P8)を確認してください。メールアドレスの変更等により、認証コードを受信できない方は、教育研修課研修企画係まで連絡してください(058-271-3450)。

⑦

研修を受講し、学びを活用・還元しましょう。

- 受講前に本紙p.17の「8 研修講座受講に当たって」及びPlant上の開催要項を必ず確認しましょう。
- 研修での学びを生かして、「自分自身にとって必要な学び」を深めていきましょう。また、研修での学びを校内で還元していきましょう。
- 研修での学びから、活用の場面を具体的にイメージし、何が実践できるのか、どのように学校での取組に生かせるかを考えてみましょう。

例) 授業、授業以外の場面での指導、研究授業、各種会議、校内研修やOJT等…

校内での学び【校内研修やOJT等】

校外での学びを学校で
活用する、還元する



校内研修、学校での経験を
生かして校外で学ぶ

校外での研修【岐阜県総合教育センター等】

※研修講座で配付された資料等を校内研修等に活用する場合は、著作物の二次使用となります。使用の可否について、必ず講座担当者を確認をお願いします。

必要に応じて管理職と相談しましょう。

期末面談等

⑧

「重点目標」を踏まえて1年間の研修成果等を振り返り、次年度の目標等について、管理職と面談をしましょう。

今年度の研修計画について、成果や取組状況、課題等を振り返り、次年度の目標設定や自分自身にとって必要な学びについて、管理職と面談をしましょう。必要に応じて、「わたしの教員研修計画 2026」の振り返り欄を記入し、持参しましょう。

次年度以降へ…



1

研修申込期間

- A:すべての悉皆研修及び、8/31までに実施予定の選択研修
 申込期間 令和8年4月8日(水)～4月17日(金)17時締切
 受講決定 令和8年4月24日(金)まで

- B:9/1以降に実施予定の選択研修
 申込期間 令和8年4月8日(水)～7月3日(金) 17時締切
 受講決定 令和8年7月10日(金)まで

- 定員超過の場合は、
 A日程は、4月23日(木)までに、
 B日程は、7月9日(木)までに抽選を行います。
- 追加申込みは、定員に満たない研修及びオンライン研修で実施する予定です。

2

留意事項【集合・オンライン研修共通】

① 開催要項の確認

研修の数日～1週間前に、全国教員研修プラットフォーム(Plant)にログイン(個人のID・パスワードで)し、日程や内容、持ち物等を確認しましょう。

② 研修修了

研修後、2つのアンケート(研修後アンケート・還元度アンケート)に回答しましょう。

③ 研修に関するお知らせ

内容に応じて、所属先への電話やPlantのお知らせ機能(メール通知を含む)又は総合教育センターホームページのトップ画面で連絡します。

⇒ <https://www.gifu-net.ed.jp/ggec>

④ 欠席・遅刻の対応【変更あり】

欠席・遅刻等	①管理職から講座担当係に電話連絡 ②総合教育センターホームページに掲載されている「欠席等届出用フォーム(LoGoフォーム)」に必要事項を入力して送信 *届出には管理職用認証キーが必要です。 必ず管理職から連絡・届出をお願いします。
--------	---

※ 体調不良の場合は無理をせず、各所属の管理職に相談の上、欠席の届出をしてください。

⑥ 気象警報発表時の対応(オンライン研修も同様)【変更あり】

開始3時間前までに 研修会場の市町村の気象警報が全て解除された場合	研修実施
開始3時間前までに 研修会場の市町村の気象警報が全て解除されていない場合	研修中止
開始3時間前から研修開始までに 研修会場の市町村に気象警報が発表された場合	研修中止
参加者の勤務する学校や園等がある市町村、または研修場所 に向かう経路上の市町村に気象警報が発表されている場合 今後、気象警報が発表される見込みがある場合	所属長の指導を 受け、出欠を判断

* 研修中に気象警報が発表された場合(発表される見込みを含む)は、総合教育センターが判断します。

* 台風等で予測可能な場合は、事前に延期や開催方法の変更等の対応をすることがあります。

3 駐車場について

総合教育センター敷地内の研修受講者用駐車スペースには限りがあります。
満車の場合は臨時駐車場の利用にご協力をお願いします。

※「総合教育センターからのお知らせ(p.81)」又は総合教育センターホームページで
臨時駐車場の地図を確認できます。

4 オンライン研修の流れ

受講前

- 受講環境
 - ・ 落ち着いて受講でき、通信状況が良い場所を選択
- 開催要項
 - ・ Plantから研修資料等のダウンロード、必要に応じて印刷
 - ・ 研修日程や持ち物等の連絡事項を確認
 - ・ Web会議室情報(URL、ミーティング番号)及び入室方法等の確認
 - ・ 管理職にオンライン研修の受講を連絡



受講中

- 研修中に接続の不具合があれば、次の順で対応してください。
 - ① Web会議室を一旦退室して、再度入室する。
 - ② 改善しないようであれば、別の機器を使用してみる。
 - ③ 不具合が続くようであれば、講座担当係又は研修企画係(058-271-3450)に電話連絡をする。
 - ④ 研修の継続が難しいようであれば、管理職に相談する。
- 受講者側での研修の録画や写真撮影は禁止
- Plantからダウンロードした研修資料を受講者以外の他者に提供、自組織のクラウド等にアップロード、複製して配布等することは、たとえ営利目的でなくても、著作権の侵害となります。
- 受講中のカメラやマイクの使用については、講座担当者の指示に従ってください。

受講後

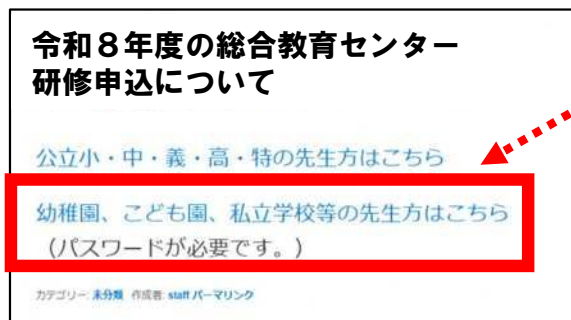
- 管理職にオンライン研修の受講を報告
- Plantから「研修後アンケート」及び「還元度アンケート」に回答
※回答期限は講座担当者の指示による。
- 事後レポート等の提出が必要な場合は、期日までに担当者に送付

1 研修申込について

<総合教育センターホームページのTOP画面から>

① 研修講座の開催要項を確認する。

研修のカテゴリーをクリックし、パスワードを入力すると、各研修講座の概要が確認できます。



こちらをクリックしてください。

② 研修に申し込むための受講申込書(別紙様式)をダウンロードする。

③ 各園・学校で取りまとめて、受講申込書に必要事項を入力する。

(注) 1所属につき、1ファイルの提出をお願いします。

④ 下記URL(LoGoフォーム)にアクセスして、受講申込書を提出する。

【LoGoフォームURL】 <https://logoform.jp/form/T8mB/1433940>

【LoGoフォームにアクセス可能な期間】

A日程の申込: 4月13日(月)～4月17日(金)

B日程の申込: 6月29日(月)～7月3日(金)

2 受講決定から研修受講について

① 受講決定について

申し込みをした研修講座の受講可否については、所属代表にメールで連絡します。

② 研修受講について

総合教育センターのホームページで開催要項を確認し、研修を受講してください。期日や会場の変更があった場合は、総合教育センターのホームページで案内します。また、オンライン研修のWeb会議室情報や研修資料、その他の連絡等は、必要に応じて、講座担当係から所属代表にメールで連絡します。

3 研修修了について

教育研修課から、研修講座の修了状況を、所属代表にメールで連絡します。その際、還元度アンケートのURLを併せて送付しますので、アンケートへの回答をお願いします。



10 おすすめ講座

重点講話

急速な社会変化及び複雑化する課題にどう対応していくとよいかを、有名講師と学びます。
「集合とオンライン」のハイブリッド型研修とオンライン型研修の2形態があります。

※ 「集合・オンライン研修」の講座番号6桁の下2桁は、01が参集、02がオンラインです。

講座番号 200100

① 非認知能力の育成

開催日：7月1日(水)

時 間：14:00～16:00

形 態：オンライン研修

非認知能力をどう捉え、生かすか

All HEROs 合同会社代表 中山 芳一 氏

かねてから言われている「非認知能力」という言葉の理解を深め、「非認知能力を生かして認知能力をどう高めるか」等を視点として講話を聞き、学校教育への生かし方を学びます。

講座番号 200201・02

② DX・情報社会

開催日：7月8日(水)

時 間：14:00～16:00

形 態：集合・オンライン研修

生成AIを活用した授業づくり

東京学芸大学 教授 高橋 純 氏

中央教育審議会デジタル学習基盤特別委員会委員を歴任した講師から、「生成AIを授業の中で具体的にどのように使えるか」等を視点として講話を聞き、生成AIを活用した授業づくりや授業改善のヒントについて学びます。

講座番号 200301・02

③ 総合的な学習(探究)の時間

開催日：9月7日(月)

時 間：14:00～16:00

形 態：集合・オンライン研修

これが「総合的な学習の時間」の授業です！

横浜市立大岡小学校 教諭 増井 雅子 氏

総合的な学習の時間の実践者の講話から、先進校の授業実践について学んだり、カリキュラムマネジメントの中核として実施するための組織的かつ効果的な体制づくりについて学んだりします。

講座番号 200401・02

④ 特別支援教育

開催日：11月5日(木)

時 間：14:00～16:00

形 態：集合・オンライン研修

インクルーシブ教育と授業づくり

茨城大学 教授 新井 英靖 氏

「学習困難を伴う子供を含めたクラスでインクルーシブな授業を行うためにはどのような考え方が必要か」などの視点から講話を聞き、学習支援の本質について学びます。

講座番号 200501・02

⑤ 人権教育(性的マイノリティ)

開催日：12月4日(金)

時 間：14:00～16:00

形 態：集合・オンライン研修

自分らしさが認められる社会を目指して

女装パフォーマー ブルボンヌ 氏

LGBTQについての講話を通して「自分らしさが認められる社会を目指すにはどのようなことが大切か」等について考え、「多様性」を受け入れる「ダイバーシティ&インクルージョン」について学びます。

おすすめ講座

スクールリーダーアラカルト研修

スクールリーダーとして対応を求められる学校諸課題に対して、選択講座を準備しました。令和6年度以降、管理職だけでなく、学校の中核を担う教諭・将来担うと期待される教諭も受講可能ですので、所属長から学校の中核を担う(将来担うであろう)教職員に受講を勧めてください。

講座番号 201100 【リスクマネジメント】学校外への説明責任 [4/15(水)] ※校長・副校長のみ

集合

■田中危機管理広報事務所
社長 田中 正博 氏

「保護者説明会を開かなきゃ！」となった時に、落ち着いて保護者に説明ができますか。危機管理の専門家が指導する、実践的な演習です。

講座番号 201201～03 【業務改善】教員のウェルビーイングを高める「働きやすさ・働きがい」改革 [6/10(水)]

■愛媛大学大学院
教授 露口健司氏

「早く帰宅を…」と言えば言うほどギスギスする職員室。働きやすさと働きがいを両立できる職場をどのようにするか、事例を基に考えます。

講座番号 201301～03 【生徒指導】『生徒指導提要(改訂版)』が示す生徒指導の方向性 [9/28(月)]

■関西外国語大学
教授 新井 肇 氏

学校・教職員に求められる生徒指導力とは？『生徒指導提要』の改訂に携わった講師から、これからの生徒指導がめざす方向性が示されます。

講座番号 201401～03 【人材育成】人を育てる仕事のあり方 [11/20(金)]

■兵庫教育大学
名誉教授 浅野 良一 氏

若手や後進の育成にどのような手立てがあるのか悩んでいませんか？豊富な事例とデータを基に、人材育成の要諦を学びます。

講座番号 201501～03 【教育課程・ICT】ICTによる授業改善と校内研修の改革 [9/14(月)]

集合

■熊本大学大学院
特任教授 前田 康裕 氏

学校全体の授業レベルを上げたい！人気シリーズ『まんがで知る教師の学び』の著者が、全ての教員を巻き込む授業改善の工夫を提示します。

講座番号 201601～03 【危機管理・わいせつ対応】性犯罪から子どもを守る [10/27(火)]

■奈良大学
准教授 今井 由樹子 氏

子どもにも、教職員にも大きなダメージを与えるわいせつ事案。事前の手立てとしてどのようなことが考えられるのか。理論と事例を紹介します。

講座番号 201700 【学校マネジメント演習】令和の学校マネジメント(情報収集・企画) [10/2(金)]

集合

■兵庫教育大学教員養成・研修
高度化センター 協力研究員

※校長・副校長・教頭のみ
ご自身のマネジメント感覚には、自分では気づかない「偏り」や「癖」があるかもしれません。演習での気づきを通して、経営視野を広くする研修です。

講座番号 201800 【学校組織マネジメント】学校危機管理 [5/28(木)] ※校長・副校長のみ

集合

■常葉大学大学院
教授 久米 昭洋 氏

コーチングスキルを活かした組織づくりにより、不祥事を未然に防ぐ人材育成や学校組織マネジメントの方法を学びます。

※令和8年1月30日現在(講師の所属・役職は令和7年度のものの)

おすすめ講座

他校種の教育活動から学ぶ

～校種の異なる学校の教育活動の参観を通して、発達段階に応じた指導を学ぶ～

小・中・義務教育学校の6年目研修対象者、中堅教諭等資質向上研修(7～12年目)対象者、それ以外の希望者向けの講座です。

目的

学習指導や生徒指導、キャリア教育、特別支援教育等についての知見を習得するため、他校種の教育活動の参観を通して、児童生徒の成長の背景、発達段階に応じた指導を学びます。

内容

講座番号 210501

専門学科・総合学科設置高等学校(全日制・定時制)

専門学科には、農業や工業、商業、家庭、福祉、情報、芸術などの多様な学科があります。生徒たちは、実技、実習を中心とした学習など、専門性を高めるための十分な経験を積み、資格を取得したり、専門的な技術を身に付けたりします。総合学科では、普通科で学べる科目だけでなく、進路希望や興味・関心に応じて専門学科の科目も学びます。普通科と専門学科のよさをあわせもっています。

授業参観だけでなく、学校によっては実技体験や生徒による課題研究発表会の参観も計画されています。義務教育での学びが、どのようにつながるのかを考えてみませんか。

講座番号 210502 特別支援学校

「岐阜県が進めるインクルーシブ教育システム」の構築を目指し、一人一人の多様な教育的ニーズに応じて、学校資源や地域資源を効果的に活用したきめ細かな学びを目指した取組が行われています。特別支援学校では、可能な限り自立し社会参加ができるよう、障がいの状態や発達段階に応じた教育内容、方法により、手厚く、きめ細やかな教育を行っています。

学校説明や授業参観を通して、通常の学級、通級による指導、特別支援学級などに在籍する多様なニーズに応える学びの場の充実や学びの場を支える教員の専門性向上について考えてみませんか。

申込方法

- ①受講者は、総合教育センターのホームページより、研修受入可能な学校を確認し、参観を希望する学校を決定します。
- ②参観を希望する学校のホームページに案内されている参観可能日を確認します。
- ③受講者が研修できる日程であることを確認できたら、「全国教員研修プラットフォーム(Plant)」で申込みます。
- ④所定の様式「学校参観申込書(様式6)」(※注)に必要事項を記入し、参観を希望する学校の指定メールアドレスに送付します。
- ⑤参観を希望する学校から、受講者が指定したメールアドレスへ連絡事項が返信されます。

※注 総合教育センターのホームページ「中堅教諭等資質向上研修要項・様式等」からダウンロード又はPlantの当該研修開催要項からダウンロードしてください。

※小・中・義務教育学校の中堅教諭等資質向上研修の選択研修「校種の異なる学校等を訪問して行う研修」とすることが可能です。

※小・中・義務教育学校の6年目研修の選択研修とすることが可能です。

※小・中・義務教育学校の基礎形成研修の校外研修には代替できません。

受講

おすすめ講座



「学習指導」に関わる 研修プログラムの案内(小・中・義)

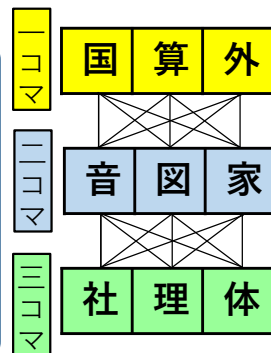
自ら学び続ける教職員の皆さん、自己課題に挑戦するための魅力的な講座を多数準備しました。多くの人たちと学び合いながら、一緒に成長していきましょう！皆さんの参加をお待ちしています！

小・義

小学校授業セレクト講座【210700】

初めての小学校勤務で不安ですか？得意教科以外の指導に悩んでいる方にもぴったりの講座です。楽しくて力のつく授業にするための指導の基礎を学びましょう。各自のニーズに応じて、1日に3教科を選んで受講できます。ぜひご参加ください！

例：①国語 ②図工 ③体育



小・中・義

各教科の実践に関わるオンライン相談会【210801～11】

教科部会が一人で、相談できる相手がいない…単元や題材の組み立て方を知りたい…もっと効果的な指導法を考えたい…そんな先生方の悩みに応える相談会を開催します！各教科の指導主事と一緒に、解決策を見つけませんか？基本的に放課後15:30～16:30に行う予定です。途中からの参加や途中までの参加も大歓迎です。ぜひご参加ください！ ※研修履歴には残りません。



ステージアップ講座【210901～211902、212200～213603、213800～214100】

小・中・義

「学習指導」の力量を一つ押し上げませんか？若手からベテランまでが一緒になって学ぶ講座です。①基礎・基本の理解 ②領域や内容について学ぶ ③授業公開に向けての指導案検討や授業研究会を通して学ぶ ④指導主事が勤務校を訪問し、各自の課題に沿って授業実践力を高めていく等、教科ごとに多種多様な講座が開催されます。

若手からベテランまで、幅広いキャリアの先生方と一緒に学び合いながら、各自のキャリアステージに応じて教科の指導力をさらに高めていきましょう。次期学習指導要領について検討されている今こそ、その動向も見据えながら、新たな発見と自身の成長のチャンスです！

おすすめ講座

授業改善講座校内研修を
リニューアル

講座番号 217501～217517

伴走型研修

教科指導力向上サポート講座(高・特)

～教科担当指導主事が訪問やオンライン等により、
講義やワークショップ、授業研究会を行います！～

目的

教科担当主事による講義やワークショップ等を通して、学習指導
要領実施上の課題や疑問等についての解決策などを各校の実態
を踏まえながら共に考え、指導計画や学習指導の改善を図る。

実施期間

令和8年5月1日(金)から令和9年1月29日(金)

・研修内容や日程は受講者と教科担当指導主事との相談に
より、決定します。こんなとき
におすすめ

- ☆研究授業に向けた授業づくりをしたい
- ☆生徒一人一台端末の環境を生かした授業に挑戦したい
- ☆自分の授業スタイルをアップデートしたい
- ☆教科の枠を超えた授業研究にファシリテーターがほしい
- ☆実践研究への助言がほしい

など

申込
方法全国教員研修プラットフォーム(Plant)上の開催要項(講座番
号217501～217517)から、申込用紙をダウンロードし、教
育研修課までメールにてお申込みください。(送付先: gec@govt.pref.gifu.jp)

記入例も掲載していますので参考にしてください。

- ・教科単位だけでなく、個人での申込も可能です。
- ・複数教科あるいは全教科で校内研修として活用するなど、各
校の希望に応じて実施可能です。

研修を通して、学習指導上の不安を少しでも解消し、互いに指導力
の向上を目指しましょう！

おすすめ講座



【講座番号230100】

研修主事サポート出前講座(小・中・義)

～学び合い文化の醸成を目指して～

研修主事等が企画する研修会や研究会等に指導主事が複数回参加し、校内研修や校内研究をサポートします。気軽にご相談ください！

目的

研修主事を支えるために指導主事が学校を訪問し、研修会や研究会等への参加を通して、各校の実態を踏まえながら、効果的な校内研修の在り方を研修主事と共に考えます。

訪問期間

令和8年6月29日(月)から令和9年1月29日(金)

- ・学校の選定、日程の調整は4・5月中に行います。
- ・訪問日時は各校の希望に応じて設定することができます。
- ・年間を通して継続した訪問に対応します。

内容

☆実践例☆

- ・各校の悩みに即して、主体的な校内研修になるよう、研修主事をバックアップします。(相談、研修会参加など)
- ・学び合い文化を醸成するために、複数の指導主事が訪問し、校内研修をバックアップします。
- ・校内研修等に参加し、伴走しながら、研修主事と共に多様なスタイルでの学び合いを考えます。

☆実施方法☆

対象校 小学校・中学校・義務教育学校

形態 研究会、研修会、指導部会、教科部会、相談等

場所 依頼のあった学校において



方法

申込方法

申込は、次の2点を行ってください。

- ①研修主事が、Plantから申し込む(管理職承認も必要)
- ②研修主事が、Plantに掲載している申込用紙に必要事項を記入の上、管理職の承認を得て、申込用紙を教育研修課へメールで送付 (送付先: gec@govt.pref.gifu.jp)

校内研修や校内研究を活性化することで、学び合い文化の醸成を図り、互いに切磋琢磨できる協働的な職場を目指しましょう。

おすすめ講座

特別な配慮や支援を必要とする 幼児児童生徒への対応に係る講座

多様な個性や特性を有する幼児児童生徒の教育的ニーズに対応するための指導や支援について学びます。

講座番号 240101～240103

開催日: 10月16日(金)

時 間: 13:30～16:00

場 所: 01 総合教育センター

02 中濃総合庁舎

03 飛騨総合庁舎

対 象: 幼小中高特の教員

ユニバーサルデザインの視点を 生かした授業づくり ～明日から生かせる理論と実践～

多様な子供たちの学びの実現に向けて、ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業づくり及び個に応じた支援や環境設定について学びます。

講座番号 240700

開催日: ① 6月12日(金)

② 11月12日(木)

時 間: ① 13:50～16:30

② 13:20～16:00

形 態: ①オンライン ②集合研修

対 象: 幼小中高特の教員

レッツ！ポジティブ行動支援 ～望ましい行動を引き出すアプローチ～

ポジティブ行動支援の考え方や気になる行動の背景を理解し、望ましい行動を引き出す支援方法について学びます。2日目には各校での実践を交流します。

講座番号 240800

開催日: 7月 2日(木)

時 間: 13:30～16:00

形 態: オンライン研修

対 象: 幼小中高の教員
(特別支援学校は対象外)

個別の教育支援計画の作成・活用 ～支援をつなぎ、理解を深める～

作成した個別の教育支援計画を活用するための視点を学びます。また、幼児児童生徒への切れ目のない支援を繋いでいくための引継ぎも演習を通して学びます。

講座番号 241400

開催日: 5月1日(金)

～1月29日(金)

時 間: 各自

形 態: オンデマンド研修

対 象: 幼小中高特の教員

多様なニーズに応じた特別支援教育 オンデマンド研修

特別支援教育の基礎的な知識について、国立特別支援教育総合研究所のコンテンツ(NISE 学びラボ)を基に、自らのニーズや障がい種に応じて学びます。受講と報告書の提出をもって修了を認定します。

【NISE学びラボURL】

https://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

おすすめ講座

特別支援学校教員の専門性向上講座

特別支援学校に在籍する重度重複障がいをもつ児童生徒の指導の在り方について、各分野の専門家による講義と演習を通して実技を学びます。

講座番号 241800

開催日: 7月23日(木)

時 間: 9:50~15:30

形 態: 集合研修

(岐阜希望が丘特別支援学校)

対 象: 肢体不自由教育を基礎から
学びたい特別支援学校教員

重複障がい学級の指導

～コア・スクールで基礎を学ぼう～

肢体不自由教育のコア・スクールで各専門分野領域のコア・ティーチャーから重度重複障がい学級の指導に必要な基本的な知識や具体的な支援方法を学びます。

講座番号 241900

開催日: 7月28日(火)

時 間: 9:50~15:50

形 態: 集合研修(総合教育センター)

対 象: 重複障がい学級を担当して
いる特別支援学校教員

重複障がい学級の指導

～実践者から学ぶ「からだ」の授業～

重複障がい学級の指導を実践してきた実践者から「からだ」についての支援方法を学び、悩みや自己課題についての助言を受けながら実践力を高めます。

講座番号 242000

開催日: 7月27日(月)

時 間: 9:50~15:50

形 態: 集合研修(総合教育センター)

対 象: 重複障がい学級を担当して
いる特別支援学校教員

重複障がい学級の指導

～作業療法士と共に考える「個別課題」の授業～

身体の動きの困難さの要因分析から適した姿勢づくりや手指操作課題について専門家(作業療法士等)の視点から学び、個に応じた指導や実践力を高めます。

講座番号
242100

8月3日(月)

岐阜希望が丘特別支援学校

重複障がい学級の指導
～スイッチ教材を
つくろう～

様々なスイッチ教材や活用事例を学びます。また実際にスイッチ教材を作りながら、効果的な活用をコア・ティーチャーから学びます。

講座番号
242200

8月20日(木)

総合教育センター

基礎から学ぶ動作法
～動作法の概論、実技
を学ぶ～

心理リハビリテーションスーパーバイザーから動作法の概論、実技を学び、日々の実践に活かせるようにします。(実技演習あり)

講座番号 242301/242302

8月17日(月) 西濃・美濃・飛騨

8月21日(金) 岐阜・可茂・東濃

総合教育センター

動作法を活用した「からだ」の授業

～実技演習を通して学ぶ～

心理リハビリテーションスーパーバイザーから動作法を活用した「からだ」の授業についての実技演習から、専門的な知識や支援方法を学び実践力を高めます。(実技演習あり)

おすすめ講座

DXやICT活用に係る研修講座【講義】

教育現場の課題解決につながる具体的な活用事例や考え方を、各分野の専門家から体系的に学びます。これからの学校教育の充実に向け、実践につながる学びの機会としてご活用ください。

講座番号 250101
250102

開催日:8月25日(火)
場所:01総合教育センター
02勤務地(オンライン)
対象:小中義高特の教員

生成AIの教育における活用講座

～普段使いするために～

岐阜市立女子短期大学 長谷川旭 氏

生成AI(人工知能)を用いたプロンプトエンジニアリングの演習を通して、生成AIについて理解を深めるとともに、教育における活用の可能性について学びます。

講座番号 251000

開催日:1月14日(木)
場所:勤務地(オンライン)
対象:小中義高特の教員

新しい学びの時代における著作権教育講座

～1人1台端末環境、オンライン学習における著作権について学ぶ～

青山綜合法律事務所 近藤 正篤 氏

ICT環境を用いた授業や、オンラインを活用した学習活動を行う際に気を付けるべき著作権について学びます。

講座番号 251300

開催日:11月5日(木)
場所:総合教育センター
対象:小中義高特の教員

デジタル・シティズンシップ教育のすすめ

岐阜聖徳学園大学 芳賀 高洋 氏

デジタル社会を生き抜いていく子供たちに必要なデジタル・シティズンシップ教育について専門家の講義を通して学びます。

講座番号 251400

開催日:9月下旬
場所:総合教育センター
対象:小中義高特の教員

クラウドを活用した個別最適な学びと協働的な学び

文部科学省 学校DX戦略アドバイザー

GIGAスクール構想による整備後の先にあるICT活用について理解を図り、今後の実践に生かすための知識を身に付けます。

おすすめ講座

DXやICT活用に係る研修講座【演習】

本研修は、教育におけるDXやICT活用について、演習を通して体験的に学び、習得した内容を即時実践につなげることを目的としています。教員一人一人の状況に応じた学びを大切に、日々の教育活動を支える実践力の向上を図ります。

講座番号 250301～250310

01:Microsoft Forms
02:Microsoft Teams
03:MetaMoji ClassRoom
04:iPad、05:ロイロノート、06:百問繚乱
07:manaba、08:SKYMENU Cloud
09:Google WorkSpace
10:学習者用デジタル教科書
開催日:6～7月
場所:勤務校(オンライン・オンデマンド)
対象:小中義高特の教員

放課後学べる！ミニICT講座

異動したら端末・ツールも変わってしまった！でも早く使えるようになりたい！という時のミニ講座。今さら聞けない・・・という方もどうぞ。放課後の時間を有効活用して、基礎・基本について学びます。

※経年研修における「自己課題に応じた研修」とすることはできません。
※育休明け、役職定年等でICTにブランクのある方も、お気軽に参加してください。
※研修履歴には残りません。

講座番号 250501～250510

01～02:iPad、03～05:ロイロノート
06～07:MetaMoji ClassRoom
08:SKYMENU Cloud
09:Microsoft Teams
10:Chrome Book
開催日:9～11月
場所:総合教育センター(集合)
対象:小中義高特の教員

ICT活用実践研修(ツール別)

県内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教員のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末と連携する学習支援ツール等の活用実践を通して学びます。基礎・基本の操作を身に付けている前提で、思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業づくりを意識した研修内容です。

講座番号 250701／250702

01:micro:bit 6月15日(月)
02:Scratch 7月8日(水)
場所:総合教育センター(集合)
対象:小中義高特の教員

小学校プログラミング講座

～教育課程への位置付けを実践的に行う～

プログラミング教育を推進するため、「小学校プログラミング教育の手引」や様々な実践事例を基に学び、教科等における論理的な思考力を高めるための指導力を身に付けます。

講座番号 250901～250903

01: 6月10日(水)
02: 6月11日(木)
03:10月23日(金)
場所:総合教育センター(集合)
対象:小中義高特の教職員

校務のための表計算 基礎・基本講座

～校務処理の時短に役立つ機能の活用～

実用的な関数の利用、クロス集計やフィルターといった機能など基礎的内容を学び、校務の効率化に役立つ知識と技術を身に付けます。

講座番号 251201／251202

01:動画編集アプリ(ios対応) 11月上旬
02:動画編集ソフトウェア 11月下旬
場所:総合教育センター(集合)
対象:小中義高特の教員

動画編集講座 ～教材としての動画活用のために～

KAKKO(E)合同会社 中村親也 氏

わかりやすく伝わりやすい教材動画を作成するためのポイントを、専門家の講義と実技演習を通して学びます。

講座番号 251500

期日:6/1(月)～1/29(金)
場所:オンデマンド
対象:幼認小中義高特の教職員

e-learning リスキリングICT講座

～文書作成、表計算、プレゼンテーション～

文書作成、表計算、プレゼンテーションソフトウェアの活用について、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けます。学び直したい方におすすめ。GIGAスクール構想における3つのOSすべてに対応しています。

おすすめ講座

スクールリーダー養成研修

岐阜大学教職大学院との協働により「教育法規」・「危機管理」・「カリキュラム・マネジメント」・「教育の今日的課題（いじめ、ICT教育、特別支援教育）」等に係る講話及び演習を通して、スクールリーダーとしての資質向上を図ります。

《受講対象者》

【小学校・中学校・義務教育学校】

■所属長が受講を認めた下記の者

主幹教諭・指導教諭・教務主任・研修主事

生徒指導主事・学年主任・養護教諭・栄養教諭・事務職員

市町村教育委員会指導主事・岐阜県教育委員会指導主事等

【高等学校・特別支援学校】

■所属長が受講を認めた下記の者

教務主任・研修主事

生徒指導主事・進路指導主事

※講師の所属は令和7年度のものです

講座番号

300101～300103

ユニットA

開催日：7月27日(月)

時 間：9:30～16:30

場 所：勤務校

形 態：オンライン研修

- ①【教育法規】講師：岐阜大学准教授 芥川 祐征 氏
教職員のコンプライアンス意識向上のための法令及び具体的事例
- ②【教育改革】講師：岐阜大学教授 益子 典文 氏
ICTを活用した教育の推進・授業デザインの在り方
- ③【リーダーシップ論】講師：静岡大学教授 武井 敦史 氏
人材育成の観点からみる管理職の在り方やリーダーシップ
- ④【インクルーシブ教育】講師：岐阜大学教授 平澤 紀子 氏
障がいのある児童生徒への合理的配慮の在り方及び校内支援体制

講座番号

300201～300203

ユニットB

開催日：7月30日(木)

時 間：9:30～16:30

場 所：勤務校

形 態：オンライン研修

- ①【組織マネジメント】講師：教育総務課 教育主管 三島 晃陽 氏
学校の課題分析、社会に開かれた教育課程の実現
- ②【学校評価】講師：岐阜大学教授 棚野 勝文 氏
PDCAサイクルを機能させたグランドデザインやマネジメントの具体
- ③【学校の危機管理】講師：岐阜大学准教授 芥川 祐征 氏
学校の防災体制や危機管理マニュアルの整備と防災教育
- ④【学校の事件・事故】講師：弁護士 小森 正悟 氏
法的根拠に基づく、いじめの未然防止や早期発見・早期対応等

講座番号

300301～300303

ユニットC

開催日：8月18日(火)

時 間：9:30～16:30

場 所：勤務校

形 態：オンライン研修

- ①【授業開発論】講師：岐阜大学教授 柳沼 良太 氏
授業改善を通じた学力の向上と道徳性の育成
- ②【教育の今日的課題】講師：岐阜大学教授 吉澤 寛之 氏
教職員のメンタルヘルス、不祥事防止のための校内体制
- ③【地域との連携・協働】講師：岐阜大学教授 益川 浩一 氏
地域と連携した学校づくり、コミュニティ・スクールの取組
- ④【カリキュラム・マネジメント論】講師：岐阜大学准教授 長倉 守 氏
学習指導要領の趣旨を踏まえたカリキュラム・マネジメントの在り方

確認

本講座の受講を通して、岐阜大学科目として単位認定を希望する方を対象に、【科目等履修制度】が適用されます(入学後、入学料・検定料免除の特別措置)。詳しくは、「岐阜大学教職大学院HP」で確認してください。
「岐阜大学教職大学院HP」 <http://www.ed.gifu-u.ac.jp/kyoshoku/>
 (留意!) R5からユニットA、B、Cの科目構成が変わりました。そのため、R4までにユニットAを受けられた方で、今年度ユニットB、Cを受講し、単位認定を希望される方は、7月27日(月)に実施するユニットAの「インクルーシブ教育」も受講願います。ユニットAは、必修講座になります。

おすすめ講座

他自治体との連携講座

全国教員研修プラットフォーム(Plant)を導入している他自治体主催の研修に参加できます。
多様な学びの機会を是非活用してください。

【NEW】

講座番号 320100
【福井県主催】

開催日：5月27日(水)
時 間：13:30～16:30
形 態：オンライン研修
定 員：40名

総合や探究をアップデート！

～社会調査における「問い」や「アンケート調査」～

滋賀大学 准教授 伊達 平和 氏

「総合的な学習の時間」及び「総合的な探究の時間」等において、問いを立てたり、アンケート調査を行ったりするために、社会学・社会調査分野におけるデータサイエンスの知識や技能を習得します。

【NEW】

講座番号 320200
【福井県主催】

開催日：11月20日(金)
時 間：13:30～16:30
形 態：オンライン研修
定 員：100名

プレゼンテーション力の向上

(株)固 代表取締役 前田 鎌利 氏

児童生徒のプレゼンテーションスキルを向上させる指導力を身につけるとともに、協働的な学校運営に活かすために、教師自身のプレゼンテーション力を向上させます。

確認

- ・ 福井県主催の研修は、福井県が企画・運営する研修に岐阜県の教職員が参加します。
- ・ 福井県主催のオンライン研修への参加は、Cisco WebexではなくZoomを使用しますので、御注意ください。入室方法等は受講者に別途案内します。
- ・ 連携研修として、岐阜県主催の重点講話に福井県の教職員が参加予定です。



福井県マスコットキャラクター
はぴりゅう



おすすめ講座

その他のおすすめ講座

教育委員会各課が主催する研修のうち、新規講座や喫緊の教育課題を扱う講座、有名講師から学ぶ講座等を紹介します。

講座番号 430101～
430103

【体育健康課主催】

開催日：01 6月1日(月)

02 6月3日(水)

03 6月5日(金)

時 間：14:00～16:30

形 態：集合研修(実技)

会 場：OKBぎふ清流アリーナ



【運動部活動指導技術向上講習会】



部活動の運営方法、効果的な指導法など、顧問の困り感を解消します！指導の引き出しが確実に増えます！

01 バドミントン(女子) 02 トレーニング 03 ソフトテニス

[NEW]

講座番号 430900

【体育健康課主催】

開催日・時間：

① 5月 14:30～16:30

② 9月 10:00～16:00

③ 10月～11月 13:30～16:00

④ 2月 14:00～16:30

形 態：集合・オンライン研修

【「運動好き・体育好きを育てる」授業づくり講座】

(小・中・義 体育・保健体育)

～指導主事が指導案づくりからサポートします！～

学校の研究会・各市町村教育研究会授業公開等を控えている先生方を対象に、指導計画の立案や指導案の作成などの悩みを解消します。

講座番号 440101～
440104

【学校安全課主催】

開催日：7月21日(火)

時 間：14:00～16:00

形 態：集合研修

会 場：県庁1階

ミナモホール

【岐阜県小・中・義・高・特生徒指導研修会】

「いじめ(トラブル)の未然防止と対応」

～発達支持的生徒指導といじめを生まない学校づくり～

国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研修センター

フェロー 滝 充 氏

生徒指導上の喫緊の課題について、現状と対策を研修する。特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象とした、自発的・主体的な発達を「支える」生徒指導(発達支持的生徒指導)により、児童生徒間の摩擦やトラブルを未然に防止します。

管理職だけでなく、教諭、養護教諭など様々な立場の方が喫緊の生徒指導課題について学ぶことで、多様な生徒指導事案に対し、「チーム学校」として組織で対応していく力を高めます。

講座番号 (☆：新しい講座)	講座名～サブタイトル (◆：履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索		
						幼 認	小 義	中 義	高	特 義	形 成	充 実	貢 献	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 享	特 別 支 援	I C T 等	保 健 管 理	健 康 指 導	給 食 管 理	食 育 指 導	集 合	同 窓	オ ネ			
基本研修 経年研修																												
1001 00	A	幼稚園等新規採用教員研修 (幼・認)	教育公務員特例法の規定に基づき、幼稚園等の教育水準の維持向上を図るため、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日（金）までに行ってください。	新規採用教諭・保育教諭 (幼・認)	【教育研修課主催】 ①5/20(水) ②6/15(月) ③7/15(水) ④11/26(木)又は11/27(金) ⑤2/3(水) 【各教育事務所主催】 ③⑤の教育事務所の開催要項を参照	①②④⑧総合教育センター等 ③MM OKBさふ清流アリーナ ⑥岐阜県博物館 ③⑤の教育事務所主催の場所	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1002 00	A	初任者研修(小・義)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日（金）までに行ってください。	初任者(小・義)	①4/28(火) ②6/9(火)又は6/16(火) ③7/14(火) ④7/27(月)～7/30(木)のうち1日 ⑤2/16(火) 【開催要項を参照】	①勤務校 ②総合教育センター ③勤務校 ④総合教育センター ⑤各地区の指定の場所	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1003 00	A	初任者研修(中・義)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日（金）までに行ってください。	初任者(中・義)	①4/28(火) ②6/9(火)又は6/16(火) ③7/14(火) ④7/27(月)～7/30(木)のうち1日 ⑤2/16(火) 【開催要項を参照】	①勤務校 ②総合教育センター ③勤務校 ④総合教育センター ⑤各地区の指定の場所	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1004 00	A	初任者研修(高)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月8日（水）までに行ってください。	初任者(高)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1005 00	A	初任者研修(特)	教職の基礎形成を図るため、教育公務員特例法第23条の規定に基づき、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月8日（水）までに行ってください。	初任者(特)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1006 00	A	新規採用養護教諭研修(小・中・義)	教職の基礎形成を図るため、実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日（金）までに行ってください。	新規採用養護教諭(小・中・義)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1007 00	A	新規採用養護教諭研修(高・特)	教職の基礎形成を図るため、実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月8日（水）までに行ってください。	新規採用養護教諭(高・特)	【開催要項を参照】	【開催要項を参照】	—	—	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1008 00	A	新規採用栄養教諭研修(小・中・義・特)	教職の基礎形成を図るため、専門職としての知識及び技能を習得するとともに、児童生徒の食生活に関する現状と課題を捉える。そして、栄養教諭としての職務を適切に遂行できる実践的指導力と教育公務員としての使命感を養うとともに、幅広い知見を習得する。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日（金）までに行ってください。	新規採用栄養教諭(小・中・義・特)	①4/28(火) ②6/16(火) ③6月～7月頃 ④10月～11月頃 ⑤9月～10月頃 ⑥2/16(火)	①総合教育センター ②総合教育センター ③未定 ④未定 ⑤未定 ⑥総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修

講座番号 (☆：新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆：履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ						本研修において重点を置いている 指標項目								開催方法		検 索
							幼 認	小 義	中 義	高	特	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	I保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	オンライン				
1020 00	A	中堅教諭等資質向上研修(小・ 義) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、教育公務員特別 法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、 幅広い知見を習得するとともに、学校運営の中核的な役割を果たすこ とが期待される中堅教諭としての指導力や教育公務員としての自覚を 高める。	12年目教諭 (小・義)	①6/4(木) ②教育事務所ごとに指定	①②各地区の指定の場 所	—	◆	—	—	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1021 00	A	中堅教諭等資質向上研修(中・ 義) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、教育公務員特別 法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、 幅広い知見を習得するとともに、学校運営の中核的な役割を果たすこ とが期待される中堅教諭としての指導力や教育公務員としての自覚を 高める。	12年目教諭 (中・義)	①6/4(木) ②教育事務所ごとに指定	①②各地区の指定の場 所	—	—	◆	—	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1022 00	A	中堅教諭等資質向上研修(高) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、教育公務員特別 法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、 幅広い知見を習得するとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施に おいて中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学習 指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	12年目教諭 (高)	①6/26(金) ②11/30(月)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	—	◆	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1023 00	A	中堅教諭等資質向上研修(特) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、教育公務員特別 法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、 幅広い知見を習得するとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施に おいて中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、学習 指導の力、生徒指導の力及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	12年目教諭 (特)	①6/26(金) ②11/30(月)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	—	◆	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1024 00	A	中堅教諭等資質向上研修(養護 教諭) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、教育公務員特別 法第24条の規定に基づき、個々の能力、適性に応じた研修を通して、 幅広い知見を習得するとともに、学校運営の円滑かつ効果的な実施に おいて中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭として、専門 的知識、指導力の向上及び経営・分掌を推進する力の向上を図る。	養護教諭(12 年目)	①6/4(木) ②7/24(金) ③12/3(木)	①総合教育センター ②総合教育センター ③総合教育センター	—	◆	◆	◆	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1025 00	A	中堅教諭等資質向上研修(栄養 教諭) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力の向上を図るため、食の今日的な課 題を踏まえ、中堅の栄養教諭としての自覚を高めるとともに、専門的 な知識の習得、指導力の向上を図る。	栄養教諭(12 年目)	①6/4(木) ②7/24(金) ③12/3(木)	①総合教育センター ②総合教育センター ③総合教育センター	—	◆	◆	◆	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1026 00	A	中堅教諭等資質向上研修(実習 助手)(高) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力向上のため、今日的課題を踏まえ、 中堅の実習助手として自覚を高めるとともに、専門的な知識、指導力 の向上を図る。	12年目の実習 助手又は実習 教諭	①6/26(金) ②12/11(金)PM 教科ごとに実施	①勤務校 ②高等学校又は総合教 育センター	—	—	—	◆	—	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1027 00	A	中堅教諭等資質向上研修(実習 助手)(特) 【12年目対象】	活力ある学校運営のための実践力向上のため、今日的課題を踏まえ、 中堅の実習助手として自覚を高めるとともに、専門的な知識、指導力 の向上を図る。	12年目の実習 助手又は実習 教諭	①6/26(金) ②未定	①勤務校 ②特別支援学校(未定)	—	—	—	◆	◆	—	—	○	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1028 00	A	新規常勤講師研修(小・中・義)	小学校・中学校・義務教育学校の新規常勤講師に対し、初任者校内研 修に準じた研修を実施し、教職員として必要な資質・能力を身に付 け、実践できるようにする。	新規採用常勤 講師 (実施要項を 参照)	実施要項を参照	実施要項を参照	—	◆	◆	—	—	—	—	—	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1029 00	A	新規常勤講師研修(高)	教職の基礎を固めるため、生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基 本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を高 めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての 自覚を高める。	これまでに教 職の経験がな い新規採用常 勤講師(高)又 は受講を希望 する者	①4/23(木) ②6/5(金)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	—	◆	◆	—	—	—	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1030 01	A	新規常勤講師研修(特)	教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や学習指導等に関する基礎 的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導 力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員と しての自覚を高める。	これまでに教 職の経験がな い新規採用常 勤講師(特) 又は受講を希 望する者	①4/23(木) ②6/5(金)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	—	◆	◆	—	—	—	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1030 02	A			103001のうち の希望者	9月下旬	特別支援学校(未定)	—	—	—	◆	◆	—	—	—	♥	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目								開催方法		検 索		
							幼 認	小 義	中 義	高	特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	I C等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導		集合	同双
1031 00	A	新規養護助教諭研修(小・中・ 高)	教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や、保健室経営等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	これまでに教職経験のない新採用養護助教諭(小・中・高)又は受講を希望する者	10/8(木)PM	勤務校	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1032 00	A	新規養護助教諭研修(高・特)	教職の基礎を固めるため、児童生徒理解や、保健室経営等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得することで実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	これまでに教職経験のない新採用養護助教諭(高・特)又は受講を希望する者	①4/23(木) ②10/8(木)PM	①総合教育センター ②勤務校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1033 00	A	市町村立小中学校等事務職員1 年目研修	1年目の市町村立小中学校等事務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と勤務の能率化・円滑化を図る。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日(金)までに行ってください。	1年目小中学校等事務職員	①4/15(水) ②7/30(木) ③11/6(金)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1034 00	A	市町村立小中学校等事務職員3 年目研修	3年目の市町村立小中学校等事務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と勤務の能率化・円滑化を図る。	3年目小中学校等事務職員	8/3(月)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1035 00	A	市町村立小中学校等事務職員5 年目研修	5年目の市町村立小中学校等事務職員として、職務に必要な知識及び技能を習得するとともに、事務職員としての使命感の高揚と勤務の能率化・円滑化を図る。	5年目小中学校等事務職員	8/19(水)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1036 00	A	県立学校はじめの学校図書館 担当者研修(高・特)	県立学校図書館運営に関わる基本的な内容についての講義・実習を通して、学校司書としての使命感を高め、資質の向上を図る。	新任県立学校司書(高・特)	①4/24(金) ②10月PM	①総合教育センター ②高等学校(未定)	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1037 01	A	臨時の任用実習助手研修(高)	教職の基礎を固めるため、実習助手としての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、授業準備や教諭と連携した指導方法等について学ぶことで実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	本講座の受講経験のない実習助手	①4/23(木) ②6/5(金)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1037 02	A			103701のうち希望者	③10/27(火) ④12/15(火)教科ごとに実施	③高等学校(教科別) ④高等学校又は総合教育センター(教科別)	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1038 01	A	臨時の任用実習助手研修(特)	教職の基礎を固めるため、特別支援教育についての基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基礎とした実践的指導力を高めるとともに、教育公務員としての使命感や学校組織の一員としての自覚を高める。	本講座の受講経験のない臨時の任用実習助手	①4/23(木) ②6/5(金)	①勤務校 ②総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1038 02	A			103801のうち希望者	9月下旬	特別支援学校(未定)	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1039 01	A	特別支援学校採用教員研修	特別支援学校の教諭として必要な児童生徒理解や学習指導等に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基礎とした実践的指導力を高める。 【研修講座112001_112002と同日程で実施】	初任者研修免除者(受講済みのみ)	①5/12(火) ②6/23(火) ③9/1(火)	①②③総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1039 02	A			103901のうち希望者	9月下旬	特別支援学校(未定)	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種							キャリアステージ	本研修において重点を置いている 指標項目	開催方法			検 索			
							幼 認	小 義	中 義	高	特	形 成	向 上			充 実	高 級	学 習 指 導		生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援
基本研修																						
職務研修																						
1101 00	A	新任校長研修(小・中・職)	新任校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めるとともに、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質・能力を育むために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日(金)までに行ってください。	新任校長 (小・中・職)	①4/22(水)PM ②5/15(金)PM ③6/17(水)高特合同 ④10/27(火)高特SLA合同	①②各教育事務所 ③総合教育センター ④勤務校 ※各開催要項を参照	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1102 00	A	校長研修(小・中・職)	校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めるとともに、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質・能力を育むために、講義を通して学ぶ。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日(金)までに行ってください。	校長(小・中・職)	4/22(水)PM	勤務校	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1103 00	A	新任校長研修(高・特)	新任校長として、本県における教育行政上の基本的事項や校長の役割について理解を深めるとともに、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質や能力を育むために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ※【要確認】申込→学校で承認まで4月8日(水)に行ってください。	新任校長 (高・特)	①4/15(水) ②5/28(木) ③6/17(水) ④10/27(火)PM	①②③総合教育センター ④勤務校 ※各開催要項を参照	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1104 00	A	新任副校長研修(高・特)	新任副校長として、本県における教育行政上の基本的事項や副校長の役割について理解を深めるとともに、校長を補助し、組織を動かしたり危機に的確に対応したりするマネジメント能力の伸長を図り、学校経営に必要な資質や能力を育むために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。	新任副校長 (高・特)	5/13(水)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修
1105 00	A	新任教頭研修(小・中・職)	新任教頭として、本県における教育行政上の基本的事項や教頭の役割について理解を深めるとともに、校務を補佐し、校務を整理し、保護者や地域から信頼される学校経営の推進に必要な資質・能力の向上を図るために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日(金)までに行ってください。	新任教頭 (小・中・職)	①4/17(金)PM ②5/7(木)PM ③6/3(水)PM ④6/22(月)PM高特合同 ⑤教育事務所毎に設定 ⑥指定研修から1日分を選択	①②⑤各教育事務所 ③④勤務校 ※各開催要項を参照	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1106 00	A	新任教頭研修(高・特)	新任教頭として、本県における教育行政上の基本的事項や教頭の役割について理解を深めるとともに、校務を補佐し、校務を整理し、保護者や地域から信頼される学校経営の推進に必要な資質・能力の向上を図るために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ※【要確認】申込→学校で承認まで4月8日(水)に行ってください。	新任教頭 (高・特)	①4/9(木) ②5/8(金) ③6/22(月) ④10/2(金) ⑤指定研修から1講座選択	①②③④総合教育センター ⑤各開催要項を参照	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1107 00	A	新任部主事研修(特)	新任部主事として、本県における教育行政上の基本的事項や部主事の役割について理解を深めるとともに、学部組織を協働的に経営するための資質や能力の向上を図る。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月8日(水)までに行ってください。	新任部主事	①4/17(金) ②5/22(金)	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	
1108 00	A	新任主幹教諭研修(小・中・職)	新任主幹教諭として、主幹教諭の役割について理解を深めるとともに、生徒指導、へき地教育に関わる学校の課題に対して、校種や地域をまたいで組織的、機動的に問題解決するなど、必要な資質・能力の育成を図るために、講義や演習、実践交流を通して共に考える。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日(金)までに行ってください。	新任主幹教諭 (小・中・職)	①4/30(木)PM ②7/27(月) ※スクーリング ③9/28(月)SLAと同日	①総合教育センター ②③勤務校 ※各開催要項を参照	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
							幼 認	小 義	中 義	高	特	形成上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	I保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1109 00	A	新任指導教諭研修(小・中・義)	新任指導教諭として、指導教諭の役割について理解を深めるとともに、特別支援教育、多文化共生に関わる基本的な事項についての幅広い知見を身に付けるなど、必要な資質・能力の向上を図るために、講義や演習、実習交流を通して共に考える。 ※【要確認】「申込→学校で承認」を4月10日(金)までに行ってください。	新任指導教諭 (小・中・義)	①4/20(月) ②多文化共生・特別支援教育の 指定研修から1講座選択	①総合教育センター ②各開催要項を参照	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	♥	♥	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	700 基本研修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
							幼 認	小 義	中 義	高 特	形成上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	I C 等	保健管理	健康指導	給食指導	食の指導	集合	同双		オ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1116 01	A	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座) 県立学校情報管理担当者研修 (高・特)	校務用/パソコンや校内ネットワークの管理、コンピュータウィルス対策のための知識及び技術などについて理解する。	情報管理 担当者 (高・特)	6/25(木)PM	総合教育センター																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	</

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種			キャリアステージ			本研修において重点を置いている 指標項目							開催方法		検 索
1123 00	A	市町村立小中学校等事務職員主任研修	市町村立小中学校等事務職員の主任として、主体的に学校運営に参画するために必要な知識及び技能を習得するとともに、事務主任としての使命感の高揚を図る。	新任主任・小中学校等事務職員	7/24(金)	総合教育センター	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
1124 00	A	市町村立小中学校等事務職員主任研修	市町村立小中学校等事務職員の主任として、組織的に学校運営に参画するために必要な知識及び技能を習得するとともに、事務主任としての使命感の高揚を図る。	新任主任・小中学校等事務職員	7/22(水)	総合教育センター	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
1125 00	A	市町村立小中学校等事務職員課長補佐研修	市町村立小中学校等事務職員の課長補佐として、学校運営を適切に補佐するために必要な知識及び技能を習得するとともに、課長補佐としての使命感の高揚を図る。	新任課長補佐・小中学校等事務職員	7/28(火)	総合教育センター	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
1126 00	A	学校司書エリアマネージャー研修(高)	県立学校図書館支援に必要な知識やスキル、学校図書館を取り巻く最新の動向について再確認するとともに、エリアマネージャーとしての使命や心構えを学ぶ。	学校司書(高・保長)	5/13(水) (AM:新任係長、希望者) (PM:悉皆)	総合教育センター	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
1127 01	A	事例を通して学ぶいじめ事業対応研修(小・中・義)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、平素から向に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事実の情報を受けたとき、何に留意する必要があるのか等、弁護士を講師に迎え、法に基づいた対応について、具体的な事例を通して学ぶ。	小・中・義全ての校長	5/20(水)PM	勤務校(各校1回線)	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
1127 02	A	事例を通して学ぶいじめ事業対応研修(小・中・義)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、平素から向に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事実の情報を受けたとき、何に留意する必要があるのか等、弁護士を講師に迎え、法に基づいた対応について、具体的な事例を通して学ぶ。	小・中・義全ての校長	5/20(水)PM	勤務校(各校1回線)	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
1128 00	A	事例を通して学ぶいじめ事業対応研修(高・特)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、管理職又は生徒指導主事として平素から向に気を付けておくべきなのか、またいじめと疑われる事実の情報を受けたとき、「学校いじめ対策組織」として、どのような対応すべきなのかについて研修する。また、弁護士から法に基づいた対応方法や事例について、グループ演習形式で学ぶ。	高・特全ての管理職、生徒指導主事、学校いじめ対策組織の主要メンバーも参加可	6/4(木)PM	勤務校	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
1129 00	A	事例を通して学ぶいじめ事業対応研修(高・特)	いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けて、教職員として平素から向に気を付けておくべきなのか、また、いじめと疑われる事実を発見したとき、どのように初期対応すべきなのかを、事例研究を通してグループ演習形式で学ぶ。	高・特全ての管理職、生徒指導主事、教員、学年主任、養護教諭、生徒指導担当、担任、副担任等	5/21(木)PM	勤務校	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
☆1130 00	A	県立特別支援学校栄養教諭研修会	特別支援学校における食育の推進に向け、具体的な実践内容や指導方法を交流することを通して、栄養教諭としての職務を遂行できる実践的指導力の向上を図る。	県立特別支援学校の栄養教諭(学校栄養職員)	①7月下旬から8月上旬頃 ②10/21(水)PM ③1/21(木)	①増妻特別支援学校 ②総合教育センター ③県学校給食会	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	700 基本研修
選択研修 重点講話																						
☆2001 00	A	重点講話① 非認知能力の育成から非認知能力をどう捉え、生かすか	「非認知能力とはどのようなものなのか?」、「非認知能力はなぜ重要なのか?」、「どのようにすれば非認知能力を伸ばすことができるのか?」などの観点から講演を聞き、これからの子供たちに必要な力として関心が集まっている非認知能力育成のための具体的な手立てについて学ぶ。	勤務校	7/1(水)PM	勤務校	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	600 重点講話
2002 01	A	重点講話② DX・情報社会で生成AIを活用した授業づくり	中央教育審議会「デジタル学習基盤特別委員会」委員長代理などを歴任された講師から、「生成AIを向のために使うのか?」、「生成AIを具体的な授業の中でどのように使うのか?」などの視点で生成AIを活用した授業づくりと生成AIを活用した授業改革のヒントについて学ぶ。	01:集合研修 02:オンライン研修	7/8(水)PM	総合教育センター	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	600 重点講話
2002 02	A				7/8(水)PM	勤務校	小・中・高	小・中・高	小・中・高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	特別支援	ICT活用	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同席	600 重点講話

講座番号 (☆:新しい講座)	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種		キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目												開催方法		検 索		
						幼 小 義 塾	中 義 塾	高 特	形 成	向 上	充 実	責 任	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C T 等	保 健 管 理	健 康 指 導	給 食 管 理	食 の 指 導	集 合	同 双 オ テ			
2003 01	B	重点講話③ 総合的な学習（探 究）の時間	01:集合研修	9/7(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	—	—	—	—	—	—	—	—	600 重点講話	
2003 02	B			02:オンライン研修	9/7(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	—	—	—	—	—	—	—	600 重点講話
2004 01	B	重点講話④ 特別支援教育 インクルーシブ教育と授業づく り	01:集合研修	11/5(木)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	—	—	—	—	—	—	—	600 重点講話	
2004 02	B			02:オンライン研修	11/5(木)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	—	—	—	—	—	—	600 重点講話
2005 01	B	重点講話⑤ 人権教育	01:集合研修	12/4(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	—	—	—	—	—	—	600 重点講話	
2005 02	B			02:オンライン研修	12/4(金)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	—	—	—	—	—	600 重点講話
選択研修 スクールリーダーアラカルト研修																										
2011 00	A	スクールリーダーアラカルト研 修【リスクマネジメント】 学校外への説明責任	学校におけるリスクマネジメントについて理解を深めるため、具体的 な事例に基づいて、学校側の対応や保護者説明会の演習を行い、 学校外への説明責任を果たすとはどういうことを学ぶ。 ※【要確認】申込→学校で承認まで4月10日（金）までに行ってい ください。	校長（園長）、 副校長（副園 長）	4/15(水)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300 管理職等	
2012 01	A	スクールリーダーアラカルト研 修【業務改善】 教員のウェルビーイングを高 める「働きやすさ・働きがい」改 善	01:校長（園長）、副校長（副園 長）、教頭（新任教頭を除く）、部 主事の希望者 02:新任教頭研修選択研修希望者 03:所属長が受講を認めた教職員 （管理職以外）	左記のとおり	6/10(水)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300 管理職等	
2012 02	A			左記のとおり	6/10(水)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300 管理職等
2012 03	A			左記のとおり	6/10(水)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300 管理職等
2013 01	B	スクールリーダーアラカルト研 修【生徒指導】 『生徒指導要領（改訂版）』が示 す生徒指導の方向性	01:校長（園長）、副校長（副園 長）、教頭（新任教頭を除く）、部 主事の希望者 02:新任教頭研修選択研修希望者 03:所属長が受講を認めた教職員 （管理職以外）	左記のとおり	9/28(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300 管理職等	
2013 02	B			左記のとおり	9/28(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300 管理職等
2013 03	B			左記のとおり	9/28(月)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300 管理職等

講座番号 (☆:新しい講座)	講座番号 (☆:新しい講座)	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目							開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							幼 小 認 義	小 中 義	高 特	形成	向上	貢献	学 習 指 導	生徒 指 導	経営 分 掌	特別 支 援	ICT 等	保健 管理	健康 指 導	給食 管理	食の 指 導	集 合	同 双 オ ナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2014 01	B		個々の職員の資質や能力、適性を生かして、自己の能力を最大限発揮できる体制づくりのため、組織編成や人員配置、次代を担う教職員の育成の方策について、講義や演習を通じて学ぶ。	01:校長(園長)、副校長(副園長)、教頭(新任教頭を除く)、部主事の希望者	11/20(金)PM	勤務校	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種		キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索
2104 00	B	講座小連携講座 ～「幼児期の終わりまでに育つ てほしい姿」を通してつなが う～	幼児期の学びと小学校教育を円滑に接続し、学びの連続性が図られ る、施設間又は学校段階間の連携の在り方や、「接続期カリキュラ ム」の編成・改善について、講話や実践交流、演習を通して研修し、 両者の教育と幼児小連携への理解の伸長を図る。		10/30(金)	総合教育センター	幼 小 義 小 中 義 高	特 高	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同 双 オ テ	—	200 幼児教育
2105 01	A	他校種の教育活動から学ぶ ～校種の異なる学校の教育活動 の参観を通して、発達段階に応 じた指導を学ぶ～	学習指導や生徒指導、キャリア教 育、特別支援教育等についての知 見を得るため、他校種の教育活動 の参観を通して、児童生徒の成長 の背景、発達段階に応じた指導を 学ぶ。 ※小・中・義務教育学校の中堅教 育者等が、研修の機会を訪問して行 う研修とすることが可能です。 ※小・中・義務教育学校の6年目研 修の選択研修とすることが可能で す。 ※小・中・義務教育学校の基礎形 成研修の校外研修には代替できま せん。	小・中・義務 教育学校の中 堅教諭等が 向上研修対 象者、小・中・義務 教育学校の7 ～11年目対 象者、小・中・義務 教育学校の6 年目研修対 象者、小・中・義務 教育学校の希 望者	日程調整中 ※4月下旬までに実施校のホー ムページに掲載	県立高等学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2105 02	A				日程調整中 ※4月下旬までに実施校のホー ムページに掲載	県立特別支援学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2106 00	A	食育・環境教育実践講座 ～土にふれよう、楽しく育てよ う！～	園や学校で実施する食育活動や環境教育について、その指導力を高め るために、栽培や環境学習に関する基礎を学ぶとともに、演習、交流 を通して実践力を身に付ける。		6/12(金)	総合教育センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	205 食育・環境教 育
2107 00	A	小学校授業セレクト講座(小・義) ～教科の本質や指導のポイント を学び、楽しい授業づくりを目 指そう～	教科の習得・能力を育成するために、講義や演習を通して、教科の本 質や指導のポイント、子供が主体となる授業改善の基礎を学ぶ。 講義Ⅰ 音楽・図工・家庭から「教科選択」 講義Ⅱ 国語・算数・外国語から「教科選択」 講義Ⅲ 社会・理科・体育から「教科選択」 ※申込みの段階で、講義Ⅰ～Ⅲの第1～3希望の教科を記入する。	初めて小学校 教員及び小学 校の授業力向 上を目指す教 員	6/8(月)	総合教育センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 01	A			01:国語	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 02	A			02:社会	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 03	A			03:算数、数学	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 04	A			04:理科	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 05	A			05:音楽	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 06	A	◆各教科の実践に関わるオンラ イン相談会 ～あなたの困り感到きに寄り添いま す。～	各教科の実践に関わる様々な疑問 (例:単元(題材)づくり、単位時 間づくり、教科の指導法などの先 生方の悩み・質問)に対して、指 導主事や仲間と共に考える相談会 を行う。 ※年度途中からの参加も可能。 【相談会という趣意であるため、 研修として履歴には残りませ ん。】		相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 07	A			07:技術	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 08	A			08:家庭	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 09	A			09:体育、保健体育	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 10	A			10:外国語活動、外国語	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般
2108 11	A			11:その他	相談の上決定	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)		対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ						本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法			検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
								幼 認	小 義	中 義	高	特 定	形 成	向 上	充 実	貢 献	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C 等	保 健 管 理	健 康 指 導	給 食 管 理	食 の 指 導	集 合	同 双	オ ナ ホ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2109 01	A		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して資質・能力を育成する授業を構築するための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流、授業研究会を通して共に考える。	01:基礎編 言葉による見方・考え方を働かせ、深い学びを表現する国語科の授業づくりや指導の工夫について学ぶ。		5/22(金)PM	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種							キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目							開催方法			検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
							幼 小 義 塾	中 義 塾	高 校	特 定	形 成	充 実	向 上	貢 献	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C 等	保 健 指 導	健 康 指 導	給 食 指 導	食 の 指 導	集 合	同 双		オ ナ リ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2113 01	A		01:観察・実験編 観察・実験の安全指導や教材検討 に関する基礎・基本、予備実験の 在り方について、演習や実践交 流、外部講師の講義を通して学 ぶ。		6/19(金)	総合教育センター	—	◆	—	—	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種			キャリアステージ			本研修において重点を置いている 指標項目							開催方法		検 索
2117 00	B	ステージアップ講座 (小・義務家庭) ～授業づくりの悩みを解決、実 践例を増やそう～	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業 づくりのための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流を通 じて共に考える。		9/24(木)	総合教育センター	幼 小 中 高	特 高	形成	向上	充実	学習指導	学習指導	特別支援	I C 等	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同 双 オテ	—	108 家庭・福祉
2118 00	A	ステージアップ講座 (小・義務生活) ～質の高い深い学びの実現を目 指す授業づくりに向けて～	子供たちが教材にのめり込んで学ぶ授業、質の高い深い学びの実現を目 指し、単元指導計画や授業デザイン、あての設計や振り返りの方法 の工夫、質問や交流の場の設定の工夫等について、講義や演習、授業 参観等を通して、共に考え、学ぶ。 (①外部講師の講義、単元指導計画、授業デザインの作成、授業者の 決定等、②指導案検討、③授業参観、授業研究会)		①5/27(水) ②9/15(火)PM ③授業者決定後に日程調整	①総合教育センター ②勤務校 ③授業提供校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	105 生活
2119 01	A	ステージアップ講座兼英語指導 力向上講座(小・義務) ～今の授業を見直し、さらに楽 しくしよう！明日からできるこ とを！～	01: (授業参観) 実践者の授業参 観を通して、よりよい指導の在り 方について学ぶ。進捗の観点か ら、中学校や高等学校の教員も参 加可能。外部講師を招聘。 02: (講義・演習) 小学校外国語 活動及び外国語科の授業における 言語活動の充実、個別最適な学 び、協働的な学びの一体的充実、 教科書の扱いや等について、講師 の先生の講義や演習を通して学 ぶ。また、他校の教員との交流を 増やして、言語活動のアイデアを 等々解決したりする。		日程調整中	岐阜市立長良小学校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・ 外国語
2119 02	B				9/28(月)PM	総合教育センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・ 外国語
2120 01	A	小学校英語専科教員・英語科担 当教員講座 ～専科・英語科教員としての指 導力を向上させ、「中学校の英 語学習に繋がる6年生出口で目 指したい『英語の力』」を育成 しよう～	01: (講義・演習) 「やり取り」 を充実させながら、繰り返しイン プットすることの重要性や、英語 という「ことば」がもつ音やリス ムを楽しみながら、児童が自然に 英語に慣れ親しみ、運用できるこ とを目指し指導方法を学ぶ。外部 講師を招聘。※02と同じ研修内 容。 02: (講義・演習) 「やり取り」 を充実させながら、繰り返しイン プットすることの重要性や、英語 という「ことば」がもつ音やリス ムを楽しみながら、児童が自然に 英語に慣れ親しみ、運用できるこ とを目指し指導方法を学ぶ。外部 講師を招聘。※01と同じ研修内 容。		8/24(月)PM	総合教育センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・ 外国語
2120 02	B				9/3(木)PM	総合教育センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・ 外国語
2121 00	A	e-Learning 小学校外国語講座 ～オンライン研修で指導力・英 語力を向上させよう～	小学校における英語指導力を向上させるために、授業で言語活動を行 う際に必要な英語力を含めた実践的な指導方法について、文部科学省 主催のオンライン研修を通して身に付ける。希望すればオンライン英 会話も有。 ※詳細はPlantの研修概要を確認してください。	外国語活動又 は外国語科の 授業を担当し ている教員	文科省が定めた期間	各自の学習環境	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・ 外国語
2122 00	A	ステージアップ講座兼英語指導 力向上講座 初めでの小学校英語(初級) ～まずは楽しい授業を目指して	小学校に赴任し、初めて英語を教えることになった教員等を対象に、 現在の困り感や解消するために、基本的な授業の流れ、教材と教科書 の扱い方、具体的な言語活動等について、講義・演習を通して学ぶ。 将来教える可能性のある教員や英語の免許を所有していない教員の受 講も可能。	小学校英語の 指導経験が浅 い教員	5/8(金)PM	総合教育センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・ 外国語

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法			検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
							幼 認	小 義	中 義	高	特 特	形 成	向 上	充 実	貢 献	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C 等 等	保 健 管 理	健 康 指 導	給 食 管 理	食 の 指 導	集 合	同 双 テ	オ ナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2129 01	A		01:基礎編 数学的な見方・考え方を働かせた 授業の在り方等、数学科の授業つ くりについて学ぶ研修		6/19(金)PM	総合教育センター	—	◆	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目								開催方法		検 索
							幼 小 義 塾	中 義 塾	特 高 義 塾	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C 等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同 双	オ ン	
2131 01	B		音楽科の資質・能力を育成するため、生徒が音楽的な見方・考え方を働かせる学習活動の具体やよりよい題材構想の在り方について、講義や演習、実践交流等を通して共に考え、実践力を高める。 ステージアアップ講座 (中・義 音楽) ～生徒の学びがつながり、広がり深まる授業の在り方について、仲間と共に考え、学び合う～	01:表現領域【主に歌唱分野】における指導基礎 (講義や演習、実践交流)	10/7(水)PM	総合教育センター	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	106 音楽
2131 02	B			02:表現領域【主に創作分野】におけるICT活用 (講義や演習、実践交流)	10/15(木)PM	総合教育センター	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	♥	—	—	—	—	▲	—	—	106 音楽
2131 03	B			03:鑑賞領域における指導基礎 (講義や演習、実践交流)	10/21(水)PM	総合教育センター	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	106 音楽
2131 04	A			04:実践力向上マンツーマン研修 指導主事が勤務校を訪問して、授業力向上に向けて仲定する。発問の在り方、指導内容の提示等、「校内1人教科」ならではの自身では気付けないポイントを明確に示しながら進めていく。(希望多数の場合は抽選にて決定)	相談の上決定	①勤務校(希望多数の場合は、抽選にて決定)	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	106 音楽
2132 01	B		美術科に関わる資質・能力の育成を目指すための協働的な学習指導要領の趣旨を深く理解し、個別最適な学びと協働的な学びの実現、ICTの利活用の視点を講義や演習、実践交流等を通して共に考え、実践力を高める。 ステージアアップ講座 (中・義 美術) ～生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指して～	01:教科指導の理論に関する基礎・基本を、講義や演習、体験を通して学ぶ研修(例:アニメーション)	10/15(木)	総合教育センター	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	107 図画工作・美術
2132 02	A			02:オンラインによる授業実践交流(1日目に生間を通して実践を進める上での課題員づけをします。2日目は実践発表を全員が行います。) ※小・中連携につき211502と同時開催	①6/25(木)PM ②12/3(木)PM	①勤務校(希望者は総合教育センター) ②勤務校(希望者は総合教育センター)	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	107 図画工作・美術
2132 03	A			03:実践力向上マンツーマン研修 指導主事が勤務校を訪問して、授業実践力を高めていく。生徒への発問や声掛け、提示資料、題材間の指導内容のつながり等、自身では気付けないポイントを明らかにしながら進めていく。(希望多数の場合は抽選にて決定)	相談の上決定	勤務校	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	107 図画工作・美術
2133 00	B	ステージアアップ講座 (中・義 保健体育)～豊かなスポーツライフの実現に向けて～	学習指導要領を理解するとともに、体質の見方・考え方を働かせながら「主体的・対話的で深い学び」を実現するための手法や指導と評価等について、講義・演習・交流等によって学ぶ。		9/28(月)	AM:総合教育センター PM:OKぎふ清流アリーナ	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	▲	—	—	110 体育・保健体育

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目								開催方法			検 索		
							幼 認	小 義	中 義	高	特 特	形成	向上	充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	I C 等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合		同双	オテ
2134 01	B		01:統合的な問題の解決(3年間の指導計画) 技術分野の最終ミツヨ「統合的な問題の解決」へとつながる指導計画立案の考え方について、第1学年から第3学年まで順を追って、各校の計画をもとに演習を通して学ぶ。	小・中・義 但し、R8年度の技術分野の担当者に限る。	9/11(金)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	109 技術
2134 02	B		02:エネルギー変換の題材開発の進め方(教材開発①) エネルギー変換の技術の学習における問題解決の難易度「改良」に照らして、回路の改良などについてどのように考え、指導を進めていくとよいのかについて、演習を中心に学ぶ。	小・中・義 但し、R8年度の技術分野の担当者に限る。	9/16(水)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	109 技術
2134 03	B	ステージアップ講座 (中・義 技術) ～技術の発達を主体的に支える力、技術革新を牽引する力を育もう～	技術の発達を主体的に支える力、技術革新を牽引する力を育むために、「指導計画」、「教材開発」、「授業づくり」について、日頃の授業実践における課題と照らし合わせ、各種演習を通して、実践力の向上を図る。	小・中・義 但し、R8年度の技術分野の担当者に限る。	10/22(木)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	109 技術
2134 04	B		04:思考力・判断力・表現力を高める授業(授業づくり) 「設計・計画」の学習過程の重要性、各内容の終末に当たる「社会の発展と技術」の授業の在り方を学ぶとともに、単位時間内の授業づくりの在り方を演習を通して学ぶ。	小・中・義 但し、R8年度の技術分野の担当者に限る。	12/2(水)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	109 技術
2134 05	A		05:実践力向上マンツーマン研修 指導主事が勤務校を訪問して、授業実践力を高めていく。子供への発問・提示する教材、前後の指導内容等、「校内1人教科」ならではの自身では気づけないポイントを明確に示しながら進めていく。	小・中・義 但し、R8年度の技術分野の担当者に限る。	相談の上決定	勤務校	—	—	◆	—	—	—	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	109 技術
2135 00	B	ステージアップ講座(中・義 家庭) ～生活を工夫し創造する資質・能力を育てる、楽しい家庭科授業～	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、資質・能力を育成する授業づくりのための指導のポイントについて、講義や演習、実践交流を通して共に考える。		11/5(木)	総合教育センター	—	◆	◆	—	◆	—	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福祉
2136 01	A		01: (授業参観) 授業参観を通して、よりよい指導の在り方を学ぶ。連携の観点から、小学校教員や高校教員も受講可能。外部講師を招聘。		日程調整中	飛騨市立古川中学校	—	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2136 02	A	ステージアップ講座兼英語指導力向上講座(中・義) ～今の英語の授業を見直し、さらに楽しくしよう！明日からできることを！～	中学校における英語の授業改善のために、効果的な言語活動の考え方、教科書の扱い方等について、授業参観や講義・演習を通して学ぶ。		日程調整中	恵那市立恵那西中学校	—	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2136 03	B		03: (講義・演習) 教科書を活用した言語活動の具体を学ぶ。言語活動の幅を広げ、楽しいコミュニケーション活動ができるようになる。外部講師を招聘。		11/4(水)PM	総合教育センター	—	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
							幼 小 義	小 義	中 義	高 義	特 定	形 成	充 実	貢 献	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C 等	保 健 指 導	健 康 指 導	給 食 指 導	食 の 指 導	オ ン テ ナ	集 合																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2137 01	A	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座) e-Learning英語講座 ～オンライン研修で英語指導力を 向上させよう～	文部科学省主催のオンライン研修を通して、効果的な指導方法を身に 付ける。※詳細はPlantの研修概要を確認してください。	中学校で英語 の授業を担当 している英語 教員	文部科学省が決めた期間	各自の学習環境	—	—	◆	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
							幼 小 義 塾	中 義 塾	高 義 塾	特 高	形 成 上	充 実 充 実	高 学 校 教 育 セ ン タ ー	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C 等	保 健 管 理	健 康 指 導	給 食 管 理	食 の 指 導	集 合	同 双	オ ン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
2143 01	B	講座改善講座(高 国語) ～実践から学び、実践で追究す る!新時代を切り拓く力を育む 国語の授業づくり～	「主体的・対話的で深い学び」の 実現に向けた授業改善について学 ぶ実践講座。研究授業の参観を通 じて新しい授業の在り方について 研究し、授業力を高める。 ※授業力向上推進プロジェクトと 合同開催。	01:論理的文章(予定)	11月上旬頃	高等学校(未定)	—	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種			キャリアステージ			本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索
							幼 小 義 塾	中 義 塾	高 義 塾	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C 等	保 健 管 理	健 康 管 理	給 食 管 理	食 の 指 導	集 合	同 双	オ テ	
2149 00	A	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	造形的な見方・考え方を働かせ、資源・能力を育成する指導力を高めるために、個別最適な学びと協働的な学びの実現、ICTの活用について、講義や演習、実践交流等を通して共に考える。		7/1(水)PM ※214208「教科指導基礎力向上講座(高)美術」と同時開催	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	107 図画工作・美術
2150 01	A	授業改善講座(高 美術) ～生活や社会の中での美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指して～	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のために今年度は「ライフデザイン」について講義や演習、実践交流を通して学ぶ。	01:集合研修	8/25(火)PM	総合教育センター	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福祉
2150 02	A	授業改善講座(家庭・福祉) ～「主体的・対話的で深い学び」の授業実践～	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のために今年度は「防災」について講義や演習、実践交流を通して学ぶ。	02:オンライン研修		勤務校	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福祉
2150 03	B			03:集合研修	9/2(水)PM	さぼう遊学館	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福祉
2151 01	B	授業改善講座(高 工業) ～ICTの活用や学習活動と評価の工夫により、魅力ある授業をデザインする～	ICTの活用や学習活動と評価の工夫によって授業改善を図るため、魅力ある授業デザインについての実践事例を学び、自身の授業力の向上につなげる。 ※本研修講座は、授業力向上推進プロジェクト成果発表会(工業)と合同開催です。	01:集合研修	1/21(木)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	114 工業
2151 02	B			02:オンライン研修		勤務校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	114 工業
2152 01	A		01:外部装置やWebAPIによる問題解決のための授業づくり		5/15(金)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112 情報
2152 02	A		02:データサイエンス授業づくり		8/24(月)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112 情報
2152 03	B	授業改善講座(高 情報) ～実践に学ぶ! 資質・能力を育てる情報の授業!～	高等学校及び特別支援学校の情報科の教育を推進するため、学習指導要領を踏まえた生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や学習評価について講義や演習、実践交流、授業研究を通して学び、日々の実践に生かすための指導力を身に付ける。	03:専門教科とDIY授業づくり	12月頃	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112 情報
2152 04	B		04:授業研究①【共通教科】授業力向上推進プロジェクト合同開催		①11月～1月頃 ②11月～1月頃	県立高等学校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112 情報
2152 05	B		05:授業研究②【専門教科】授業力向上推進プロジェクト合同開催		11～1月頃	県立高等学校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	112 情報
2153 00	A	授業改善講座(高 商業) ～実践から学ぶ! 資質・能力を育成する授業!～	ICT機器の活用を踏まえながら、育成したい資質・能力を意識した授業について学ぶ実践講座。新しい授業の在り方について研究し、授業力を高める。 ※授業力向上推進プロジェクトと合同で開催。		①6/3(水) ②6/26(金)予定 ③11/6(金)	①総合教育センター ②高等学校(未定) ③総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	115 商業
2154 00	B	英語指導力向上講座(高)① ～明日から役立つ!「論理・表現」の授業と言語活動～	今日の英語教育課題への理解を深め、科目「論理・表現」に関する授業改善を行うために、言語材料と言語活動のよりよい統合と充実について講義や演習を通して学ぶ。		10/2(金)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2155 01	B	英語指導力向上講座(高)② ～様々な授業実践を参観し、自身がかかろう～	県内で、授業力向上のために日々工夫しながら授業実践に取り組んでいる先生の授業を参観し、自身の授業に生かす。	01:文法指導と言語活動	10月頃AM又はPM	県内高等学校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2155 02	B			02:ICTの活用	11月頃AM又はPM	県内高等学校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	111 外国語活動・外国語
2156 01	A	技術力向上講座(家庭・福祉) ～高度な技術を調理に応用しよう～	「食物分野」の指導内容における知識と技術力を高めるために、講義や演習、実践交流を通して学び、指導力の向上を図る。		8/3(月)	岐阜調理専門学校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福祉
2156 02	A	技術力向上講座(家庭・福祉) ～介護技術を学ぼう～	「福祉分野」の指導内容における知識と技術力を高めるために、講義や演習、実践交流を通して学び、指導力の向上を図る。		8/21(金)	岐阜県介護研修センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	108 家庭・福祉

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ						本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
							幼 認	小 義	中 義	高	特 定	形成	向上	充実	賞 励	学習指導	生徒指導	経営指導	特別支援	I C等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同 双	オ テ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2157 01	A	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座) 技術を生かした農業の授業づくり講座(高・農業) ～農業の「深い学び」につなげる専門力・授業力の向上～	農業の見方・考え方を働かせ、農業の各分野で活用する知識・技術を身に付けるため、指導方法について、講義や演習、実践交流、授業研究を通して共に考える。	01:生産系	①7/27(月) ②10/7(水)	①岐阜農林高校及び岐阜大学 ②岐阜農林高校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	講座番号 抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ						本研修において重点を置いている 指標項目				開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
							幼認	小義	中義	高特	形成上	向充実	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	I C等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双		オテ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	2164 00	B	総合的な探究の時間(高・特)～探究から始まる学びの充実～	探究の見方・考え方を働かせ、授業を構築するための指導のポイントや課題の設定方法について、講義や演習、実践交流を通して考える。		11/4(水)	森林文化アカデミー	—	—	◆	◆	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種		キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索
☆2173 00	B	科学教育シンポジウム	各校種による研究発表、専門講師による講演、受講者同士の意見交換を通じて、科学教育の実践的な知見を深め、授業改善と指導力向上を図る。 【217100理科実践講座（小・中・義）と217200理科教育講座（高）の受講者は本研修を受講してください。】		1/27(水)PM	総合教育センター	幼稚園	小義	中義	高	特別支援	I C等	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導					集合	オンライン	104 理科
2174 01	A			指定者	①5/28(木)PM ②7/8(水)PM ③11/9(月)PM	①勤務校 ②総合教育センター ③総合教育センター	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	104 理科
2174 02	A	研究開発講座(高 理科実験教材開発)	生徒が観察、実験を中心とした探究の過程を通じて課題を解決したり、新たな課題を発見したりする経験をより充実させるため、理科演習実験や実験書の開発・改善について研究を行う。	中瀬地区の実習教師及び実習助手	①5月下旬 ②7月上旬 ③11月中旬	①県立高等学校 ②県立高等学校 ③県立高等学校	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	104 理科
2174 03	A			岐阜南地区の実習教師及び実習助手	①5月下旬 ②7月上旬 ③11月中旬	①岐阜工業高等学校 ②岐阜工業高等学校 ③岐阜工業高等学校	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	104 理科
☆2175 01	A			01:国語	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 02	A			02:地歴公民	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 03	A			03:数学	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 04	A			04:理科	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 05	A			05:外国語	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 06	A			06:保健体育	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 07	A			07:音楽	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 08	A	教科指導力向上サポート講座(高・特)	教科担当主事による講義やワークショップ等を通して、学習指導要領実施上の課題や疑問等について解決策などを各校の実態を踏まえながら共に考え、指導計画や学習指導の改善を図る。 ※申込みは別途開催要項HPに掲載の申込用紙(様式1)にて。		希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 09	A	～教科担当主事が、訪問やオンライン等により、講義やワークショップ、授業研究会を行います！～			希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 10	A			10:家庭	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 11	A			11:福祉	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 12	A			12:農業	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 13	A			13:工業	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 14	A			14:商業	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 15	A			15:情報	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 16	A			16:生活単元学習	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般
☆2175 17	A			17:自立活動	希望日	勤務校	－	－	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	100 教科全般

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ						本研修において重点を置いている 指標項目						開催方法		検 索			
							幼 小 認 義	中 義	高 特	特 成	形 成	向 上	充 実	高 級	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 享	特 別 支 援	I C 保 健 管 理	保 健 指 導	給 食 指 導	食 の 指 導	同 双	オ ナ 合						
選択研修 生徒指導																														
2201 00	A	生徒指導特別講座 ～ネット依存（ゲーム障害）に ついて知る～	ネット依存（ゲーム障害）による子供の行動の変化や依存が子供の成長に与える影響と意識を高め、依存の兆候を早期に把握し、適切な対応をとることができる能力を育成する。		6/19(金)PM	勤務校	－	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	▲	－	204 生徒指導
2202 01	A	特別活動 指導力向上講座(小・中・高) ～集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成する特別活動の在り方～	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせながら、互いのよさや可能性を発見しながら集団や自己の生活上の課題を解決する特別活動の在り方について、講義や交流等を通して共に考える。		7/1(水)PM	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2202 02	A	特別活動 指導力向上講座(中・高) ～集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成する特別活動の在り方～	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせながら、互いのよさや可能性を発見しながら集団や自己の生活上の課題を解決する特別活動の在り方について、講義や交流等を通して共に考える。		6/25(木)PM	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2203 00	A	学級経営講座(小・中・高) ～児童がよりよく生きる力を獲得することができよう学級経営の在り方を学ぶ～	学習や生活の基礎として、教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てる学級経営の充実を図るためのポイントを講義や演習、実践交流を通して学ぶ。		5/11(月)PM	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2204 00	A	学級経営講座(中・高) ～生徒がよりよく生きる力を獲得することができよう学級経営の在り方を学ぶ～	学習や生活の基礎として、教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係を育てる学級経営の充実を図るためのポイントを講義や演習、実践交流を通して学ぶ。		6/12(金)PM	総合教育センター	－	◆	－	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2205 00	A	高等学校のホームルーム経営	教職の基礎形成を図るため、ホームルーム経営に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、実践的指導力を高める。		7/3(金)	総合教育センター	－	－	－	◆	－	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2206 01	B	キャリア教育基礎講座(基礎形成) ～自校での教育活動をみづめ、キャリア教育をすすめてよう～	学びや経験の積み重ねで形成されるキャリアとその教育について概論を学ぶとともに、中央研修に参画した教員の実践事例報告を通して自校の実践を振り返り、今後の指導力向上を目指す。	01:小・中・高におけるキャリア教育 02:高・特におけるキャリア教育	12/11(金)AM(予定)	勤務校	－	◆	◆	－	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2206 02	B	キャリア教育実践講座 ～キャリア発達を促すキャリアカウンセリングの充実を！～	子供のキャリア形成の過程や、キャリアカウンセリングの理論、キャリアパスポートの活用方法等について、演習を通して具体的に学ぶ。		12/11(金)PM(予定)	勤務校	－	－	－	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2207 00	B	キャリア教育実践講座 ～キャリア発達を促すキャリアカウンセリングの充実を！～	子供のキャリア形成の過程や、キャリアカウンセリングの理論、キャリアパスポートの活用方法等について、演習を通して具体的に学ぶ。		11/16(月)(予定)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	－	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	118 特別活動
2208 00	B	生徒指導基礎講座(小・中・高・特) ～事例を通して学びあひめへの対応～	生徒指導の基礎となる「児童生徒理解」や「児童生徒の居場所づくり・絆づくり」について、生徒指導要を基にした学びあひめとともに、「いじめ」の問題に対し、どのように対応していくとよいのか、具体的な事例等を通してその対応力を身に付ける。 ※特別支援学校小・中・高の教職員も受講可能		9/10(木)PM	総合教育センター	－	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	204 生徒指導
2209 00	A	生徒指導基礎講座(高・特) ～事例を通して学ぶ問題行動対応～	生徒指導の基礎となる「生徒指導理解」「より良い人間関係づくり」「児童生徒との信頼関係づくり」や「いじめ・虐待の問題」について学び、生徒指導の基本的な知識や対応を身に付ける。		7/1(水)PM	勤務校	－	－	◆	◆	◆	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	204 生徒指導
2210 00	A	「魅力ある学校づくり」講座 ～発達支持的生徒指導でトラブルを未然に防止する～	国立教育政策研究所が推進する「魅力ある学校づくり調査研究事業」をもとに、いじめ未然防止や不登校支援について理解を深め、実践力を身に付ける。		5/13(水)PM	勤務校	－	◆	◆	◆	◆	－	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	204 生徒指導

講座番号 (☆:新しい講座)	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)		対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目								開催方法			検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
2211 01	B	講義の基礎を固めるために、教育相談を実際どのようなように行うのか、具体的な事例を踏まえながら、子供の特性に応じた聞き取り方、答え方、導き方など、児童生徒の心と向き合った教育相談が実践できる能力を身に付ける。	01:岐阜・西濃			総合教育センター																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

講座番号 (☆:新しい講座)	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種		キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目	開催方法		検 索														
						幼小認 義	中 義	高 特	形成		向上	貢献		習得指導	生徒指導	経営分掌	ICT等	健康管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双 オテ				
選択研修 経営・分掌																											
2301 00	A	研修主事サポート出前講座 (小・中・義)～学び合い文化の 醸成をめざして～	各校の要望に応じて指導主事が学校に向き、学び合い文化の醸成を 図るための方法を研修主事と共に考える。また、年間を通じて関わり をもち、各校の特色ある教育活動や校内研究なども支援する。(研修 主事を支える講座) ※Planの開催要項に掲載している申込用紙にて申請する	研修主事	希望日	勤務校	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 教科全般		
2302 00	B	人権教育講座 ～日常とつなげる「人間尊重の 気風がみなぎる学校づくり」～	学校における人権教育を全教育活動で推進する指導者としての資質 を、講義や演習を通して身に付ける。		12/11(金)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	203 人権教育	
2303 00	A	教師力を高めるメンタリングを 身に付けよう！(高・特)～メン タリングを通して「学び力と育 てる力」の向上～	学校組織における職員間の関係を良好に築き、対話による気付きと助 言により、自発的で自律的な成長を促す方法や手立てを学び、学校運 営や教育活動に生かす。		7/2(木)PM	総合教育センター	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT	
2304 00	B	ファシリテーション・グラ フウィック講座 ～要点を図示・構造化すること で、会議の成果を明確にしよ う！～	授業や会議等における議論の内容をすばやく可視化し、内容を理解する 時間を短縮することを目指して、分かりやすくまとめ、表現する力 を講義や演習を通して身に付ける。(「1230800ファシリテーションシヨ ン講座」内のグループ討議で行うペーパー等への可視化・構造化につい て詳しく学ぶ講座です。)		9/17(木)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT	
2305 01	B	カリキュラム・マネジメント基 礎講座 ～各学校の資源、特色を生かし たカリキュラム・マネジメント を考える～	日々の教育実践の改善を基礎とし た学校における自律的・持続的な カリキュラム・マネジメントの在 り方を学ぶとともに、中央研修に 参加した教員の実践事例報告を通 じて自校の実践を振り返り、専門 性向上を目指す。	01:小・中・義におけるカリキュ ラム・マネジメント 02:高・特におけるカリキュラ ム・マネジメント	1/22(金)AM(予定)	勤務校	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT	
2305 02	B				1/22(金)PM(予定)	勤務校	—	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2307 01	B	保護者との信頼度向上講座 ～保護者との協力体制を築こ う！～	保護者と協力して指導に当たると めに、初期対応を適切に行い、問 題の早期解決を図ることや、保護 者と良好な関係を築く方法につい て、様々な学校現場の事例研究を 基に学ぶ。	左記のとおり	12/10(木)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2307 02	A				12/10(木)	総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2308 00	A	ファシリテーション講座 ～「場のデザイン力」「対人関 係」「構造化」「合意形成」 で、議論を活性化させよう～	学校・学年等の組織を支える人々との相互関係促進を図るために、 手立てや、学校・学年等の運営の視点について、講義と演習から学 ぶ。		6/26(金)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2309 00	B	コーチング講座 ～能力を引き出しモチベーション アップ！コーチングを身に付け 学校組織を豊かに～	相手の優れた能力を引き出しながら、自発的な行動を促すコミュニ ケーションスキルであるコーチングを様々な角度から学び、学校マネ ジメントに生かす。		9/24(木)	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2310 00	A	学校防災力向上講座1 DIG(災害図上訓練)初級編	DIG(災害図上訓練)の講義を通して、学校や地域の防災に対する着 眼点及び対策を学ぶ。また、タブレットを活用しながら児童生徒の目 助・共助の態度を養うための指導について考える。		6/4(木)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	206 防災教育

講座番号 (☆:新しい講座)	講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種								キャリアステージ								本研修において重点を置いている 指標項目												開催方法			検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
								幼小 認識	小義	中義	高	特	形成	向上	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	I健康 C健康	保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	同双	オテ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
2311	00	A	学校防災力向上講座2 HUG(避難所運営シミュレーション)初級編	講師の被災地での実体験から、学校が避難所になったときに起こり得る事象について学び、事前に何をすればよいのか、実際どのように動くのかについて考えていく。		6/15(月)PM	総合教育センター	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						キャリアステージ	本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
							幼 認	小 義	中 義	高 特	形成上	充 実		学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	保健管理	給食管理	食の指導	集合	同 双	オ ナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
選択研修 特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒への対応																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
2401 01	B	ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり～明日から生かせる理論と実践～	ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業づくりや個に応じた支援や進捗設定について学び、教職の基礎形成や資質向上を図る。また、多様な子供たちに対し、個性を生かした学びの実現に向けて、具体的な支援方法や実際の改善方法の在り方を学ぶ。	01:岐阜会場		総合教育センター	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

講座番号 (☆：新しい講座)	講座番号 (☆：新しい講座)	講座名～サブタイトル (◆：履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目								開催方法		検 索	
							幼 小 義 塾	中 義 塾	高 校	特 定	形 成	充 実	貢 献	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 享	特 別 支 援	I C 等	保 健 管 理	給 食 管 理	食 の 指 導	集 合	同 双	オ ナ リ		
2413 00	A	高等学校の実践者から支援を学ぶ～通級による指導～	高等学校の実践者や通級指導担当者から、通級における指導の実態や支援方法について学び、自らの実践に役立てる。		7/22(水)PM	勤務校	—	◆	◆	◆	○	○	○	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2414 00	B	多様なニーズに応じた特別支援教育オンライン研修	特別支援教育の基礎的な知識について、国立特別支援教育総合研究所のコンテンツを基に、自らのニーズや障がい種に応じて、概論的に学ぶ。		5/1(金)～1/29(金)	勤務校	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2415 00	A	知的障がいのある児童生徒の学び～学習指導要領を基にした目標設定とキャリア発達支援～	知的障がいのある児童生徒の学習指導要領に基づいた目標設定やキャリア発達支援について学ぶ。		7/31(金)PM	勤務校	—	—	—	◆	○	○	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2416 00	A	特別支援学校の実践者と学ぶ授業づくり	特別支援学校の実践発表から知的障がい、学級の授業づくりについて学び、教科別の指導や各教科等を合わせた指導の実践力を高める。		8/19(水)	総合教育センター	—	—	—	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2417 00	B	特別支援教育セレクト講座	コア・スクール(視覚障がい・聴覚障がい・病弱・肢体不自由・軽度知的障がい)の各専門分野領域におけるコア・ティチャーや特別支援教育の実践者から具体的な支援方法について学び、特別支援教育に携わる教員としての専門性向上を図る。		9/18(金)PM ※一部オンライン視聴	勤務校	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2418 00	A	重複障がい、学級の指導～コア・スクールで基礎を学ぼう	肢体不自由教育のコア・スクールで各専門分野領域のコア・ティチャーから重複重複障がい学級の指導に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、これらを基盤とした実践的指導力を身に付ける。		7/23(木)	岐阜希望が丘特別支援学校	—	—	—	◆	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2419 00	A	重複障がい、学級の指導～実践者から学ぶ「からだ」の授業～	専門的な知識や技能を有し、重複障がい学級の指導を実践してきた実践者から「からだ」についての知識や技能を学ぶとともに実践の悩みや自己課題についての助言を受けて、明日からの授業実践力を高める。		7/28(火)	総合教育センター	—	—	—	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2420 00	A	重複障がい、学級の指導～作業療法士と共に考える「個別課題」の授業～	重度重複障がい児に対する身体の動きの困難さの要因分析から適した姿勢づくりや手指操作課題について専門家(作業療法士等)の視点から学び、個に合わせた指導や授業実践力を高める。		7/27(月)	総合教育センター	—	—	—	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2421 00	A	重複障がい、学級の指導～スィッチ教材をつくろう～	スィッチ教材を実際に作りながら、効果的な活用法をコア・ティチャーから学ぶ。		8/3(月)PM	岐阜希望が丘特別支援学校	—	—	—	◆	○	○	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2422 00	A	基礎から学ぶ動作法～動作法の概論、実技を学ぶ～	心理リハビリテーション・スプーン・パイパーから動作法概論、実技を学ぶ。		8/20(木)	総合教育センター	—	—	—	◆	○	○	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2423 01	A	動作法を活用した「からだ」の授業～実技演習を通して学ぶ～	心理リハビリテーション・スプーン・パイパーから動作法を活用した「からだ」の授業についての実技演習から、専門的な知識、技能を学び授業実践力を高める。	左記のとおり	8/17(月)	総合教育センター	—	—	—	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
2423 02							—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種		キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
選択研修																			ICTや情報・教育データの活用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
2501 01	A	生成AIの教育における活用講座 ～普段使いするために～	生成AI(人工知能)を用いたプロンプトエンジニアリングの演習を通して、生成AIについて理解を深めるとともに、教育における活用の可能性を学ぶ。	01:集合研修 01及び02は同一内容	8/25(火)PM	総合教育センター	—	◆	◆	◆	○	○	○	○	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	500 ICT	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種			キャリアステージ			本研修において重点を置いている 指標項目								開催方法		検 索
2505 01	B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座) ICT活用実践研修(小・中・ 義・高・特)	GIGAスクール構想やオンライン 学習等の整備に伴い、県内小学 校、中学校、義務教育学校、高等 学校、特別支援学校のICT活用 指導力の向上を図る。1人1台端末 と連携する学習支援ツールの活用 実践を通して学ぶ。	01:iPad① 02:iPad② (01及び02は同一内容)	9/2(水)PM	総合教育センター	幼認	小義	中義	高	特	形成	向上	充実	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	I C 健康	保健管理	給食管理	食の指導	500 スキル向上・ ICT
2505 02	B				9/9(水)PM		—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 03	B				9/4(金)PM		—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 04	B				9/10(木)PM		—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 05	B				9/16(水)PM		—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 06	B				9/30(水)PM		—	◆	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 07	B				10/7(水)PM		—	—	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 08	B				10/22(木)PM		—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 09	B				11/20(金)PM		—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2505 10	B				11/25(水)PM		—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2506 00	A	ICT活用実践研修(特) ～1人1台端末の活用と実践～	GIGAスクール構想やオンライン学習等の急速な整備に伴い、特別支援 学校のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末と連携する学習 支援ツールの活用実践を通して、実践に生かすための活用指導力を身 に付ける。	①8/24(月) ②12月頃PM【希望者】	①総合教育センター ②勤務校	—	—	—	◆	○	○	○	○	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2507 01	A	小学校プログラミング講座 ～教育課程への位置付けと実践 的に行う～	プログラミング教育を推進するた め、「小学校プログラミング教育 の手引」や様々な実践事例を基に 学び、教科等における論理的な思 考力を高めるための指導力を身に 付ける。	01:micro:bit 02:Scratch	6/15(月) 7/8(水)PM	総合教育センター 総合教育センター	—	◆	—	◆	◆	○	○	○	♥	—	—	—	—	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2507 02	A	ホームページによる県立学校の 情報発信講座 ～WordPressを活用した効率的 な学校情報の発信～	WordPressの仕組みや基本的な作成技能等について実習を通して学 び、効率的な学校情報の発信を行うための実践力を身に付ける。	—	6/26(金)	総合教育センター	—	—	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	♥	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2509 01	A	校務のための表計算 基礎・基 本講座 ～校務処理の時短に役立つ機能 の活用～	実用的な関数の利用、クロス集計 やフィルターといった各種機能な ど基礎的な内容を学び、校務の効率 化に役立つ知識と技術を身に付け る。	01 (01、02及び03は同一内容) 02 (01、02及び03は同一内容) 03 (01、02及び03は同一内容)	6/10(水)PM 6/11(木)PM 10/23(金)PM	総合教育センター 総合教育センター 総合教育センター	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	♥	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2509 02	A	新しい学びの時代における著作 権教育講座 ～1人1台端末環境、オンライン 学習における著作権について学 ぶ～	ICT環境を用いた授業や、オンラインを活用した学習活動を行う際に 気を付けるべき著作権について学ぶ。	—	1/14(木)PM	勤務校	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	♥	—	—	—	500 スキル向上・ ICT
2510 00	B	—	—	—	—	勤務校	—	◆	◆	◆	◆	○	○	○	—	—	—	—	♥	—	—	—	500 スキル向上・ ICT

講座番号 (☆：新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆：履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種		本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法	検 索			
							幼 認	小 義	中 義	高 特	形 成	向 上	充 実	責 任	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援			I C T 等	保 健 管 理	健 康 指 導
連携研修 (県美術館・県博物館等の文化施設)																							
3101 00	B	授業に生かす考古学講座【文化財保護センター】 ～本物に触れる感動を！興味・関心を高める授業づくり～	本物の遺物に触れる活動を通して、ふるさとの文化財から学ぶことのよさを実感する。また、発掘調査の成果で生かす具体的な方法を知ること、社会科以外の教科においても体験や実物から学ぶ意義について考える機会とし、ふるさと教育に関する指導力の向上を図る。		11/6(金)	文化財保護センター	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3102 01	A	博物館活用講座【岐阜県博物館】 ～自然観察やバックヤード見学等を通して博物館の魅力・活用方法を学ぶ～	学校や園での岐阜県博物館の活用を旨とし、博物館周辺の自然観察や館内収蔵物、館内展示物の見学を通して、博物館の魅力や活用方法を理解するとともに、学校や園での博物館の活用について考える。	01：春の自然観察 自然観察や館内見学、博物館の活用物の紹介から、学校や園での活動や教科等の活用について交流する。	5/29(金)	岐阜県博物館	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3102 02	B	博物館活用講座【岐阜県博物館】 ～自然観察やバックヤード見学等を通して博物館の魅力・活用方法を学ぶ～	01と02は同一内容の講座です。開催時期が違うため、野外観察時に観察する動植物の対象が変わることがあります。）	02：秋の自然観察 自然観察や館内見学、博物館の活用物の紹介から、学校や園での活動や教科等の活用について交流する。	10/15(木)	岐阜県博物館	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3103 00	B	博物館活用講座【瑞浪市化石博物館】 ～地層の観察、化石採集・化石クリーニングを体験し、博物館の魅力・活用方法を学ぶ～	地質に関する演習を学校や園の活動につなげることを目指し、瑞浪市化石博物館や地層の見学、化石採集・化石クリーニングを通して、地質や自然観察等に関する指導力を向上させる。		10/7(水)	瑞浪市化石博物館	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3104 01	A	先端科学技術体験講座(LED、電子顕微鏡)【サイエンスワールド】 ～好奇心をくすぐる体験～	01：LEDの発光原理の基礎を学び、発光や光通信などの応用例からLEDの特性を理解する。	先端技術を体験し、新たな知識に触れることで、学校における探究的な活動の指導力の向上を図る。	6/24(水)PM	サイエンスワールド	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3104 02	B		02：電子顕微鏡を操作し、身近なものや生物を観察することで、その特徴を理解する。		11/18(水)PM	サイエンスワールド	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3105 01	A	ものから学ぶサイエンス体験講座【サイエンスワールド】 ～どんぐり・プラスチックについて様々な見方を動かして、体験する～	学校や園での施設の利用や科学技術や環境問題、森林保護等に関する活動の工夫を旨とし、どんぐりやプラスチックの特徴を様々な見方を動かして捉える体験を通して、探究的な活動の指導力を向上させる。	01：プラスチックから学ぶ科学 プラスチックの特徴を知る実験等を行い、科学技術や環境問題について話し合い、学校や園での活用方法を考える。	6/11(木)AM	サイエンスワールド	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3105 02	A			02：どんぐりの特徴や生態を知る観察やものづくりを行い、森林保護等について話し合い、学校や園での活用方法を考える。	6/11(木)PM	サイエンスワールド	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3106 00	B	美術館活用講座【岐阜県美術館】 ～感性を動かさせて、美術館で活動に浸る一日～	美術館と学校との連携による創造活動の充実を知り、さらに鑑賞指導力を高めるために、岐阜県美術館の展示をもとに「対話型鑑賞」の体験や演習等を行い、美術館と連携した鑑賞活動や指導方法を共に考える。		10/8(木)	岐阜県美術館	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体
3107 00	B	美術館活用講座【岐阜県現代陶芸美術館】 ～感性を動かさせて、美術館での活動に浸る一日～	美術館と学校との連携による創造活動の充実を知り、さらに鑑賞指導力を高めるために、岐阜県現代陶芸美術館の展示をもとに「対話型鑑賞」の体験や作陶体験を行い、美術館と連携した鑑賞活動や指導方法を共に考える。		11/13(金)	岐阜県現代陶芸美術館	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	—	400 大学・施設連携・他自治体

講座番号 (☆：新しい講座)	講座番号 抽選日 A/B	講座名～サブタイトル (◆：履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)		対 象	期 日	会 場	校 種								キャリアステージ	本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
								幼 認	小 義	中 義	高	特 定	形 成	向 上	充 実		賞 励	学 習	生 徒	経 営	特 別	I C	保 健	給 食	食 の	集 合	同 双	オ ナ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	3108 01	B	野外で学ぶ体験講座【森林文化アカデミー】 ～01：自然遊びを考えよう～ ～02：屋外を活用した授業展開を考えよう～	指導者の自然体験を深めるとともに、自然体験学習の理論と指導法を身に付け、各校種における指導力向上と学校現場での活用を目指す。	01：自然の中で、体を動かしながら動かし実践活動を行う。	10/23(金)	森林文化アカデミー	◆	◆	—	◆	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ				本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
							幼小 認識	中義	高	特	形成上	充実	向	高	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	ICT等	I保健管理	健康指導	給食管理	食の指導	集合	オテ 同双																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
☆4104 01	A	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座) 高等学校教育課程講習会	01:国語 02:地理歴史・公民 03:数学 04:理科 05:保健体育 06:芸術 (音楽) 07:芸術 (美術・工芸) 08:芸術 (書道) 09:外国語 10:生活産業 (家庭) 11:生活産業 (福祉) 12:情報 13:農業 14:工業 15:商業 教育課程の円滑な実施を図るため、県内の高等学校の教諭を対象に、学習指導要領の趣旨及び内容の説明や研究協議等を行う。	高等学校教諭	8/19(水)	勤務校	—	—	◆	—	—	—	—	♥	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

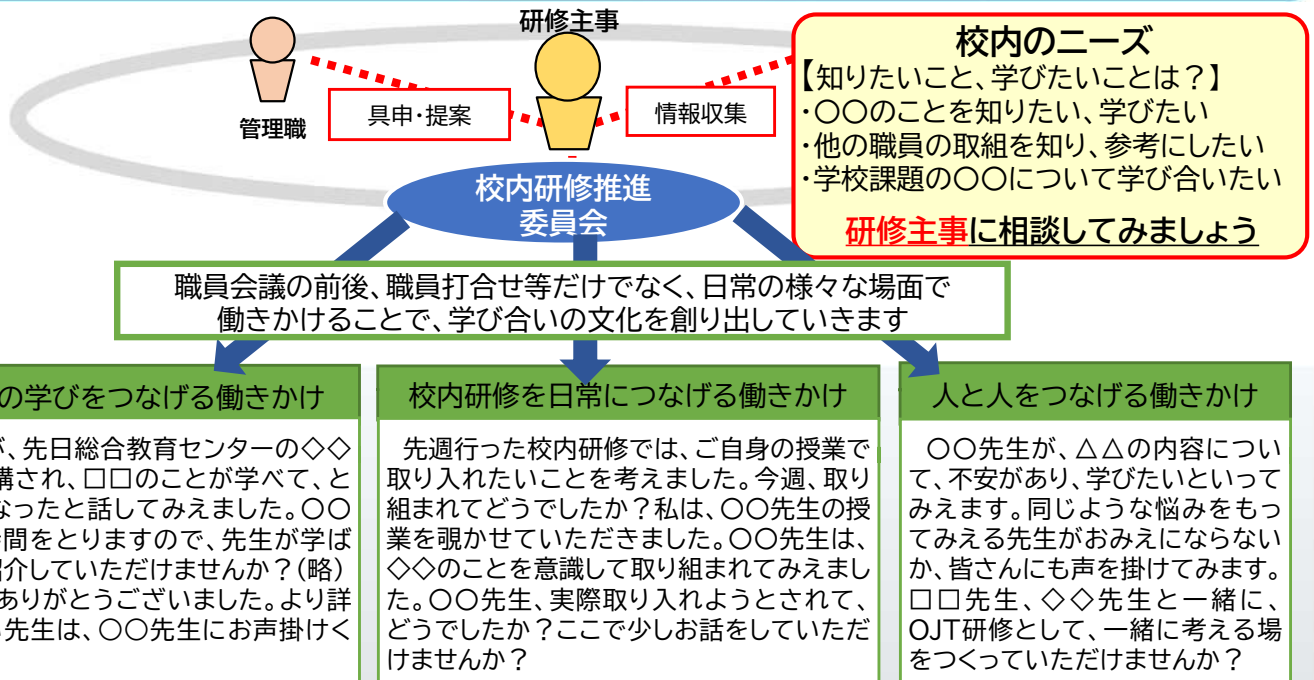
講座番号 (☆：新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆：履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				キャリアステージ		本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索		
							幼 認	小 義	中 義	高 義	特 特	形成	向上	貢献	学習指導	生徒指導	経営分掌	特別支援	I C 等	保健管理	健康指導	給食の 管理	食の 指導	集合		同双	オ テ
4204 01	A	発達障がい支援担当教員養成事業 スタート研修	発達障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及び教室経営力について、コア・ティチャーの訪問支援等を通して身に付ける。	01：岐阜地区	①5月	コア・ティチャー勤務校 勤務校 勤務校	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育		
4204 02	A			02：西濃地区	②6月 AM又はPM		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4204 03	A			03：美濃地区	③7月～9月		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4204 04	A			04：可成地区	④9月～1月		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4204 05	A			05：東濃地区	※③④はコア・ティチャーと日程調整後決定。		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4204 06	A			06：飛騨地区	—		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4205 01	A	発達障がい支援担当教員養成事業 ステップアップ研修	発達障がいのある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、そのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するための適切な知識や実践的な指導力及びティチャーの授業参観や課題追究形式の研修を通して、身に付ける。 【240300発達障がいのある児童生徒の発達段階を踏まえた指導の在り方、240900医学・福祉の観点から学ぶ特別支援教育、240400発達障がいのある子の性教育、240500発達障がいのある子の「見る力」に対する指導、240600発達障がいのある学生に対する支援の実践～職業教育機関における発達障がい学生に対する支援の実践～のいずれかを選択し、申し込む】	01：岐阜地区	①7月 AM又はPM	コア・ティチャー勤務校 勤務校 勤務校	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育		
4205 02	A			02：西濃地区	②7月以降		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4205 03	A			03：美濃地区	③9月 AM又はPM		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4205 04	A			04：可成地区	④12月 AM又はPM		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4205 05	A			05：東濃地区	※②は総合教育センターの指定5講座から1つ以上選択して申し込む		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4205 06	A			06：飛騨地区	—		—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育
4206 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業 レベルアップ研修	特別支援学級及び、言語障がいを対象とする通級指導教室の担当教員を対象とし、自己課題に応じた研修を実施することにより、専門性及び実践的指導力の向上を図る。 【言語通級指導教室担当者は、241200集まれ！言語通級指導教室集合研修～地域、県内でつながり、互いに学び合おう～を申し込む】 【特別支援学級担当者は、241100特別支援学級の実践者と学び合う授業づくりを申し込む】	特別支援学級及び言語通級指導教室担当 2～5年目の希望者	①6/24(水)PM ②7月 ③9・10月 ④17/27(水)PM ※②は総合教育センターの指定講座を申し込む ※③は調整の上決定	勤務校もしくは総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育			
4207 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業 マネジメント研修 ～聞きたい 知りたい 振教育～	特別な教育的ニーズのある児童生徒の支援のポイントや校内マネジメントの仕方について学ぶ。	小・中・義務教育学校の校長(副校長)・教頭・主幹教諭 ※他校種の管理職も受講可	①5/22(金)PM ②7/1(水)PM ③9/3(水)PM	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育			
☆4208 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業 指導力アップ研修 ～明日からの通級の指導に生かすノウハウ～	通級指導教室実践者から様々な事例に応じた具体的な指導方法を学び、通級指導教室担当者の指導力向上を図る。	発達障がいがある通級指導教室担当者	8/3(月)	総合教育センター	—	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育			
4209 00	A	発達障がい支援担当教員養成事業 ベージング研修【高等学校校】	研修講師の講義やオンデマンド動画の視聴等を通して、発達障がい支援の基本的な内容の習得及び専門性、実践的指導力の向上を図る。	—	①6/19(金) ②7月から8月頃 ③9月頃 ④10月頃 ⑤11月頃 ⑥2/8(月)	勤務校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	201 特別支援教育			

講座番号 (☆:新しい講座)	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種						本研修において重点を置いている 指標項目						開催方法		検 索																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
						幼 小 認 義	中 義	高 義	特 定	形成上	充実に 向	貢献	学習指導 指	生徒指導	経営分掌	特別支援 等	I C健康 管理	保健管理	健康指導		給食管理	食の指導	集合	オ ン 双 方																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
4210 01	A	発達障がいを含め、障がいのある 幼児児童生徒一人一人の教育的 ニーズに対応するとともに、校内 支援体制の整備を推進するため、 特別支援教育コーディネーターと して必要な最新の知識や情報の習 得と実践力を身に付ける。	01:岐阜地区	令和8年度に 新しく特別支 援教育コー ディネーター に指名された 幼稚園、幼児 園型認定こ ども園、幼稚園、小学校、 義務教育学校 の教員。	①5/29(金)PM ②10/30(金)PM	勤務校	◆	◆	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

講座番号 (☆:新しい講座)	抽選 日 A/B	講座名～サブタイトル (◆:履歴に残さない講座)	内 容 (ねらい、形態、日程等)	対 象	期 日	会 場	校 種				本研修において重点を置いている 指標項目										開催方法		検 索							
							幼 小 義 塾	中 義 塾	高 校	特 定	形 成	充 実	充 実	責 任	学 習 指 導	生 徒 指 導	経 営 分 掌	特 別 支 援	I C T 等	保 健 指 導	健 康 指 導	給 食 指 導		食 の 指 導	同 双 オ テ					
4306 00	B	令和8年度高等学校体育実技指導者講習会及び体力向上マネジメント講習会	学習指導要領を踏まえ、生徒の運動やスポーツに親しむ資質・能力の育成につながる授業づくり及び学校の資源を一体的にマネジメントした各学校や地域の実態等に即した子供たちの体力向上づくりについて、講義や演習を通して学ぶ。	保健体育科教職員	11/19(木)	OKBさくら清流アリーナ	—	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110 体育・保健体育		
4307 00	A	栄養教諭・学校栄養職員研修会	学校給食の衛生管理や適正な給食管理について研修する。また、学校給食を活用した効果的な食に関する指導の在り方について研修する。	公立学校の栄養教諭・学校栄養職員	6/10(水)	県庁ミナモホール	—	◆	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	207 健康教育		
4308 01	A	学校保健講習会①(高校・特支)	健康教育の方針と重点及び学校保健の課題についての行政説明を通して、学校保健安全指導の諸問題についての理解を深める。	保健教諭 保健主事	7/3(金)	県庁ミナモホール又は勤務校	—	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	207 健康教育		
4308 02	B	学校保健講習会②(高校・特支)	健康教育の方針と重点及び学校保健の課題についての行政説明を通して、学校保健安全指導の諸問題についての理解を深める。	保健教諭 保健主事	2/4(木)	勤務校	—	—	◆	◆	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	207 健康教育		
☆4309 00	A	「運動好き・体育好きを育てる」授業づくり講座(小・中・義務・体育・保健体育)～指導主事が指導案づくりからサポートします！～	「もっとよい授業をしたい。」という先生方を対象に、今年度重点にしたい単元を、単元指導計画から単位時間の指導案を描いて授業をするための過程をサポートします。		①5月 ②9月 ③10月～11月 ④2月	①勤務校 ②総合教育センター又は岐阜県庁 ③授業提供校 ④勤務校	—	◆	◆	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	110 体育・保健体育		
☆学校安全課の研修																														
4401 01	A	岐阜県小・中・義務・高・特生徒指導研修会	生徒指導上の喫緊の課題について、現状と対策を研修する。特定の課題を認識することなく、全ての児童生徒を対象とした、自発的・主体的な発達を「支える」生徒指導（発達支持的生徒指導）により、児童生徒間の摩擦やトラブルを未然に防止する。管理職だけでなく、教諭、養護教諭など様々な立場の方が喫緊の生徒指導課題について学ぶことで、多様な生徒指導事案に対して「チーム学校」として組織で対応していく力を高める。	小学校の教職員	7/21(火)PM	県庁ミナモホール	—	◆	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	204 生徒指導		
4401 02	A			02:中・義務教育学校	県庁ミナモホール	—	—	—	◆	◆	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	204 生徒指導
4401 03	A			03:高等学校	県庁ミナモホール	—	—	—	—	◆	◆	—	—	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	204 生徒指導
4401 04	A			04:特別支援学校	県庁ミナモホール	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	204 生徒指導

校内研修の活性化に向けて～学び合い文化の醸成を目指して～

研修主事が校内研修推進委員会及び校内の中心となって、自校の課題やニーズを基に、校内研修計画の策定や研修の在り方について検討・改善し、より効果的な校内研修を実践します。



校外研修(Off-JT)

往還

校内研修(OJT)

<研修主事研修>

	小・中・義	高・特
1日目	日時:4月24日(金)PM 開催方法:オンライン 対象:新任研修主事及び希望者	日時:4月17日(金)終日 開催方法:オンライン 対象:[AM] 新任研修主事及び希望者 [PM] 全研修主事
2日目	日時:11月19日(木)PM 開催方法:参集 対象:全研修主事	日時:10月29日(木)終日 開催方法:参集 対象:全研修主事

【主な研修内容】

	内容
1日目	☐ 校内研修の手引きをもとに、研修主事の役割を理解します。 ☐ 校内の学び合い文化を醸成するための手立て等について考えます。
2日目	☐ 研修主事としての実践を交流します。 ☐ 来年度の研修計画について考えます。

※詳細は開催要項にて確認をお願いします。

校内研修計画の策定

校内研修の実施(OJTを含む)

【OJTの例】

- ・学年別に課題やテーマを設定してグループで協議を行い、その後、全体会で提案や意見交流を実施。
- ・多様な視点からの意見やアドバイスを基に考えを深める場を設定。

【Off-JT ⇄ OJT の例】

- ・生徒指導や教育相談に関する校外研修を受講・学んだことをもとに分掌内で協議したり、校内全体に還元する研修会を実施。
- ・児童生徒の発達に関する研究会に参加・参加教員が講師となって最新の情報を伝達したり、資料をまとめて学校全体に報告。

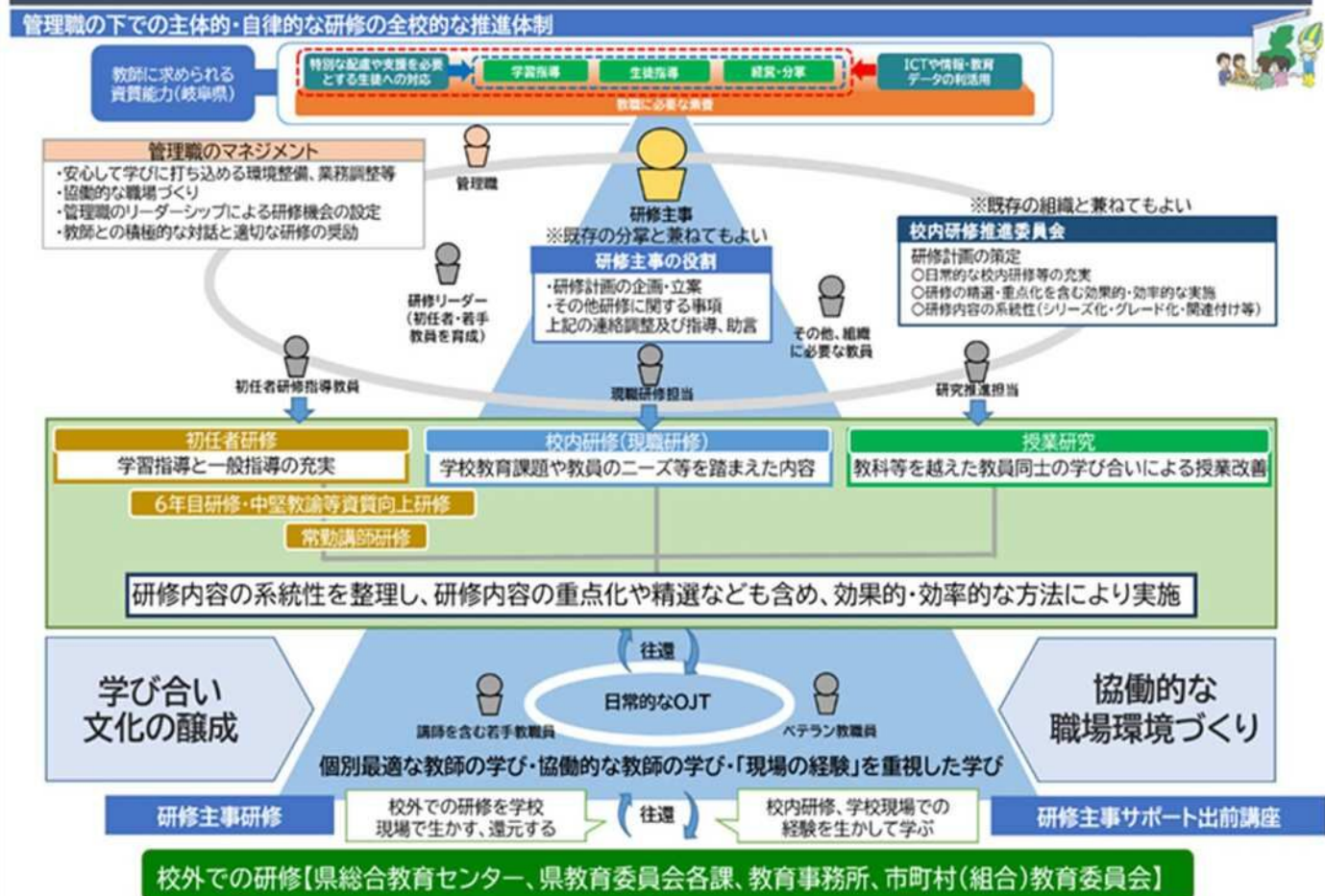
今年度の振り返り

・成果と課題

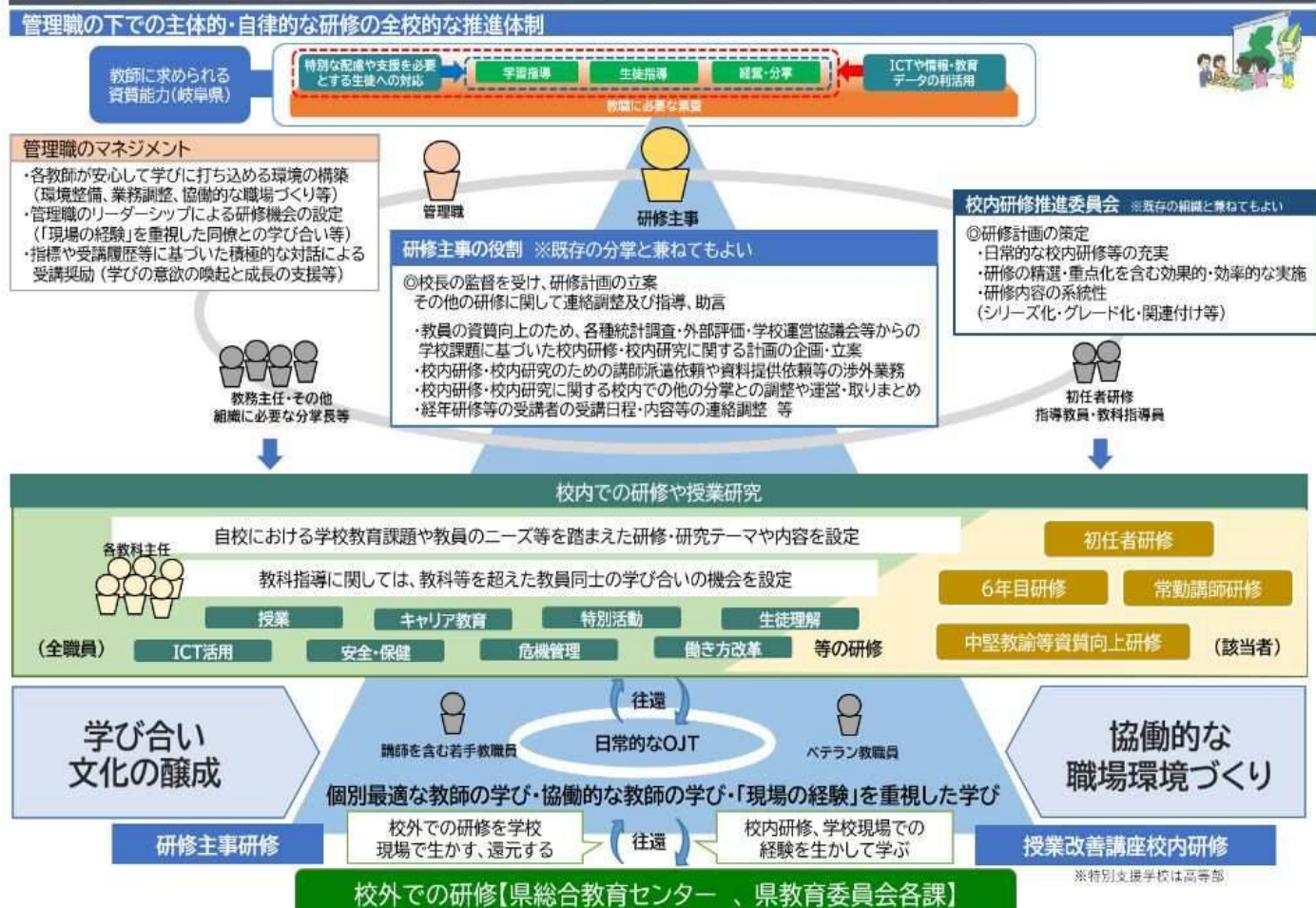
・次年度の計画

学び合い文化の醸成・協働的な職場環境づくり

新たな教師の学びの姿の実現のための研修推進体制～校内での学び合いの活性化に向けて～【小中義務】（イメージ）



新たな教師の学びの姿の実現のための研修推進体制～校内での学び合いの活性化に向けて～【高特】（イメージ）





自ら学び続ける教職員研修支援事業

グループ A

公務外の活動に補助金を交付

R7は7Gが活動

若手教職員を含むグループが行う公務外の活動に対して最大10万円を支援します。教職員の育成、資質能力の向上、学ぶモチベーションをアップする環境を整えます。



グループ B

公務内の活動を金銭面で支援

R7は10Gが活動

研修主事等を中心としたグループが行う公務内の活動に対して最大10万円を支援します。校内研修で使える予算が欲しいという要望に応え、多くの教職員を巻き込む環境を整えます。

流れ

申請

審査

採用

実践

報告

～4月30日

5月

5月下旬

6月1日～1月31日

2月

教職員一人一人の資質向上のため、「**学び合い文化の醸成**」「**協働的な職場環境づくり**」が根付くように、自主的に行う研修を支援します！

	グループA	グループB
グループメンバー	若手教職員を含む	研修主事等を中心とする
活動	公務外	公務内
テーマ	自由	学校教育計画や校内研修計画等に則したもの
申請者	グループの代表者	学校長
提出先	教育研修課	小中義:各地区の教育事務所 高特:教育研修課
対象経費	報償費・交通費・資料費 会場借上費・消耗品費	報償費・交通費に限る
支援方法	補助金（最大10万円）	市町村(組合)立学校: ・講師への支払いは、教育研修課が直接執行 ・職員旅費は、令達 県立学校:令達（最大10万円）

問合せ先

事業の詳細は、岐阜県総合教育センターホームページを参照にしてください。
教育研修課 研修企画係 058-271-3450



13 「新たな教師の学びの姿」の実現

- 「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律(令和4年法律第40号)」により、教育委員会による教師の研修履歴の記録の作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みが、令和5年4月1日から施行されている。他方、中央教育審議会「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会に取りまとめられた『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて 審議まとめ(令和3年11月15日)においては、「新たな教師の学びの姿」が求められている。
- この「新たな教師の学びの姿」として求められているのは、一人一人の教師が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、誇りをもって主体的に研修に打ち込むことであり、その鍵である教師の個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現は、児童生徒等の学びのロールモデルとなることにもつながる。
- こうした動きの中、本県では、文部科学省により策定された「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励のガイドライン」(令和4年8月)を受け、令和4年12月26日付け教研第187号にて「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について【岐阜県教育委員会版】」(下記参照)を通知した。本通知は、本制度改正に関する基本的考え方を示した教育公務員特例法第22条の2第1項の指針に基づき、岐阜県としてのその具体的な内容や手続等の運用について、主に任命権者が県教育委員会である教師を対象とした、研修履歴を活用して行う、教育公務員特例法第22条の6第2項に規定する資質の向上に関する指導助言等の考え方を示したものである。
- また、教育公務員特例法第22条の4第2項として、任命権者が策定する教員研修計画には「資質の向上に関する指導助言等の方法に関して必要な事項」を定めることとされた。このことを受けて、「岐阜県『教員のキャリアステージ』における資質の向上に関する指標」及び「第4次岐阜県教育振興基本計画」を踏まえ、当該教職員の研修について、体系的かつ効果的に実施するための計画として定めていた教員研修計画に、この度、資質の向上に関する指導助言等の方法に関して必要な事項についても明確にし、「教職員研修計画2026」に定めた。本計画が「新たな教師の学びの姿」の実現につながる一助となることを願う。
- なお、広く教師の資質向上のための取組を「研修等」とし、また、このような資質向上のための取組の記録を「研修履歴」、さらに、資質向上に関する指導助言等を「対話に基づく受講奨励」と表記する。

＊「新たな教師の学びの姿の実現のための研修推進体制～校内での学び合いの活性化に向けて～
【小・中・義】【高・特】(イメージ)」本紙p.73参照

「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について

【岐阜県教育委員会版】の概要

1 基本的考え方

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の基本的考え方は、教師と学校管理職とが、研修履歴を活用して対話を繰り返す中で、教師が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことにある。このため、研修履歴を記録・管理すること自体を目的化しない意識を十分にもち、指標や教員研修計画ともあいまって、適切な現状把握を主体的・自律的な目標設定の下で、新たな学びに向かうための「手段」として研修履歴を活用することが重要である。

2 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等

(1) 対象となる教師の範囲

① 法律上の対象範囲

- 教育公務員特例法第22条の5の規定による研修履歴の記録及び同法第22条の6の規定による対話に基づく受講奨励の対象となる「公立の小学校等の校長及び教員」の範囲は、任命権者が県教育委員会である教師については、以下のとおりである。
 - i) 「公立の小学校等」とは、公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校である。

ii)「校長及び教員」とは、校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭及び講師(教育公務員特例法施行令第2条に規定する臨時的に任用された者等を除く。)である。

② その他の教師の扱い

○ 助教諭、養護助教諭及び講師(臨時的任用教員等)は、法律に基づく研修履歴の記録及び対話に基づく受講奨励の対象ではないが、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならないことに変わりないことから、研修の受講を奨励する。

○ 栄養職員、実習助手(実習教諭)及び寄宿舍指導員は、法律に基づく研修履歴の記録及び対話に基づく受講奨励の対象ではないが、直接的に児童生徒に指導する立場であり、資質の向上に努めなければならないことに変わりないことから、研修の受講を奨励する。

(2) 研修履歴の記録の目的

○ 研修履歴の記録は、対話に基づく受講奨励の際に活用することにより、教師が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が研修等の奨励を含む適切な指導助言を行うことにより、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することを目的としている。

(3) 研修履歴の記録の範囲

① 法律上の必須記録研修等

i) 研修実施者が実施する研修

ii) 大学院修学休業により履修した大学院の課程等

iii) 任命権者が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得

② その他任命権者が必要と認める研修等

i) 職務研修として行われる市町村(組合)教育委員会等が実施する研修等

ii) 派遣研修等

※ ① i)のうち、県教育委員会が実施する研修とは、主に教員研修計画等に位置付けられるような教員の資質向上を目的とするもの、② ii)とは、独立行政法人教職員支援機構、同法人国立特別支援教育総合研究所及び文化庁への派遣研修、岐阜県教育委員会主催の派遣研修を指す。

○ 改正教育公務員特例法の施行日(R5.4.1)以降に行われた研修を、原則として対象とする。

※ 研修実施者とは、岐阜市の県費負担教職員は岐阜市教育委員会、それ以外の教職員は岐阜県教育委員会を指す。

(4) 研修履歴の記録の内容

○ 原則として、研修名、主催者、受講年度とする。

(5) 研修履歴の記録の方法・時期

○ 研修履歴の記録は、基本的には、全国教員研修プラットフォーム(以下、「Plant」という。)にて行う。

○ (3)① i)に関する研修履歴については、通常の研修申込を行い、受講した後、研修実施者が修了認定をすることで、Plantに記録される。(3)① ii) iii) ② ii)の研修履歴については、県教育委員会により、Plantに記録される。(3)② i)の研修履歴については、当該市町村(組合)教育委員会により、Plantに記録される。なお、各研修履歴の記録は、研修を受講した年度内に完了する。

(6) 研修履歴の記録の提供・閲覧

○ 県教育委員会は、教師と学校管理職が行う対話に基づく受講奨励において活用するために、研修履歴の記録を当該教師及び学校管理職に提供する。また、当該記録については、常時閲覧することができる。服務監督権者である市町村(組合)教育委員会も、所管する学校の教師の当該記録について、常時閲覧できる。

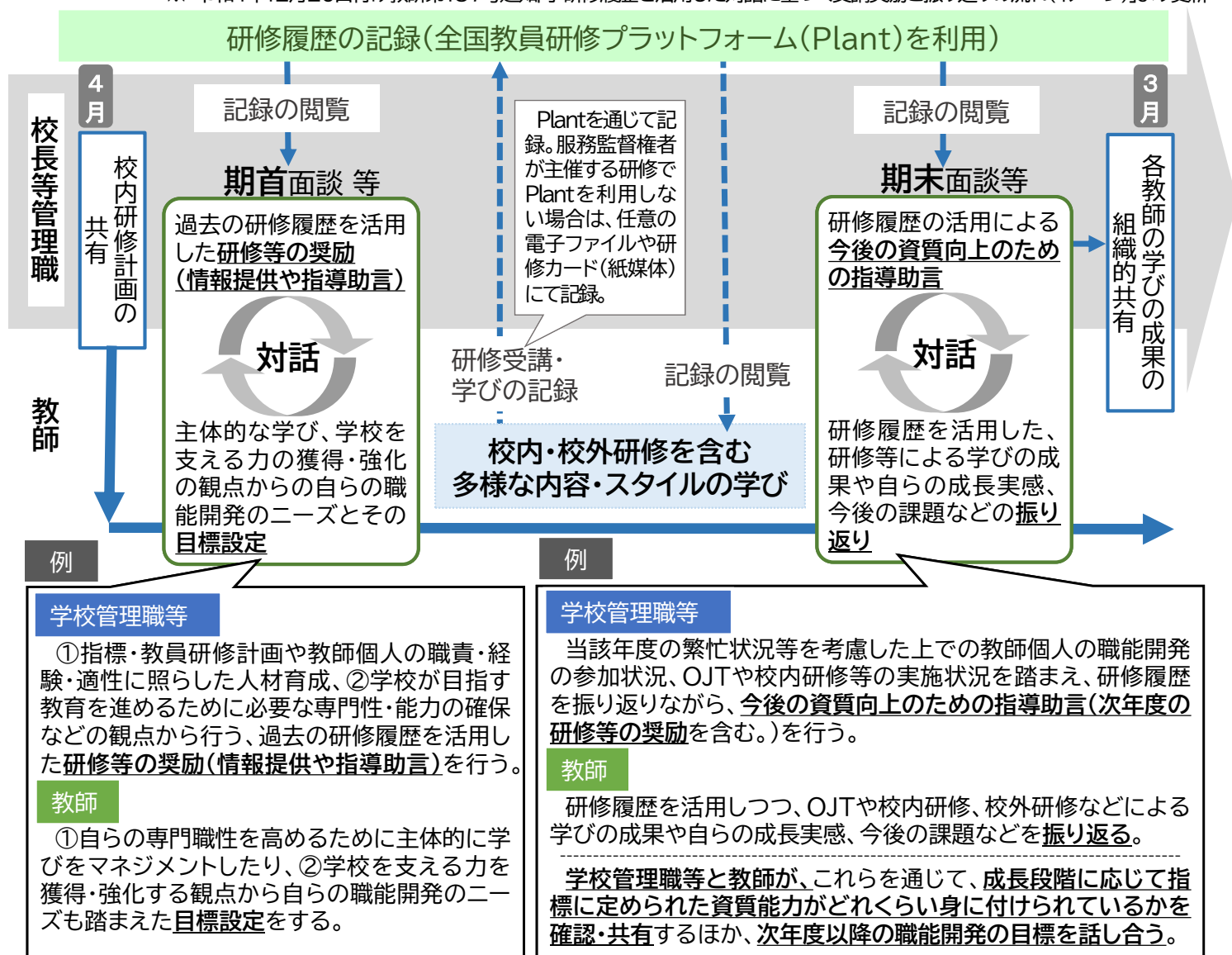
(7) 対話に基づく受講奨励の方法・時期 * 「対話に基づく受講奨励の方法・時期(イメージ)」次ページ参照

○ 対話に基づく受講奨励は、基本的に学校管理職が実施する。

※ 人事評価制度との趣旨の違いに留意しつつ、例えば、期首面談や期末面談の機会を活用する。

対話に基づく受講奨励の方法・時期(イメージ)

※ 令和4年12月26日付け教研第187号通知内「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励と振り返りの流れ(イメージ)」より更新



※ 上記のほか、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励は、①教師の意欲や主体性の尊重、②学校組織としての総合的な機能の発揮、③教師個人の人材育成の観点など、これらが調和した効果的な職能開発を行うためのプロセスであることから、定型的な面談のほか、様々な機会を捉えて、対話に基づく受講奨励を行うことが望ましい。

(8) 学校管理職以外の教師による対話に基づく受講奨励

(様々な主体・機会による対話に基づく受講奨励)

- 教師同士の学び合い文化を醸成する観点から、法律の規定とは直接関係なく、必ずしも研修履歴を活用することを前提としないが、例えばミドルリーダーやメンターなど学校管理職以外の教師の協力を得て、当該教師を通じて、対話に基づく受講奨励を行うことも考えられる。その際、メンターチームを活用した日常的な短い会話の機会や学年会など各学校等に適した様々な機会を活用することが考えられる。

3 その他の留意事項

- 任命権者が市町村教育委員会である学校・園及び幼保連携型認定こども園の教師についても、教育公務員特例法第22条の5の規定による研修履歴の記録及び同法第22条の6の規定による対話に基づく受講奨励の対象であり、その場合、市町村教育委員会が実施する研修は、任命権者が市町村教育委員会であることから、必須記録研修等と整理されること。市町村立幼保連携型認定こども園の保育教諭等についても、任命権者が市町村の長であることから、同様に整理されること。

図書・教育資料室の利用について

県内唯一の
教育専門図書室

- ・ 教育に関する図書 約25,000冊
- ・ 教育専門誌 約40誌
- ・ 教科書(S40以降) 永久保存

地元図書館で
貸出・返却
可能

無料!!

- ・ 岐阜県内の公共図書館を通して、
当室資料の貸出・返却ができます。

文献調査の
専門員が支援

- ・ お探しの資料や情報（先進事例、データ
など）がありましたら、ご相談ください。
- ・ メール・電話による問い合わせ可

◇開室時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00
(祝日・年末年始 除く。臨時休室あり)

◇貸出冊数・期間 10冊、3週間

◇お問い合わせ先

総合教育センター第1棟3階
TEL:058-271-3404(直通)
E-mail:c17781@pref.gifu.lg.jp



🌸 教育支援相談について 🌸

困っていること、悩んでいることなど
気軽にご相談ください。



1 先生方ご自身の悩みについてサポートします。

普段、職場で困っていることや悩んでいること、育休からの復帰にあたり心配なことなどについて相談することができます。

2 電話相談と来室相談があります。

🌸 電話相談の場合 058-271-3450
「内線34」と伝えてください。(匿名でも結構です。)

🌸 来室相談の場合 直接、総合教育センター1棟2階 教育支援相談室へ
お越しください。(ご希望の方は電話で予約してください。)

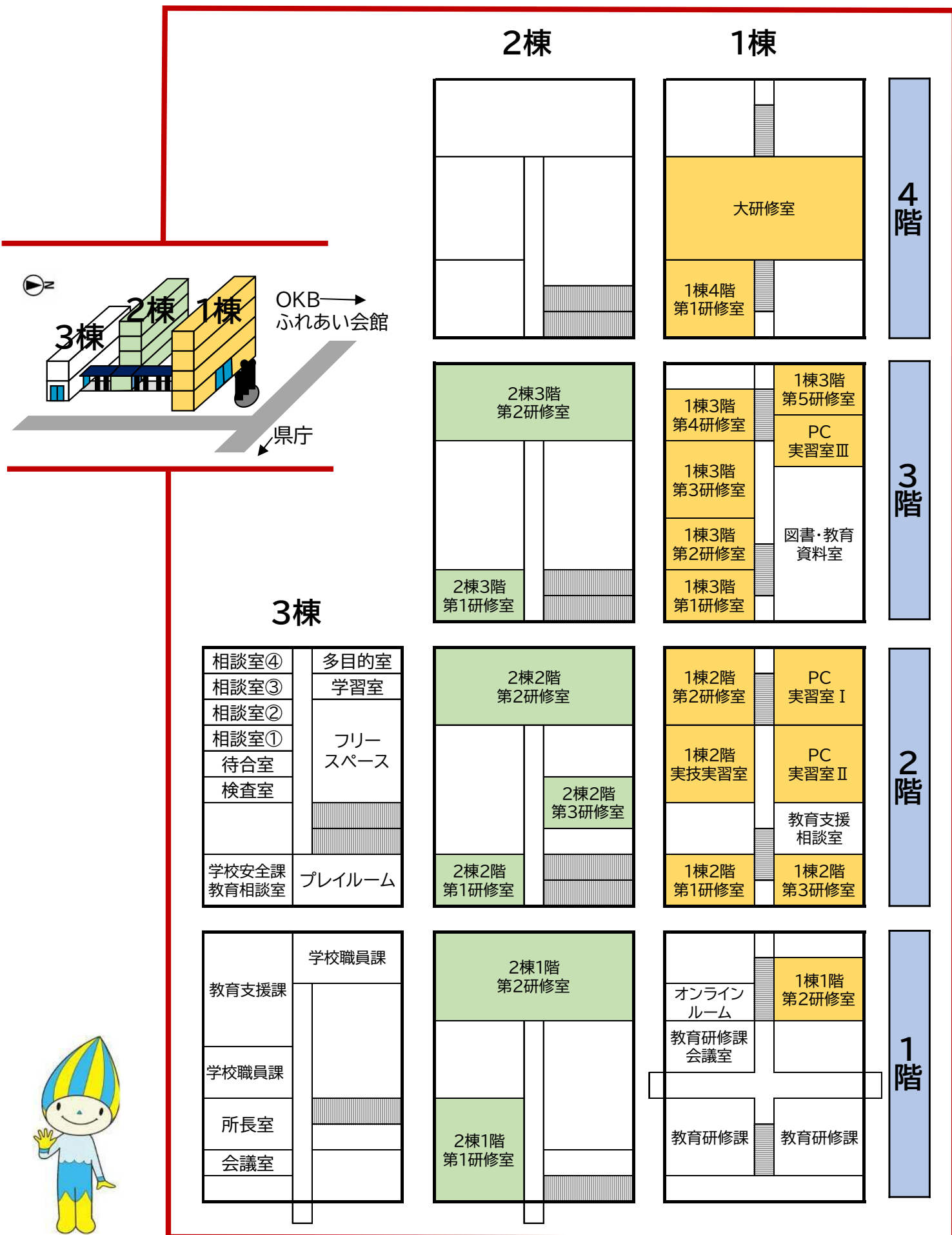
3 教育支援相談室には、相談員が常駐しています。

月～金曜日 9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く。)

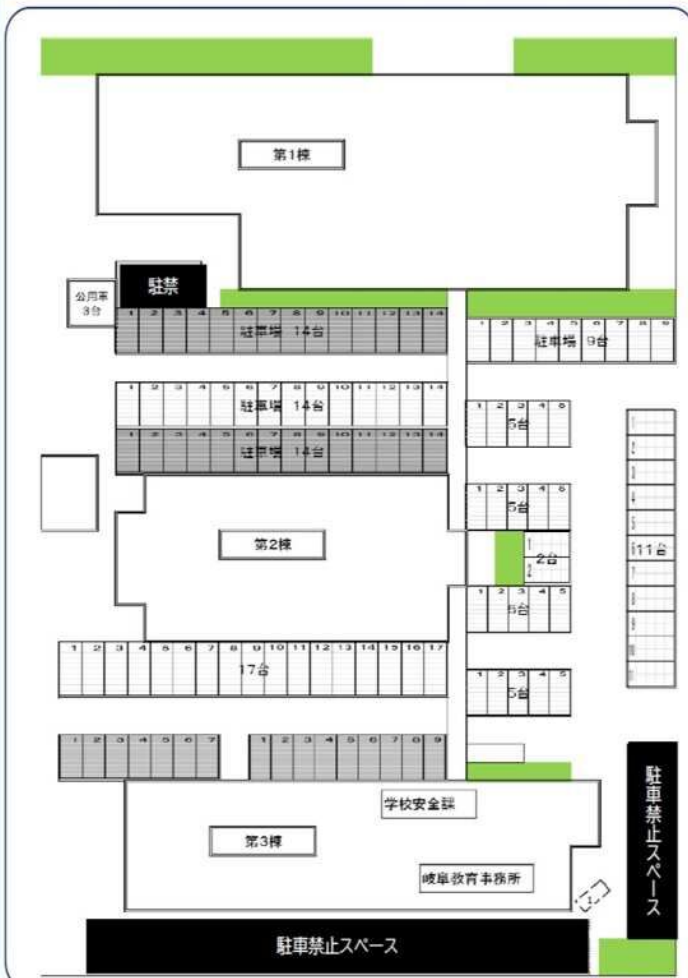
- 🌸 自分自身に関する悩み・不安について
仕事への意識や意欲、精神面、健康面、今後の進退 等
- 🌸 職場の人間関係に関する悩みについて
同僚との関係、上司や指導者との関係、保護者や地域の方との関係 等
- 🌸 指導上の悩み・不安について
児童生徒理解、学習指導、生徒指導、
学級経営、進路指導、部活動指導 等
- 🌸 家庭の悩み・不安について
家族、子育て、介護 等
- 🌸 その他、お困りごと



※上記内容のお問合せ先:岐阜県教育委員会 教育研修課
058-271-3450「内線34」



岐阜県総合教育センター 駐車場



岐阜県総合教育センター 臨時駐車場



岐阜総合学園高校の西、須賀公園の南隣り

岐阜県防災交流センター 県民ふれあい会館内県機関 共用駐車場



岐阜県防災交流センターの東
* 駐車場入り口は西側のみ
* 舗装あり（駐車場の間違いに注意！）

- 使用できる駐車場が限られています。できる限り乗り合わせて参加してください。
- 駐車禁止スペースは使用しないでください。
- 混雑時は、臨時駐車場を案内します。
また、極めて混雑する場合は、その他の駐車場を案内することがあります。
※ 臨時駐車場から総合教育センターまでは、徒歩で約10分かかります。
※ Plantの開催要項に駐車場案内を掲載しますので、必ず事前に確認してください。
- 近隣に住宅がある駐車場では、「前向き駐車」の表示を確認してください。

○独立行政法人教職員支援機構(NITS)

・校内研修シリーズ ・校内研修シリーズ(テーマ別) 他



○教職員研修資料Webサイト集(文部科学省)



1. 新学習指導要領のもとでの授業づくりに向けて
2. 情報教育
3. 外国語教育
4. 道徳教育・人権教育
5. キャリア教育
6. 特別支援教育
7. 幼児教育
8. 健康教育
9. 食育
10. 産業教育
11. 生徒指導
12. 学校安全
13. 地域と学校の連携・協働
14. 生命・いのちの安全教育
15. 男女共同参画
- 独立行政法人教職員支援機構(NITS)
- 独立行政法人特別支援教育総合研究所(NISE)
- 「教職員研修に関する主な提言等について」(令和4年8月通知)掲載サイト



○校長・教職員 学習情報ポータル(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/suishin/detail/index_00001.html



○著作権に関する教材、資料等

(文化庁ホームページ・学校における教育活動と著作権)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/pdf/93874501_01.pdf



※岐阜県教育委員会ホームページ(岐阜県ホームページ内)及び総合教育センターホームページにも役立つ資料がありますので、是非活用してください。





15 「わたしの教員研修計画2026」



※自由に活用してください。

学校名（ ） 氏名（ ）

★キャリアステージ【基礎形成期・資質向上期・資質充実期・資質貢献期】

自己分析 <育成指標を参考に、キャリアステージに応じた資質能力を確認しましょう>

自分の強み、自信が持てる部分はどんなところでしょう？

- ・
- ・
- ・
- ・

自分の弱み、伸ばしたい部分はどんなところでしょう？

- ・
- ・
- ・
- ・

研修計画 <学校で果たすべき役割や自己分析を踏まえて、必要な学びを考えましょう>

研修とは… 校内研修等のOJT、校外研修等のOff-JT、自己研鑽等の教職員を取り巻く多様な学びの機会のこと

校内での学び

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

校外での学び

【教育センター講座等】

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

その他

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

振り返り <研修での学びや気づきをどのように活用したか、振り返ってみましょう>

実践や還元の状況、次に学びたいことを具体的に

- ・
- ・
- ・
- ・



岐阜県教育委員会教育研修課
(岐阜県総合教育センター内)
〒500-8384 岐阜市藪田南 5-9-1
TEL: 058-271-3450
FAX: 058-276-6774
HP: <https://www.gifu-net.ed.jp/ggec/>